

令和5年度

# 群馬県立精神医療センター

## 年報

GUNMA  
PREFECTURAL  
PSYCHIATRIC  
MEDICAL  
CENTER

群馬県伊勢崎市国定町二丁目2374

TEL 0270-62-3311 (代)

FAX 0270-62-0088

# 群馬県立精神医療センター

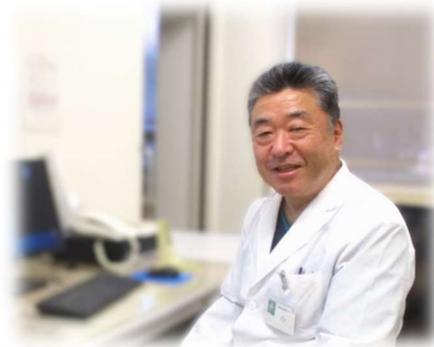
## 理 念

- 1 患者・家族そして全ての県民のために
- 2 良き精神医療は良き社会をつくる
- 3 こころの時代を支える精神医療

## 基本方針

- 1 人間の尊厳を尊重し人権に配慮した医療
- 2 都道府県立精神科病院の設置義務に基づいた政策医療
- 3 客観性と透明性と説明責任を重視した医療
- 4 適切な医療技術による良質で安全な医療の提供
- 5 社会復帰と社会参加を目指した医療
- 6 多職種チームによるリハビリテーションの徹底
- 7 障害者にやさしい地域ネットワークづくり

## 年報発刊に当たって



令和5年度の年報ができましたので、お届けいたします。昨今のデジタル化への移行の波を受け、遅ればせながらも当年報も今年度から紙発行を中止としましたことご理解ください。

令和4年12月に公布された「精神保健福祉法の一部改正」の改正法が令和6年4月に全面施行されました。今回の法改正は、当事者の人権に対してより配慮し、入院でなく地域社会で支えていく、という国の方向性が明確になったと感じられるものでした。

具体的には医療保護入院に関しては、入院期間を原則3か月までとする、家族等が同意または不同意の意思表示を行わなかった場合市町村長同意の依頼ができる、地域援助事業者の紹介を義務化とする、措置入院者に関しては、入院が適切であったか等を精神医療審査会にて審査を実施する、退院後生活環境相談員の選任および地域援助事業者の紹介を義務化する、となりました。また、新たな対策として、入院者訪問支援事業の開始（主に市町村長同意による医療保護入院者を中心に、本人の希望に応じて傾聴や生活面の相談、情報提供などを役割とした訪問支援員による支援）、および精神科病院における虐待対策の強化（虐待防止措置の義務化、および業務従事者による虐待を発見した者から都道府県等への通報の義務化）が法定化されました。人権の面に関しては今回の法改正とは異なりますが、身体的拘束・隔離等の行動制限最小化の取り組みも現在の精神科医療の大きな流れになっています。

当院はこの法律の改正や精神科医療の新しい流れに乗り遅れないよう、むしろ先陣を切っていくように患者さんの権利・安全を守りながら良質な医療に取り組んでいきたいと考えます。

しかし、病院経営は入院費・検査費などの医療費は規定され値上げなどができない中、人件費、および物価の高騰などのあおりを受けて諸経費が高騰しており、当院も苦しい状況になっています。繰入金を頂きながらも9年連続での黒字経営を維持していますが、今後病院が経済的に成り立っていくのか強い不安も抱えております。

そういう状況下ではありますが、県民の精神面を支える医療機関としての役割をこれからも果たしていきたいと考えております。今後とも、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

令和6年12月吉日

群馬県立精神医療センター

院長 赤田 卓志朗

# 目 次

## I 病院の概要

1	沿革	1
2	施設の概要	
(1)	名称	4
(2)	所在地	4
(3)	診療科目	4
(4)	病床数	4
(5)	指定病院等	4
(6)	施設基準等	4
(7)	土地・建物	4
(8)	建物配置図	5
(9)	医療機器等の整備状況	8
3	組織の概要	
(1)	組織図	11
(2)	部局の業務内容	12
(3)	職員配置状況	13
4	役割・特徴	
(1)	役割	14
(2)	医療の内容と水準	14
①	高度専門医療の提供	15
②	政策医療の展開	15
③	県内医療従事者の育成	16
5	運営の概要	
(1)	院内行事及び視察研修等受入状況	17
(2)	院内委員会等活動状況	18
(3)	職員研修の状況	
①	院内研修実施状況	21
②	看護部院内事例研究	21
(4)	医療従事者の育成	
①	臨床研修受入状況	22
②	実習生受入状況	22

## II 診療の状況

1	外来診療	
(1)	月別外来患者の状況	23
(2)	年度別外来患者の状況	24
2	入院診療	
(1)	病棟別看護体制	26
(2)	月別入院患者数	27
(3)	年度別延べ入院患者数	28
(4)	入院患者の入院期間別内訳	30
(5)	年度別入院患者数及び平均在院日数	31
	入院患者の退院までの日数	32
(6)	月別入院・退院・在院患者数	33
(7)	入院患者の年齢別内訳	33
(8)	入院患者の新規入院と再入院との内訳	34
(9)	形態別入院患者数	35
	入院形態別一覧	36
(10)	在院患者の入院形態別内訳	37

(11)	在院患者の疾病別分類	37
(12)	退院者の内訳	38
3	精神科救急医療の状況	
(1)	夜間・休日精神科救急医療の状況	
①	夜間・休日受診者数	39
②	夜間・休日受診者数の年度別推移	39
4	司法精神医療の状況	
(1)	指定入院の状況	40
(2)	指定通院の状況	42
(3)	鑑定入院の状況	43
5	クロザピン治療と精神科電気痙攣療法	
(1)	クロザピン治療	44
(2)	精神科電気痙攣療法	45
<b>III</b>	<b>各種業務の状況</b>	
(1)	医療福祉課	46
(2)	リハビリテーション課	47
(3)	心理判定課	50
(4)	検査課（臨床検査）	52
(5)	検査課（放射線）	53
(6)	栄養調理課	54
(7)	薬剤部	57
(8)	訪問看護	61
(9)	歯科	62
(10)	医療安全管理室	63
(11)	地域医療連携室	66
(12)	患者相談窓口	66
(13)	病院施設の貸出し	67
<b>IV</b>	<b>経営・経理の状況</b>	
1	決算の状況	
(1)	収益的収入及び支出の状況	68
(2)	資産・負債・資本の状況	69
(3)	資本的収支の状況	69
2	年度別経営指標	
(1)	年度別経営分析表	70
(2)	年度別損益状況	71
<b>V</b>	<b>研究業績等</b>	
	令和5年度における主な研究業績等	
	《 学会発表等 》	72
	《 講演・研修等 》	72



# I 病院の概要

# 1 沿革

## 精神医療センターの沿革

※印は他の県立病院の動向

※昭和32年 県立保養所が改称して県立療養所となる

昭和33年 12月 高崎市寺尾町2412に県立高崎療養所として開設  
(病床数93床)

昭和34年 4月 病床137床増床 (病床数230床)

昭和35年 3月 病床35床増床 (病床数265床)

※昭和37年 県立療養所が改称して県立前橋病院となる

昭和40年 4月 県立高崎病院と改称

※昭和40年 県立東毛療養所が改称して県立東毛病院となる

昭和41年 4月 現所在地 (今の伊勢崎市国定町) 用地買取

昭和43年 9月 現所在地 建設着手

昭和45年 3月 現所在地 完成

5月 現所在地 移転

6月 県立佐波病院として発足 (病床数282床)

※昭和47年 県立東毛病院が改称してがんセンター東毛病院となる

昭和49年 10月 体育館完成

昭和55年 3月 東病棟完成

4月 東病棟増設使用許可により、病床数372床となる

※昭和57年 県立小児医療センター開設

昭和58年 6月 診療報酬請求業務 (医事課) の電算化開始

昭和61年 2月 西病棟増改築及び東病棟仮眠室完成

平成元年 4月 応急入院指定病院の指定を受ける

平成3年 1月 老人性痴呆疾患センターの指定を受ける

2月 夜間・休日精神科救急医療開始

平成4年 9月 全面改築着手

日本における精神医療・福祉の主な出来事

### 昭和25年 精神衛生法公布

- ・ 都道府県に精神病院設置義務
- ・ 私宅監置の廃止
- ・ 措置入院制度法制化
- ・ 以後、全国的に精神病院が増加

※精神科病床数

昭和30年：4万床→昭和49年：26万床

(6.5倍の増加)

### 昭和39年 ライシャワー駐日大使事件

- ・ 精神病院入院歴のある青年による傷害事件
- ・ 精神障害者の他害事件に対する社会的不安の高まり

### 昭和40年 第12次精神衛生法の改正

- ・ 地域社会精神医療の推進を主眼
- ・ 緊急措置入院制度の新設
- ・ 通院公費負担制度の新設

### 昭和59年 宇都宮病院事件発生

- ・ 看護職員の暴行により入院患者2名が死亡
- ・ 国際的な反響を呼び、法改正の動きが活発化

### 昭和62年 精神保健法成立

- ・ 国民の精神的健康の保持増進を主眼
- ・ 任意入院制度の新設
- ・ 応急入院制度の新設
- ・ 精神障害者の社会復帰の一層の促進

平成5年 10月 第1期工事竣工（病棟・サービス棟）  
 11月 病棟移転

平成6年 2月 第2期工事着工  
 11月 東館（旧東病棟）改修工事終了

※平成6年 県立前橋病院が改称して県立循環器病センターとなる

平成7年 2月 第2期工事竣工（管理診療棟）  
 4月 新病院への移転完了、診療開始  
 11月 車庫棟完成

平成8年 3月 屋外渡り廊下・トイレ完成

平成9年 4月 県立精神医療センターに名称変更  
 9月 第3期工事着工（グラウンド等外構工事）

※平成10年 県立がんセンター東毛病院が改称して県立がんセンターとなる

平成11年 3月 第3期工事竣工（グラウンド等外構工事）

平成12年 12月 精神科救急情報センターの試行設置  
 （平成16年1月19日より「こころの健康センター内に設置）

※平成13年 県立循環器病センターが改称して県立心臓血管センターとなる

平成14年 3月 病棟再編、急性期病棟の整備完了  
 4月 無痙攣電気療法の開始

平成15年 8月 精神科救急入院料（スーパー救急）の取得

平成16年 10月 院外処方箋発行の本格実施

平成17年 4月 病棟再編・専門病床化のため病床数を372床から265床に変更  
 7月 心神喪失者等医療観察法による「指定通院医療機関」の指定を受ける  
 7月 心神喪失者等医療観察法による「鑑定入院医療機関」となる

平成19年 3月 労災保険指定医療機関の指定を受ける

平成21年 2月 医療観察法病棟（小規格病棟）の整備開始  
 6月 医療観察法病棟（小規格病棟）運営開始  
 9月 精神科救急入院病棟（スーパー救急）の拡大

平成22年 7月 医療観察法病棟（小規模病棟）の整備開始  
 8月 落雷により中央監視室内各種システム罹災

平成23年 3月 医療観察法病棟新設工事着工  
 3～6月 東日本大震災の被災地へ心のケアチームとして職員派遣  
 9月 クロザピン療法の開始

平成24年 2月 医療観察法病棟完成・開棟式実施  
 3月 医療観察法病棟開棟  
 3月 運用病床224床による病棟再編実施  
 12月 体育館耐震補強工事完了 利用再開

### 平成5年 精神保健法の改正

- ・精神障害者の人権に配慮した医療及び保護の推進
- ・グループホームの法定化
- ・医療と福祉の二本の柱からなる法体系

### 平成7年 精神保健福祉法の成立

- ・精神障害者の社会復帰等のための保健福祉施策の充実
- ・より良い精神医療の確保

### 平成11年 精神保健福祉法の一部改正

- ・精神障害者の人権に配慮した医療の確保
- ・精神医療審査会の機能強化

### 平成15年 心神喪失者等医療観察法の成立

- ・触法精神障害者に継続的、適切な医療の提供

### 平成17年 障害者自立支援法の成立

平成23年3月11日 東日本大震災発生

平成25年 7月 落雷により中央監視室内各種システム罹災  
 平成26年 2月 大雪により通勤困難となり緊急動員態勢発令  
 3月 武井満院長退職  
 4月 赤田卓志朗院長就任  
 12月 パッケージ型エアコン更新

平成27年 3月 電子カルテシステム運用開始  
 中央制御型エアコンの更新に着手

平成28年 1月 屋上防水改修工事に着手  
 4月～5月 熊本地震の被災地へ災害派遣精神医療チーム  
 (DPAT)として職員派遣  
 10月 パートナーシップナーシング開始

平成30年 3月 ナースコール更新  
 5月 群馬DPATの派遣協定を県と締結  
 9月 北海道胆振東部地震の被災地へDPAT先遣隊と  
 して職員派遣（現地での活動はなし）

令和元年 7月 健康増進法の一部改正により敷地内全面禁煙化  
 9月 台風15号による大規模停電被害対応のため  
 千葉県にDPAT先遣隊を派遣

令和2年 2月 新型コロナウイルス感染症宿泊施設滞在者対応  
 のためDPAT先遣隊を派遣  
 4月 新型コロナ疑い患者の受入れ開始

令和3年 2月 新型コロナ対応病床増床（3床→5床）  
 3月 新型コロナワクチン医療従事者優先接種を開始  
 5月 常温拡散増幅法（Near法）検査機器導入

令和4年 7月 運用病床178床による病棟再編実施  
 (B病棟を一時閉鎖)  
 10月 精神科救急治療病棟増床のため、運用病床190  
 床による病棟再編実施（F病棟を閉鎖、B病  
 棟へF病棟の機能を引継ぎ開棟、G病棟9床増  
 床（47床））

同月 新型コロナ対応病床増床（5床→6床）

令和6年 1月 能登半島地震被災者支援のためDPAT先遣隊を  
 派遣

### 平成26年 精神保健福祉法の一部改正

- 精神障害者の医療の提供を確保するための指針  
の策定
- 保護者に関する規定の削除
- 医療保護入院の見直し

平成26年 長期入院精神障害者の地域移行に向  
 けた具体的方策に係る検討会取りまとめ

新型コロナウイルス感染症 令和2年1月15日  
 国内1例目確認、3月7日 県内1例目確認

## 2 施設の概要 (令和5年4月1日現在)

- (1) 名称 群馬県立精神医療センター  
 (2) 所在地 群馬県伊勢崎市国定町二丁目2374  
 (3) 診療科目 精神科、神経科、歯科、内科、外科  
 (4) 病床数 265床 (運用病床190床)  
 (5) 指定病院等  
 ○保険医療機関 ○指定自立支援医療機関 (精神通院医療)  
 ○労災指定病院 ○生活保護法に基づく指定医療機関  
 ○感染症法に基づく結核指定医療機関 ○特例措置を採ることができる応急入院指定病院  
 ○難病法に基づく指定医療機関 ○児童福祉法に基づく指定医療機関  
 ○被爆者一般疾病医療機関 ○心神喪失者等医療観察法指定入院医療機関  
 ○心神喪失者等医療観察法指定通院医療機関 ○心神喪失者等医療観察法鑑定入院医療機関

### (6) 施設基準等

#### [診療報酬関係]

- 精神病棟入院基本料15対1 (A・B病棟) ○救急医療管理加算  
 ○看護配置加算 (A・B病棟) ○医師事務作業補助体制加算  
 ○看護補助加算1 (A・B病棟) ○精神病棟入院時医学管理加算 (A・B病棟)  
 ○医療保護入院等診療料 ○医療安全対策加算1  
 ○精神科応急入院施設管理加算 (医療安全対策地域連携加算1)  
 ○診療録管理体制加算2 ○精神科救急急性期医療入院料 (E・G病棟)  
 ○患者サポート体制充実加算 (精神科救急医療体制加算2)  
 ○検体検査管理加算 (I) (看護職員夜間配置加算) (R5.8)  
 ○精神科デイ・ケア「大規模なもの」 ○精神科ショート・ケア「大規模なもの」  
 ○精神科デイ・ケア「小規模なもの」 ○精神科ショート・ケア「小規模なもの」  
 ○精神科作業療法 ○薬剤管理指導料  
 ○CT撮影 (マルチスライスCT) ○遠隔画像診断  
 ○精神科急性期医師配置加算 (E・G病棟) ○治療抵抗性統合失調症治療指導管理料  
 ○精神科救急搬送患者地域連携紹介加算 ○入院時食事療養費 (I)  
 ○感染対策向上加算2 (連携強化加算含) ○後発医薬品使用体制加算1  
 ○精神科地域移行実施加算 (A・B病棟) ○療養生活環境整備指導加算  
 ○精神科退院時共同指導料 ○データ提出加算1及び3 (R5.10)  
 ○クラウン・ブリッジ維持管理料 (歯科)

#### [心身喪失者等医療観察法関係]

- 入院対象者入院医学管理料 ○通院対象者通院医学管理料  
 ○通院対象者社会復帰連携体制強化加算 ○医療観察精神科作業療法  
 ○医療観察精神科デイ・ケア「大規模なもの」 ○医療観察精神科ショート・ケア「大規模なもの」  
 ○医療観察精神科デイ・ケア「小規模なもの」 ○医療観察精神科ショート・ケア「小規模なもの」  
 ○医療観察治療抵抗性統合失調症治療指導管理料

### (7) 土地・建物

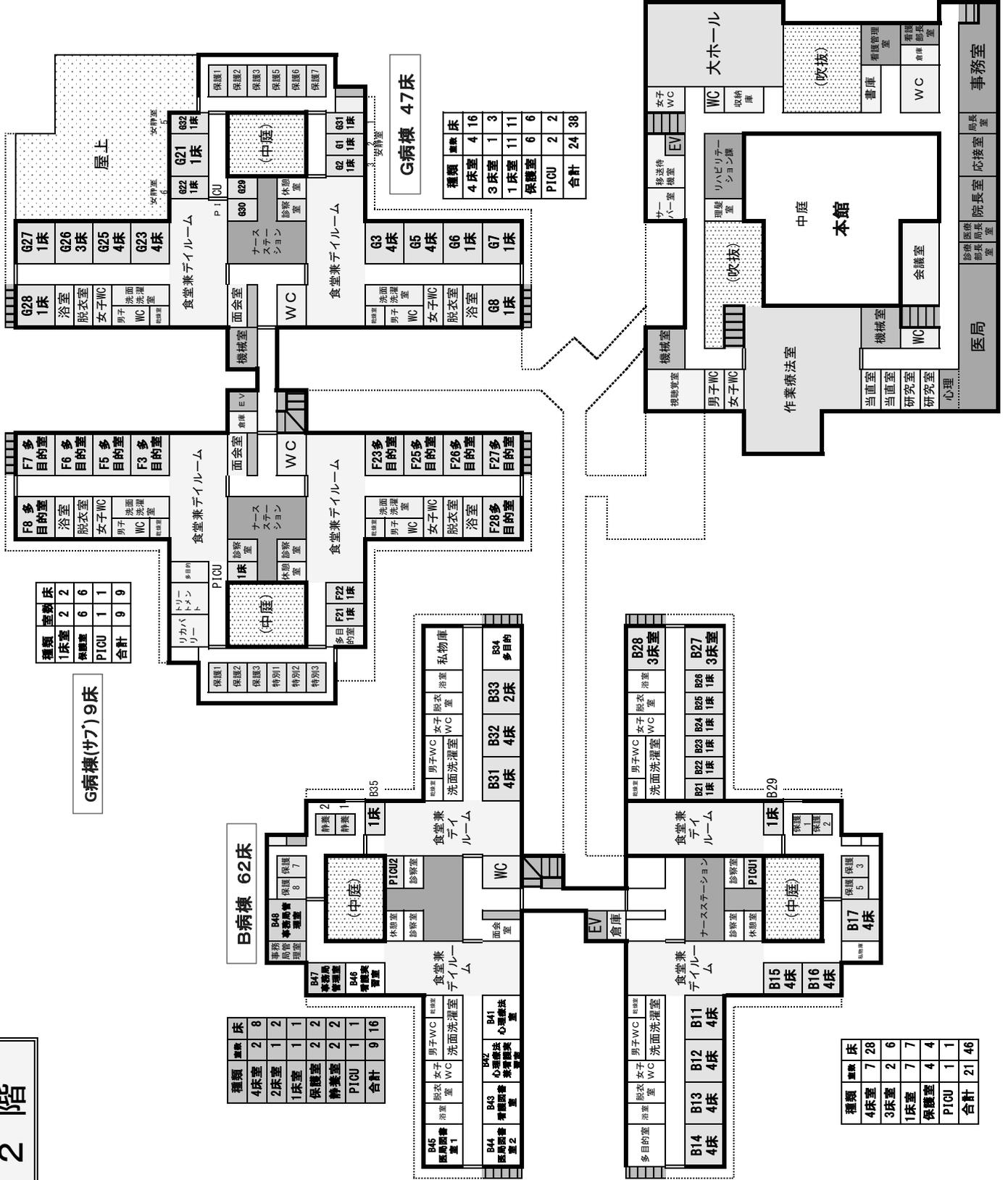
- 土地 敷地面積：76,501.43㎡  
 ○建物 棟数：14棟 建築面積：13,706.11㎡ 総面積：21,594.35㎡

#### ■建物の内訳

名称	棟数	総面積(㎡)	備 考		
本館	1	4,237.09	1階：2,210.24	2階：1,806.21	塔屋階：220.64
北館	1	6,051.16	1階：3,085.60	2階：2,545.32	塔屋階：420.24
西館	1	5,544.00	1階：2,629.03	2階：2,520.73	塔屋階：394.24
渡り廊下1	1	327.68	北館一本館一西館		
医療観察法病棟	1	1,997.70			
渡り廊下2	1	203.61	北館一医療観察法病棟		
東館	1	1,885.12	1階：916.54	2階：848.12	塔屋階：120.46
体育館	1	772.00			
農機具庫	1	148.50			
プロパン庫	1	22.12			
公用車庫	1	214.50			
屋外トイレ	1	43.38			
ゴミ置場	1	58.39			
ビーブルハウス	1	89.10			
	14	21,594.35			



# 2階



G病棟(サブ)9床

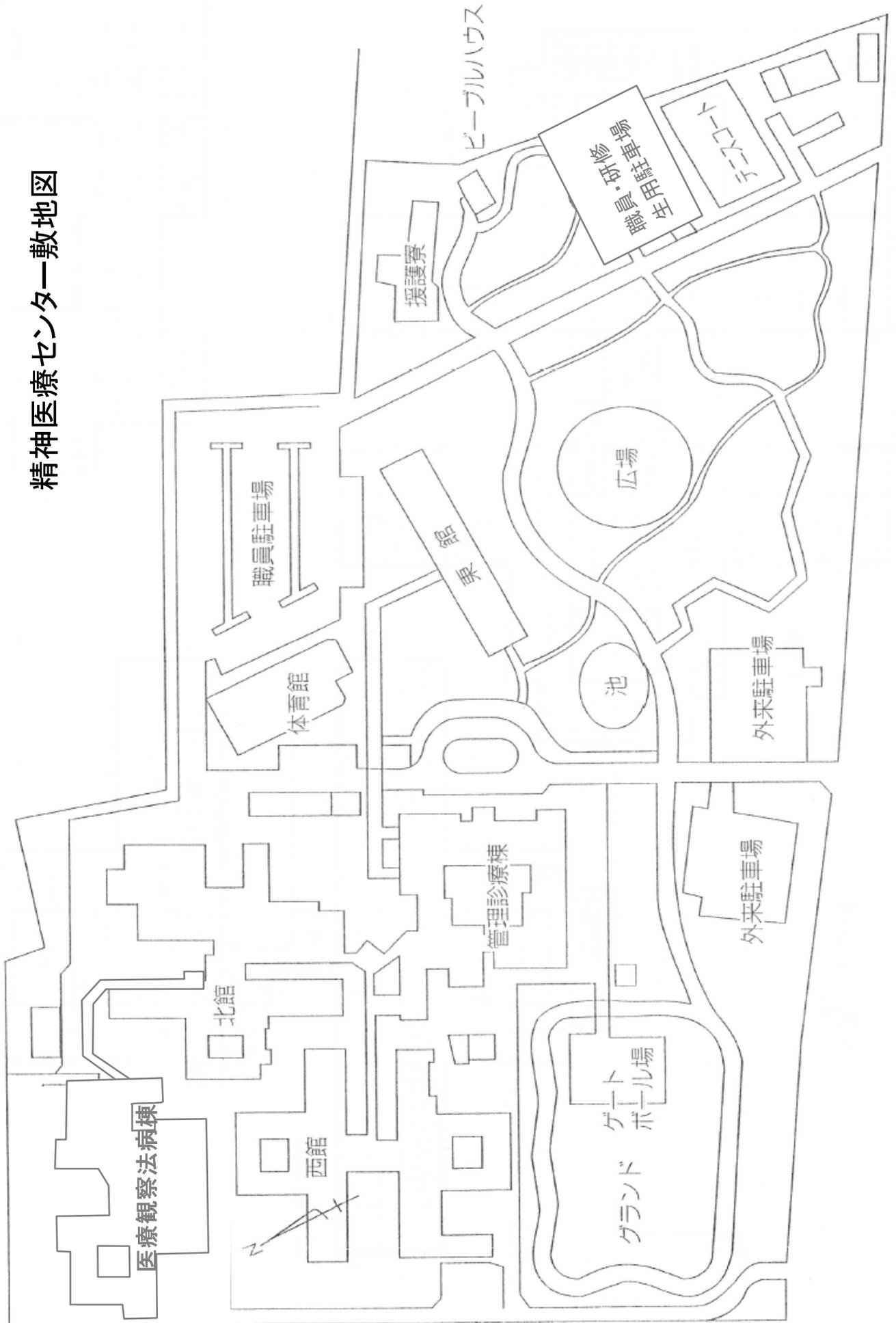
種類	床数
1床室	2
保護室	6
PICU	1
合計	9

種類	床数
4床室	2
2床室	1
1床室	1
保護室	2
特等室	2
PICU	1
合計	9

種類	床数
4床室	4
3床室	1
1床室	11
保護室	6
PICU	2
合計	24

種類	床数
4床室	7
3床室	2
1床室	7
保護室	4
PICU	1
合計	21

精神医療センター敷地図



## (9) 医療機器等の整備状況

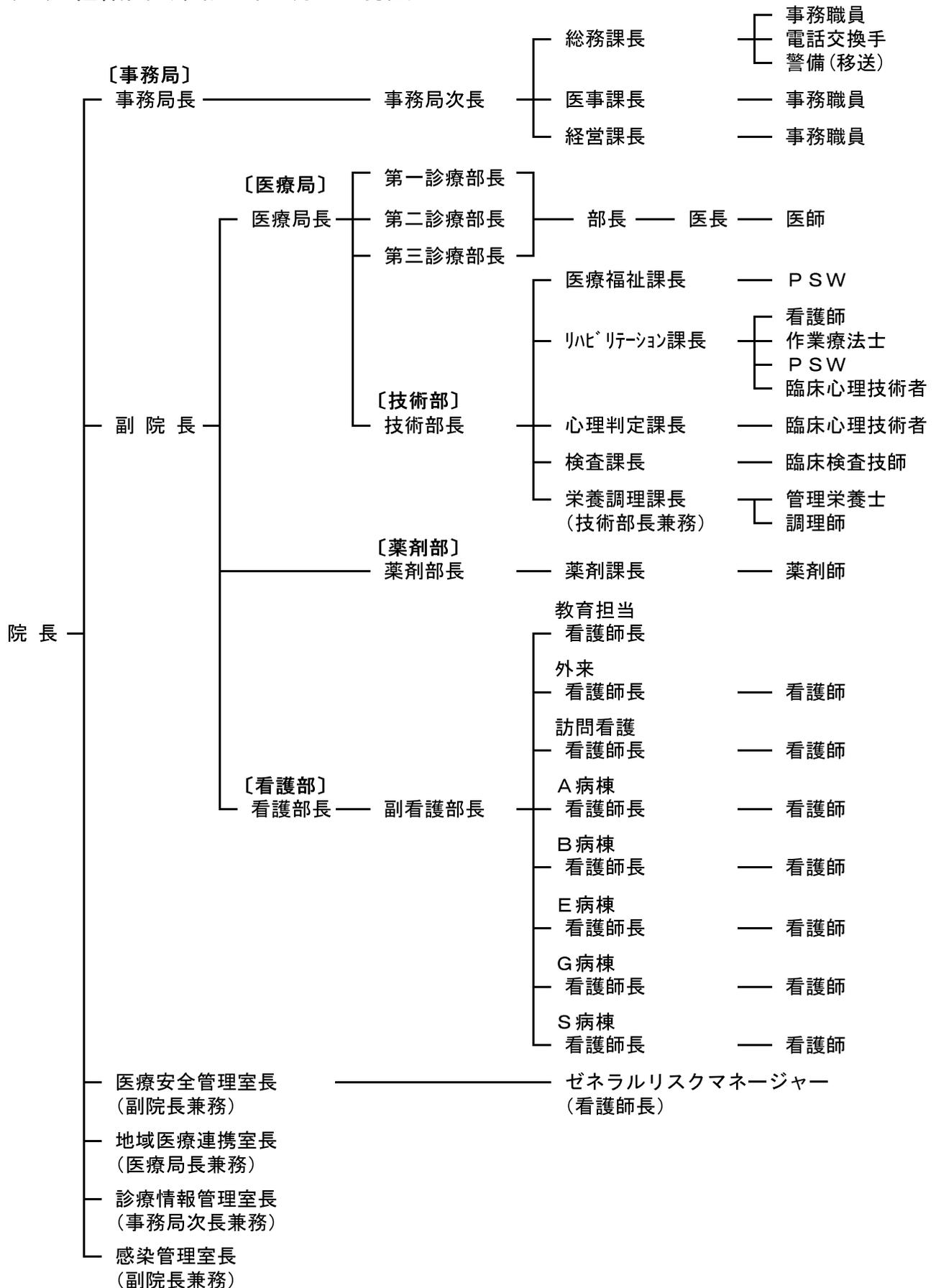
年 度	施 設 ・ 機 器 等 の 整 備 状 況		
		施設・設備の種類	規 格 等
平成21年度	医療用機器	コンピューテッドラジオグラフィー	コニカミノルタ製 MODEL190
		歯科用レセプト・カルテシステム	シグマソリューションズ製
		散薬監査システム	トーショー製 SW-K
	施設整備	医療観察病床新設建築工事	旧D病棟
		医療観察病床新設電気設備工事	旧D病棟
		医療観察病床新設機械設備工事	旧D病棟
		入退室カード管理システム更新	全館
平成22年度	医療用機器	全自動錠剤散薬分包機	トーショー製 io-1620win IF edition
	その他 機器整備	カートイン冷蔵庫	サンヨー製 SRR-EC2APH
		ガス炊飯器	日本調理機製 ARCX-3GC
	施設整備	E・G病棟改修建築工事	E・G病棟
		E・G病棟改修電気設備工事	E・G病棟
		E・G病棟改修機械設備工事	E・G病棟
	平成23年度	医療用機器	パルス波治療器
天井走行型X線一般撮影装置			東芝製 MRAD-A50S
AED			フィリップス ハートスタートFR3ProECG
その他 機器整備		真空冷却機	三浦工業製 CMJ-40QX
		ゲート型金属探知機	ギャレット社製 PD-6500i
施設整備		医療観察法小規模病棟建築工事	S病棟
		医療観察法小規模病棟電気設備工事	S病棟
		医療観察法小規模病棟機械設備工事	S病棟
		旧B病棟及びB病棟改修建築工事	A・B病棟
		旧B病棟及びB病棟改修電気設備工事	A・B病棟
		旧B病棟及びB病棟改修機械設備工事	A・B病棟
サイリスタ整流器取替工事	ジーエス・ユアサ製TR-SNTR10030-A		
平成24年度	医療用機器	全身麻酔器	泉工医科学工業製 メラMD-751AK
		生体情報モニター	フクダ電子製 DS-7000
	機器整備	卓上型真空包装機	TOSEI製 V380G
	施設整備	体育館耐震補強工事	体育館
		北館中央監視装置取替工事	北館
		西館サイリスタ整流器取替工事	西館
	平成25年度	医療用機器	脳波計
全自動散薬分包機			(株)トーショー製 io-9090compact
施設整備		本館サイリスタ整流器取替工事	本館

年 度	施 設 ・ 機 器 等 の 整 備 状 況		
	施設・設備の種類	規 格 等	
平成26年度	医療用機器	解析付心電計装置	フクダ電子(株)製 FCP-8800
		一包化錠剤鑑査支援装置	(株)ユヤマ製 TabSight (YS-TPM-01)
		医療情報システム	(株)ナイス 電子カルテシステム
	施設整備	パッケージエアコン更新工事	本館、北館、西館
		外構監視カメラ取り付け工事	パナソニック製ネットワークカメラ
冷温水発生機等更新工事		三菱電機製 CAH-P3000F II	
平成27年度	医療用機器	臨床化学自動分析装置	シーメンス製 ディメンションEXL200
		多項目自動血球分析装置	シスメックス製 XN-550
	施設整備	屋上防水改修工事	本館、北館、西館
平成28年度	医療用機器	ベッドサイドモニタ	日本光電工業(株)製 PVM-2701
		血中アンモニア測定器	アークレイ(株)製 ポケットケムBA PA-4140
	機器整備	食器洗浄機	ホバート・ジャパン FTC2-PAA-3H(sp)
	施設整備	北館ファンコイルユニット更新工事	北館
		西館ファンコイルユニット更新工事	西館
監視カメラ更新工事		北館、西館	
平成29年度	医療用機器	AED	フィリップス製 ハートスタート FR3
		ベッドサイドモニタ	日本光電工業(株)製 PVM-2701
		歯科レセプト・カルテシステム 一式	(株)シグマソリューションズ社製 WiseStaff-9Plus
	施設整備	給水設備改修工事	本館、北館、西館
		電気給湯器更新工事	A・B・E・F・G病棟
		本館ファンコイルユニット更新工事	本館
		ナースコール更新工事	A・B・E・F・G病棟
平成30年度	医療用機器	セントラルモニタ	日本光電工業(株)製 WEP-5204
	機器整備	消毒保管機(蒸気式)40箆	(株)アイホー製 SW-2004
	施設整備	換気設備更新工事	北館、西館
		非常用発電装置蓄電池更新工事	北館
		換気設備更新工事(本館棟)	本館
令和元年度	医療用機器	多本架冷却遠心機	久保田商事(株)製 5911
		尿自動分析装置	栄研化学 US-1200
		シャッター付調剤台	(株)ユヤマ製
	機器整備	消毒保管機(蒸気式)40箆・30箆	(株)アイホー製 SW-2004・SW-1504
		スチームコンベクションオープン	(株)ラショナル製 101
	施設整備	空気調和設備修繕工事	北館
		非常用発電装置改修工事	北館
非常用電源装置蓄電池更新工事		北館	

年 度	施 設 ・ 機 器 等 の 整 備 状 況		
	施設・設備の種類	規 格 等	
令和2年度	医療用機器	医療情報システム機器等更新	(株)ナイス 電子カルテシステム
		マルチスライスX線CT装置	日立製作所 Suprie Grande FR
		セントラルモニタ・ベッドサイドモニタ	日本光電工業(株)製 BMS-3400・PVM-4761
	機器整備		
	施設整備	空気調和設備修繕工事	北館
令和3年度	医療用機器	遺伝子検査機器	アボット ID NOW
		パルス波治療器	サイマトロン 米国ソマティック社製
		セントラルモニタ・ベッドサイドモニタ	日本光電工業(株)製 BMS-3400・PVM-4761
	機器整備		
	施設整備	保護室等改修工事	西館
空気調和設備修繕工事		西館	
令和4年度	医療用機器	ベッドサイドモニタ	日本光電工業(株)製 PVM-4761
		オンライン資格確認サブシステム一式	(株)ナイス ML-Aサブシステム導入
	機器整備	DPCデータ提出対応改修	(株)ナイス Medical Leader-Account改修
	施設整備	浄化槽改修工事	全館
医療観察法病棟外部改修工事		S病棟	
令和5年度	医療用機器	FPDシステム	コニカミノルタ AeroDRシステム
		歯科用X線撮影装置	ヨシダ TrophyPan Excel/Dent Navi/compuray scan be
		AED	日本光電工業(株) カルジオライフ AED-3151
		薬用冷蔵ショーケース	PHC MPR-S150H-PJ
	機器整備	温冷配膳車	PHC CD1048EP/CD1042EP/CD1124EP
		電解次亜水生成装置	三浦電子 B. CROON CL-S100
	施設整備	非常用電源装置蓄電池	本館及び西館

### 3 組織の概要

(1) 組織図 (令和5年4月1日現在)



## (2) 部局の業務内容

### 事務局

#### ○総務課

組織、人事、給与、福利厚生、服務、医療事故、施設管理、その他庶務一般に関すること。

#### ○医事課

保険診療、医事相談、収入調定、未収金管理、診療情報管理に関すること。

#### ○経営課

経営分析・改善、予算編成、決算、資金計画・管理に関すること。

### 医療局

外来、入院患者の診療、医療観察法に基づく鑑定入院・指定入院・指定通院患者の受入れ、デイケア、作業療法等のリハビリテーション計画、実施、精神保健相談並びに病理、放射線、脳波、画像検査、心理判定、患者の給食及び栄養指導等に関すること。

### 薬剤部

調剤、注射剤払い出し、医薬品の管理、麻薬・向精神薬の管理、服薬指導、薬歴管理、医薬品情報管理、副作用情報、治験業務、院内防疫に関すること。

### 看護部

外来診療介助、入院患者の看護、診療補助及びリハビリテーション等の業務計画、実施に関すること。

### 医療安全管理室

医療事故の防止・安全対策の整備等医療安全管理体制の強化に関すること。

### 地域医療連携室

地域医療機関、患者家族、関係諸機関との連携、外来初診相談・入院相談専用窓口に関すること。

### 診療情報管理室

診療情報の管理・保護及び適正な利用の推進に関すること。

### 感染対策室

感染対策の推進に関すること。

### (3) 職員配置状況

(令和5年4月1日現在、単位：人)

区 分		正 規 職 員		実務研修生		会計年度任用職員	
		定 数	現 員	定 数	現 員	定 数	現 員
事 務 局		10	10			18	17
内 訳	事務主事	10	10				
	補助員（事務等）					12	11
	補助員（電話交換）					2	2
	旧嘱託員（事務等）						
	旧嘱託員（警備等）					4	4
医 療 局		48	45	10	3	8	9
内 訳	医師	17	18	4	1	1	1
	歯科医師						
	歯科衛生士					1	1
	放射線技師	1	1			1	1
	臨床検査技師	2	2				
	作業療法士（OT）	5	6	2	0	1	0
	心理判定員	4	4	2	1	1	1
	精神保健福祉士	8	8	2	1	1	2
	管理栄養士	2	2			1	2
	調理師	9	4				
	補助員（事務等）					1	1
薬剤部		5	5	2	0	2	3
	薬剤師	5	5	2	0	2	2
	補助員（薬剤助手）						1
看護部		121	125	11	0	13	10
内 訳	看護師	121	125	11	0	12	10
	（うち看護師）	121	125 (2)	11	0	12	10
	（うち准看護師）					0	0
	看護補助者（補助員）					1	0
合 計		184	185 (2)	23	3	41	39

※（ ）内は再任用職員で内数



## ①高度専門医療の提供

### 1) 精神科救急病棟の導入

平成15年度に精神科救急の専門病棟を全国の公立精神科病院に先駆けて公立病院として3番目に導入しました。その後、平成21年度に増床、令和4年度に、さらに一部を増床し、2病棟85床の体制を整えています。当該病棟だけで年間465名（令和5年度）の入院患者を受け入れ、迅速な入院対応と地域への早期退院を実現しています。

### 2) 早期社会復帰への取り組み

患者の早期社会復帰を促進するため、多職種チーム医療等の活用による治療モデルの確立により、在院日数の短縮に努めています。令和5年度の患者1人当たりの平均在院日数は、99日となっています。

## ②政策医療の展開

### 1) 精神科救急基幹病院機能

こころの健康センターに設置されている精神科救急情報センターと連携し、県内の精神科3次救急の基幹病院機能を担っています。民間病院では対応が難しい精神症状の激しい患者など通報制度により措置入院等となる患者の約7割を当センターが受け入れています。

#### ○警察官等の通報に基づく入院状況

区 分	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
当センター	195件(70.1%)	209件(67.6%)	213件(71.2%)	182件(71.7%)	202件(72.9%)
民間病院	83件(29.9%)	100件(32.4%)	88件(28.8%)	72件(28.3%)	75件(27.1%)
小 計	278件(100.0%)	309件(100.0%)	301件(100.0%)	254件(100.0%)	277件(100.0%)

### 2) 医療観察法に基づく鑑定入院、指定入院、指定通院対象者の受け入れ

群馬県内の精神科における政策医療を担う役割を果たすため、平成17年度に「医療観察法」に基づく指定通院医療機関の指定を受け、令和6年3月末までに38名の指定通院対象者を受け入れました。また、同じく平成17年度に「医療観察法」に基づく鑑定入院医療機関の推薦決定がなされ、令和6年3月末までに70件の鑑定を実施しています。指定入院医療機関については、国からの要請を受け、6床の小規格病棟を平成21年6月に開設した後、平成24年3月には17床（うち保護室1）の新病棟を整備・開棟しました。令和4年4月11日より18床（うち保護室1・生活訓練室1）へ届出を変更し、指定入院対象者は令和6年3月までに79人を受け入れています。

### 3) 思春期精神科医療

児童・思春期から青年期は成人と共通の精神障害に加え、多動障害や情緒障害など特有の精神疾患が出現する時期であり、専門的医療を行う必要があるため、家庭や児童施設では対応が困難な精神症状が顕著な青少年に対し、専門的な医療を実施しています。

#### 4) 治療困難者・重症患者の受け入れ

地域の医療機関等と連携して、民間病院での対応が難しい治療困難者・重症患者を積極的に受け入れ、症状の改善に向けた取り組みを実施しています。

### ③県内医療従事者の育成

県内における精神科研修の中心的役割を担っており、医師や看護師をはじめとする医療従事者の研修センターとしての役割を果たしています。例えば、看護師の資格取得には精神科実習が必須となっていますが、令和5年度には県内外の9校から272名の看護実習生を受け入れています。

## 5 運営の概要

### (1) 院内行事及び視察研修等受入状況

月 日	行 事 名	担当部署等	参加者等	場 所
4月1日	院内辞令交付・発令伝達・受入式	総務課	院長、職員	院内
10月11日	医療観察法第1回外部評価会議	医事課	外部委員、内部委員	院内
11月1日	医療観察法指定入院医療機関一般指導監査	医事課	院長他	院内
11月17日	第1回防災防火訓練	総務課	患者、職員	院内
12月11日	医療観察法地域連絡会議	医事課	区長、民生委員、 児童委員、行政他	院内
2月14日	医療観察法第2回外部評価会議	医事課	外部委員、内部委員	院内
3月12日	第2回防災防火訓練	総務課	患者、職員	院内
3月31日	院内退職者辞令交付式	総務課	院長、職員	院内

(2) 院内委員会等活動状況（令和5年度）

会議名	所掌付議事項	構成員	主宰者	担当者	開催日時
推進会議	・病院運営の基本事項の決定 ・経営改善の企画立案・進捗管理・評価	院長、副院長、医療局長、事務局長、看護部長、薬剤部長、技術部長、看護部長、医療福祉課長、医事課長、経営課長 推進会議の構成員のほか、課長・看護部長以上の役付職員	院長	経営課	毎月第1・第3月曜
経営戦略会議	・経営改善進行管理 ・病院運営連絡調整		院長	経営課	毎月最終水曜日
ベッドコントロール委員会	・精神科救急高性期医療入院料の施設基準確認 ・病床の効率的利用の検討	医療局長、担当医師、副看護部長、E・G・B病棟看護部長、医療福祉課長、医事課長等	医療局長	医事課	毎月第二金曜日
医局会議	・医局内の方針決定、連絡調整等	医師	院長	医療局長	毎週月曜
看護部長会議	・看護部内の方針決定、連絡調整等	看護部長、副看護部長、GRM、看護師長	看護部長	看護師長	毎月第2・第4木曜
看護教育委員会	・看護教育に関する検討、実施、研修	教育担当師長、副看護師長	看護部長	教育担当看護師長	毎月第4月曜
看護研究委員会	・看護研究に関する支援	研究担当看護師長、教育担当師長、副看護師長	看護部長	看護師長	毎月第1水曜
看護記録委員会	・看護記録の書き方 ・適正な看護計画の建て方	看護記録担当看護師長、各病棟1名	看護部長	看護師長	毎月第2月曜
看護接遇委員会	・看護師の接遇	接遇担当看護師長、各病棟1名	看護部長	看護師長	奇数月第1水曜
看護業務委員会	・看護業務の安全・効率的遂行、標準化、質の向上	看護業務担当看護師長、教育担当師長、副看護師長	看護部長	看護師長	第3木曜
医療安全管理委員会	・医療安全管理に関する検討・研究 ・医療事故の分析、再発防止策の検討・実施・見直し ・職員に対する指示、院長等への提言 ・医療安全管理の啓発・教育・広報等	院長、副院長、医療局長、事務局長、看護部長、副看護部長、GRM、事務局長、技術部長、薬剤部長、総務課長、医事課長、経営課長、医療福祉課長、検査課長、心理判定課長、リハビリテーション課長、各看護師長	副院長 (医療安全管理室長)	GRM	毎月第4水曜
リスクマネジメント委員会	・医療安全に関する情報収集及び調査・分析 ・具体的改善策の検討・推進、職員への広報・啓発等	医療局長、GRM、事務局長、各リスクマネージャー(医局、医事課、リハビリテーション課、心理判定課、薬剤部、看護部、栄養調理課、検査課、医療福祉課)	GRM	医療安全管理室	毎月第2火曜
院内感染対策委員会	・院内感染の発生状況の把握・報告 ・感染防止対策の検討・実施・研修	院長、副院長、医療局長、医療局次長、事務局長、看護部長、副看護部長、技術部長、薬剤部長、検査課長、医事課長、医療福祉課長、リハビリテーション課長、心理判定課長、GRM、各看護師長、医事課長、総務課長	副院長	医療安全管理室、総務課	毎月第4水曜
院内感染制御チーム	・院内感染対策マニュアルの見直し ・院内巡視	院長指名職員	院長指名職員	担当看護師長	月1回
診療関連死亡原因検討委員会	・診療関連死亡事例に関する原因の判定	院長、副院長、医療局長、看護部長、技術部長、薬剤部長、事務局長、GRM、死亡患者主治医	副院長	GRM	必要の都度
行動制限最小化委員会	・患者の行動制限の適正化・最小化に関する検討	副院長、医療局長、医局技師、副看護部長、GRM、医療福祉課長、B・G病棟看護師長	副院長	GRM	毎月第2水曜
褥瘡対策委員会	・褥瘡防止対策に関する検討 ・治療効果の推移、改善に関する検討	院長、副院長、医療局長、看護部長、各看護師長、GRM、事務局長、事務局長次長、総務課長、医事課長、技術部長、薬剤部長、心理判定課長、リハビリテーション課長、医療福祉課長	医療局部長 (専任医師)	担当看護師長	月1回
褥瘡対策チーム	・褥瘡対策マニュアルの見直し ・褥瘡防止対策に関する検討	専任医師、看護師長、薬剤師、作業療法士、管理栄養士、専任看護士	医療局部長 (専任医師)	担当看護師長	隔数月第1木曜
ECT管理委員会	・ECTの実践体制の整備・維持 ・事故、有事の対応 ・データ、情報の管理	ECT管理医、ECT実施医、GRM、総務課長、医事課長、経営課長、F病棟看護師長、病棟看護師、薬剤部職員	医療局部長 (専任医師)	医事課	年4回
看護電子カルテ委員会	・看護職員が電子カルテを安全に正しく使えるための検討	担当看護師長、各病棟1名、外来・訪問1名	看護部長	看護師長	奇数月第4水曜

会議名	所掌付議事項	構成員	主宰者	担当者	開催日時
ハートナーシング (PNS)委員会 薬事委員会	・PNS業務に関する検討・改善・標準化 ・医薬品の適正使用及び採用・削除 ・医療スタッフに対する情報提供 ・薬剤部事業 ・入院者の栄養 ・給食運営 ・精度管理 ・検査に関する検討 ・検査の実施状況 ・プログラムの運営	副看護部長、PNS担当看護部長、第3副看護部長 医師、看護部長、GRM、薬剤師、医事課長、経営課長	看護部長	看護部長	毎月第2月曜
栄養委員会	・入院者の栄養 ・給食運営 ・精度管理 ・検査に関する検討 ・検査の実施状況 ・プログラムの運営	医師、看護部長、事務局長、医事課長、栄養調理課長、栄養調理課、給食委託会社（現場責任者） 医師、看護部長、技術部長、検査課長、検査課員、薬剤師、外来検査課長 担当医師、看護部長、副看護部長、技術部長（栄養調理課長）GRM、看護部長、医療福祉課長、リハビリテーション課長 医療観察法病棟担当の医師、看護部長、精神保健福祉士、臨床心理技術者、作業療法士、薬剤師 外部委員（精神医学専門家）、院長、副院長、事務局長、看護部長、薬剤師、病棟担当医師、病棟担当看護部長、精神保健福祉士、その他院長指定職員	看護部長 医療局部長 検査課長	薬剤課長 栄養調理課 (管理栄養士) 検査課	年4回 月1回 必要の都度
臨床検査委員会	・精度管理 ・検査に関する検討 ・検査の実施状況 ・プログラムの運営	担当医師、看護部長、副看護部長、技術部長（栄養調理課長）GRM、看護部長、医療福祉課長、リハビリテーション課長 医療観察法病棟担当の医師、看護部長、精神保健福祉士、臨床心理技術者、作業療法士、薬剤師 外部委員（精神医学専門家）、院長、副院長、事務局長、看護部長、薬剤師、病棟担当医師、病棟担当看護部長、精神保健福祉士、その他院長指定職員	リハビリテーション課長	リハビリテーション課	必要の都度
多職種チーム治療プログラム運営会議	・プログラムの運営	担当医師、看護部長、副看護部長、技術部長（栄養調理課長）GRM、看護部長、医療福祉課長、リハビリテーション課長 医療観察法病棟担当の医師、看護部長、精神保健福祉士、臨床心理技術者、作業療法士、薬剤師 外部委員（精神医学専門家）、院長、副院長、事務局長、看護部長、薬剤師、病棟担当医師、病棟担当看護部長、精神保健福祉士、その他院長指定職員	リハビリテーション課長	リハビリテーション課	必要の都度
医療観察法治療評価会議	・医療観察法入院対象者への治療効果の評価	担当医師、看護部長、副看護部長、技術部長（栄養調理課長）GRM、看護部長、医療福祉課長、リハビリテーション課長 医療観察法病棟担当の医師、看護部長、精神保健福祉士、臨床心理技術者、作業療法士、薬剤師 外部委員（精神医学専門家）、院長、副院長、事務局長、看護部長、薬剤師、病棟担当医師、病棟担当看護部長、精神保健福祉士、その他院長指定職員	医療観察法病棟担当医師	医事課	毎週金曜
医療観察法倫理会議	・医療観察法入院対象者への治療行為の評価	担当医師、看護部長、副看護部長、技術部長（栄養調理課長）GRM、看護部長、医療福祉課長、リハビリテーション課長 医療観察法病棟担当の医師、看護部長、精神保健福祉士、臨床心理技術者、作業療法士、薬剤師 外部委員（精神医学専門家）、院長、副院長、事務局長、看護部長、薬剤師、病棟担当医師、病棟担当看護部長、精神保健福祉士、その他院長指定職員	院長	医事課	月2回
医療観察法運営会議	・医療観察法病棟の運営方針等の決定	院長、副院長、事務局長、看護部長、副看護部長、病棟担当医師、精神保健福祉士、その他院長指定職員 外部委員（精神医学専門家、法律関係専門家、関係自治体等職員）、院長、副院長、事務局長、看護部長、GRM、その他院長指定職員	院長	医事課	月1回
医療観察法外部評価会議	・医療観察法病棟の運営状況・治療内容の評価	外部委員（地域住民代表者、関係自治体等職員）、院長、副院長、事務局長、病棟担当医師、看護部長、GRM、その他院長指定職員	院長	医事課	年2回
医療観察法地域連絡会議	・医療観察法関係者等との連絡調整	外部委員（地域住民代表者、関係自治体等職員）、院長、副院長、事務局長、病棟担当医師、看護部長、GRM、その他院長指定職員	院長	医事課	年1回
倫理委員会	・医療研究等に係る倫理的配慮 ・人権擁護に係る審査	副院長、医療局長、事務局長、第一診療部長、第二診療部長、第三診療部長、技術部長、薬剤部長、副看護部長、事務局長、外部委員（学識経験者2名以上）、院長指定者	医療局長	総務課	必要の都度
クロザピン委員会	・クロザピンの投与等	副院長、医療局長、医局医師、副看護部長、看護部長、薬剤師、検査課員	副院長	医事課	毎月第3水曜
診療情報管理委員会	・診療情報の適正な管理及び利用の検討 ・診療情報の開示に関する審議・検討	副院長、担当医師、看護部長、GRM、事務局長、事務局次長、医事課長、診療情報管理士、看護記録委員会担当看護部長	副院長	診療情報管理室 (医事課)	必要の都度
コーディング委員会	・適切なコーディングを行う体制の確保	副院長、担当医師、事務局次長、薬剤部長、医事課長、看護部長、記録委員会担当看護部長、診療情報管理室員	副院長	医事課	年2回
医療情報システム運用委員会	・電子カルテシステム管理運用	副院長、医療局長、事務局長、看護部長、技術部長、薬剤部長、検査課長、事務局次長、医事課長	副院長	医事課	必要の都度
医療機械器具等購入審査委員会	・医療機械器具等購入の審査・協議	院長、副院長、医療局長、事務局長、第一診療部長、第二診療部長、第三診療部長、技術部長、薬剤部長、看護部長、事務局次長、経営課長	院長	経営課	必要の都度
労働安全衛生委員会	・職員の健康管理等の検討 ・職員及び施設利用者の安全対策 ・定期健診の実施と対策検討	事務局長（安全衛生管理者）、副院長（衛生管理者）、医療局長（産業医）、医療局技師（衛生管理者）、事務局次長（安全管理者）、看護部長、技術部長、薬剤部長、職員組合の代表	事務局長	総務課	毎月第4金曜
医師及び看護師の負担軽減等検討委員会 レジデント委員会	・医師及び看護師の負担軽減及び処遇改善 ・医師事務作業補助の設置 ・レジデントの研修計画・選考	副院長、医療局長、技術部長、看護部長、事務局長、事務局次長、その他院長指定職員 院長、副院長、医療局長、事務局長、第一診療部長、第二診療部長、第三診療部長、事務局次長	副院長	医事課 総務課	必要の都度 必要の都度

会議名	所掌付議事項	構成員	主宰者	担当者	開催日時
研修委員会	・院内研修会の実施	医療局長、第二診療部長、事務局長、G RM、看護師長(教育担当)、医局、技術部、薬剤部、看護部、事務局長の担当職員	医療局長	医事課	必要の都度
海外学会等派遣選考委員会	・海外学会等派遣審査項目の審査	副院長、医療局長、事務局長、看護部長、技術部長、薬剤部長、事務局長、総務課長	副院長	総務課	必要の都度
防災委員会	・院内防災対策の企画立案、普及・研修 ・消防・避難訓練実施計画の検討 ・医療ガス機器の安全管理・教育	課長・看護師長以上の役付職員	事務局長 (防火管理者)	総務課	年2回以上
医療ガス安全・管理委員会		院長(総括責任者)、医療局長(監督責任者)、薬剤部長(医療ガス品質管理責任者)、G RM(実施責任者)、各看護師長(取扱責任者)、総務課長、総務課員(実施責任者)	院長	総務課	年1回
サービス向上委員会	・患者に対する医療・福祉・その他サービスの向上	医局、事務局、技術部、薬剤部、看護部の各課(各棟)担当職員、G RM	総務課長	総務課	毎月第3水曜
図書委員会	・図書の購入、管理の検討	院長、副院長、医療局長、事務局長、第一診療部長、第二診療部長、第三診療部長、技術部長、薬剤部長、看護部長、事務局長、経営課長	院長	経営課	必要の都度
死亡症例検討委員会	・患者死亡原因の検討	院長、副院長、看護部長、事務局長、事務局長次長、G RM、総務課長、薬剤部、技術部、死亡患者主治医、推進会議の構成員のほか、課長・看護師長以上の役付職員	院長	G RM	必要の都度
年報編集委員会	・年報編集の調整		医事課長	医事課	必要の都度

### (3) 職員研修の状況

#### ① 令和5年度 主な院内研修実施状況

研修担当	研修内容	実施回数	参加者数
研修委員会	基本研修（新規採用・転入者）	1回	11
医療安全	人間の行動を理解する・患者誤認防止研修	4回＋各部署開催	240
	一次救命処置（BLS）&自動式体外除細動器（AED）	5回＋各部署開催	205
	医療現場にけるクレーム・トラブルの事例と対応方法	1回＋各部署開催	237
感染対策	学び直しの標準予防策	4回＋各部署研修	196
	吐物処理シミュレーション	5回＋各部署研修	199
行動制限最小化	精神保健福祉法 医療保護入院等に関わる研修	6回＋各部署開催	228
CVPPP 医療安全対策室	CVPPP（包括的暴力防止プログラム）	4回＋各部署開催	延べ 184
看護部	新人・転入者研修	12回	5
	能力別研修	13回	延べ 61
	役割別研修	9回	延べ 35
	経年別研修	5回	延べ 10
	対象者別研修	2回	延べ 10
	全体研修	5回	延べ 92
医事課	医師事務作業補助者研修	2回	1

#### ② 令和5年度 看護部院内研究

##### <看護研究院内発表>

テーマ			研究者
1	一般	暴力被害後のスタッフに対する支援の課題 ～スタッフへの振り返り実施の経験から～	生方正樹
2	主任	新型コロナウイルス感染症の流行下における実習で看護 学生が直面している問題 ～新型コロナウイルス流行前後での比較～	加藤麻理菜

#### (4) 医療従事者の育成

質の高い・安全な医療を提供するためには、優秀な医療従事者の育成が不可欠です。このため、当センターでは医療従事者の育成に積極的に取り組んでおり、県内の医師をはじめとした医療従事者の研修センターとして重要な機能を果たしています。

##### ① 臨床研修医受入状況

医師の臨床研修は大学卒業後、幅広い分野における臨床実務を学ぶために行われているなかで、精神科の臨床研修は選択必修科目となっています。

当センターでは、

- ・「医療」、「行政」、「刑事司法」の連携による精神科救急医療の実践
  - ・群馬県三次精神科救急ケースの全面的受け入れと一貫した治療
  - ・司法精神医学（精神鑑定、医療観察法の指定入院・通院医療機関及び鑑定入院など）の経験
  - ・スーパー救急病棟における豊富な症例数
- などを通して、幅広い臨床実務の経験、知識・技術・態度の体系化を図ってもらうよう研修プログラムを組んでいます。

病 院 名	受 入 れ 人 数
群馬大学医学部付属病院	1 名
伊勢崎市民病院	14 名
桐生厚生総合病院	6 名
済生会前橋病院	4 名
前橋赤十字病院	13 名
館林厚生病院	2 名
渋川医療センター	1 名
合 計	41 名

##### ② 実習生受入状況

医師の養成については、群馬大学医学部の5～6年生全員を、看護師については、精神科看護実習は必修科目となっているため、県内看護学校をはじめとして、多数の実習生を受け入れています。

また、コメディカルについても複数校から実習生を受け入れ、多職種学生の人材育成センターとしての役割を担っています。

区 分	学 校 名	受 入 れ 人 数
医 師	群馬大学	6 名
看 護 師	群馬大学	21 名
	県立県民健康科学大学	44 名
	伊勢崎敬愛看護学院	37 名
	桐生大学	50 名
	東群馬看護専門学校	30 名
	高崎健康福祉大学	49 名
	高崎市医師会看護専門学校	18 名
	群馬医療福祉大学	18 名
P S W	上尾中央看護専門学校	2 名
	東京福祉大学	3 名
	群馬医療福祉大学	1 名
	高崎健康福祉大学	1 名
作 業 療 法 士	高崎福祉医療カレッジ	1 名
	前橋医療福祉専門学校	1 名
	群馬パース大学	2 名
公 認 心 理 師	群馬医療福祉大学	1 名
	東京福祉大学	1 名
	東京福祉大学大学院	1 名
合 計		288 名



## Ⅱ 診療の状況

# 1 外来診療

## (1) 月別外来患者の状況

令和5年度の外来の延べ患者数は、25,616名（うち精神科24,989名）で、1日平均では105.0名（うち精神科102.4名）となっています。

（診療日数244日）

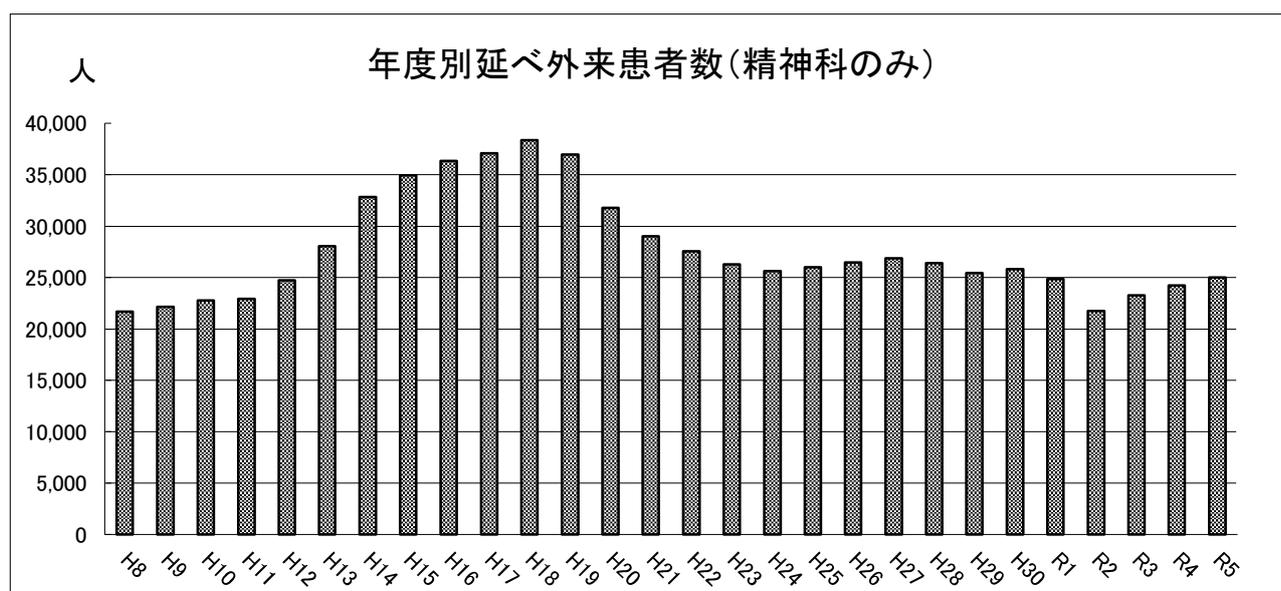
※下表は精神科のみ。

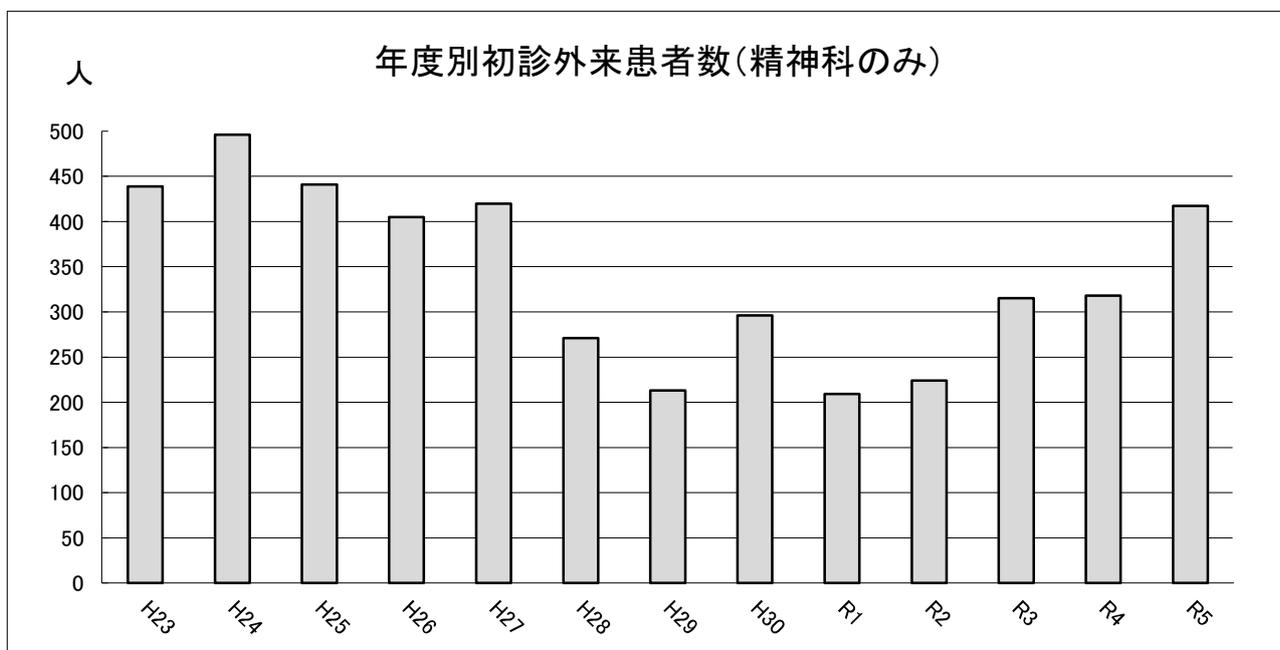
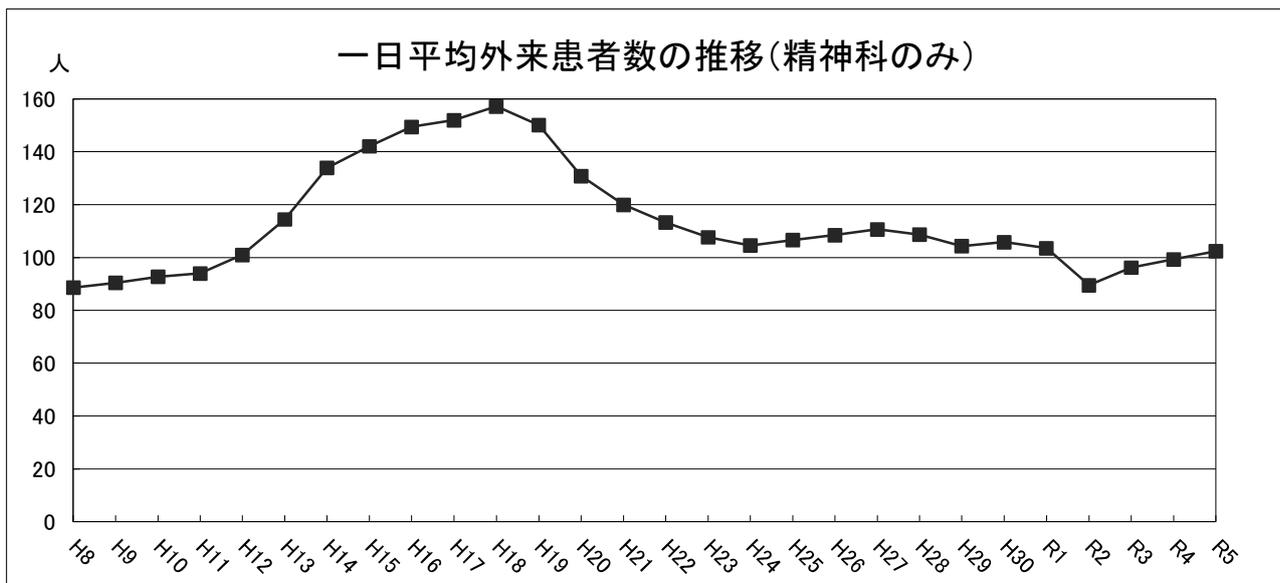
	延人員（人）	1日平均（人）	うち、初診患者数
令和5年 4月	2,035	101.8	34
令和5年 5月	2,136	106.8	36
令和5年 6月	2,145	97.5	35
令和5年 7月	2,082	104.1	43
令和5年 8月	2,149	97.7	33
令和5年 9月	2,069	103.5	31
令和5年 10月	2,097	99.9	38
令和5年 11月	2,072	103.6	35
令和5年 12月	2,150	102.4	34
令和6年 1月	1,994	104.9	29
令和6年 2月	1,972	103.8	37
令和6年 3月	2,088	104.4	32
計	<b>24,989</b>	<b>102.4</b>	<b>417</b>

## (2) 年度別外来患者の状況

外来患者数は、薬剤の長期投与が可能となり、平成19年以降減少傾向でしたが、令和2年度を減少のピークに、再び増加しています。その理由としては、クロザピン治療など他院で実施していない治療の継続等が挙げられます。  
また、初診患者についても、5年続けて前年度を上回っています。

年度別	外来患者数（精神科のみ）		
	延人員（人）	1日平均（人）	うち、初診患者数
平成23年度	26,279	107.7	439
平成24年度	25,634	104.6	496
平成25年度	26,008	106.6	441
平成26年度	26,477	108.5	405
平成27年度	26,870	110.6	420
平成28年度	26,430	108.7	271
平成29年度	25,445	104.3	213
平成30年度	25,810	105.8	296
令和元年度	24,850	103.5	209
令和2年度	21,758	89.5	224
令和3年度	23,269	96.2	315
令和4年度	24,230	99.3	318
令和5年度	24,989	102.4	417





## 2 入院の状況

### (1) 病棟別看護体制

令和5年4月1日現在

区分 病棟名		病棟の種類					職員配置状況 (人)	夜間看護体制			
		男女別	開・閉別	運用病床数	(内)保護室	内容		深夜 (人)	準夜 (人)		
西	A病棟	A病棟-1	男・女	閉鎖	16床	(7)	重症治療	看護師長 ----- 看護師	1 20	2人	2人
		A病棟-2	男・女	閉鎖	21床		重症治療	准看護師 ----- 看護補助者	0 0		
		A病棟-3	男・女	閉鎖	5床	(1)	感染症治療	-----			
館	B病棟	男・女	閉鎖	46床	(4)	思春期・ 救急治療支援	看護師長 ----- 看護師 ----- 准看護師 ----- 看護補助者	1 17 0 0	2人	2人	
北	E病棟	男・女	閉鎖	38床	(12)	救急治療 (精神科救急急性期 医療入院料)	看護師長 ----- 看護師 ----- 准看護師 ----- 看護補助者	1 22 0 0	3人	3人	
	館	G病棟	男・女	閉鎖	47床	(11)	救急治療 (精神科救急急性期 医療入院料)	看護師長 ----- 看護師 ----- 准看護師 ----- 看護補助者	1 25 0 0	3人	3人
医療 観察 法	S病棟	男・女	閉鎖	17床	(2)	医療観察法	看護師長 ----- 看護師 ----- 准看護師 ----- 看護補助者	1 23 0 0	3人	3人	
合計					190床	(37)		計 112人			

## (2) 月別延べ入院患者数

令和5年度の延べ入院患者数は 54,848名で、1日平均では 149.9名  
となっています。(診療日数366日)

	延人員 (人)	1日平均 (人)
令和5年 4月	4,102	136.7
令和5年 5月	4,258	137.4
令和5年 6月	4,259	142.0
令和5年 7月	4,448	143.5
令和5年 8月	4,754	153.4
令和5年 9月	4,690	156.3
令和5年 10月	4,727	152.5
令和5年 11月	4,401	146.7
令和5年 12月	4,748	153.2
令和6年 1月	4,856	156.6
令和6年 2月	4,580	157.9
令和6年 3月	5,025	162.1
計	54,848	149.9

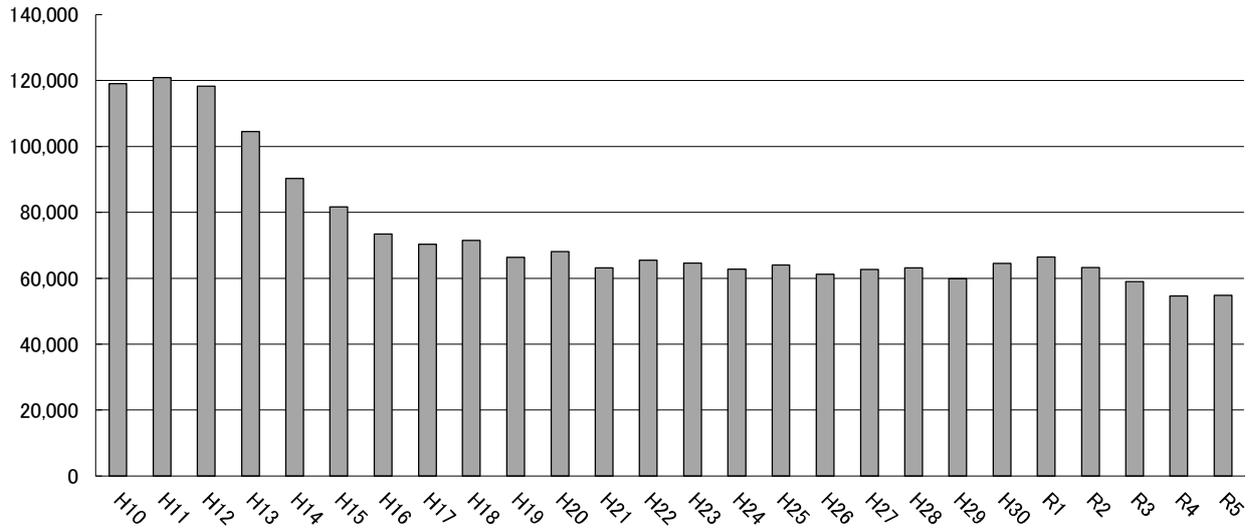
### (3) 年度別延べ入院患者数

長期的には入院患者数は、社会復帰の促進により減少の傾向にあります。令和5年度は、前年度に比較して1日あたりの在院患者数はほぼ横ばいとなっています。

年度	在院患者数	
	延人員 (人)	1日平均 (人)
平成10年度	119,016	326.1
平成11年度	120,821	330.1
平成12年度	118,290	324.1
平成13年度	104,505	286.3
平成14年度	90,278	247.3
平成15年度	81,610	223.0
平成16年度	73,406	201.1
平成17年度	70,354	192.8
平成18年度	71,461	195.8
平成19年度	66,364	181.3
平成20年度	68,048	186.4
平成21年度	63,134	173.0
平成22年度	65,466	179.4
平成23年度	64,567	176.4
平成24年度	62,770	172.0
平成25年度	63,977	175.3
平成26年度	61,183	167.6
平成27年度	62,649	171.2
平成28年度	63,129	173.0
平成29年度	59,924	164.2
平成30年度	64,547	176.8
令和元年度	66,389	181.4
令和2年度	63,165	173.1
令和3年度	58,905	161.4
令和4年度	54,545	149.4
令和5年度	54,848	149.9

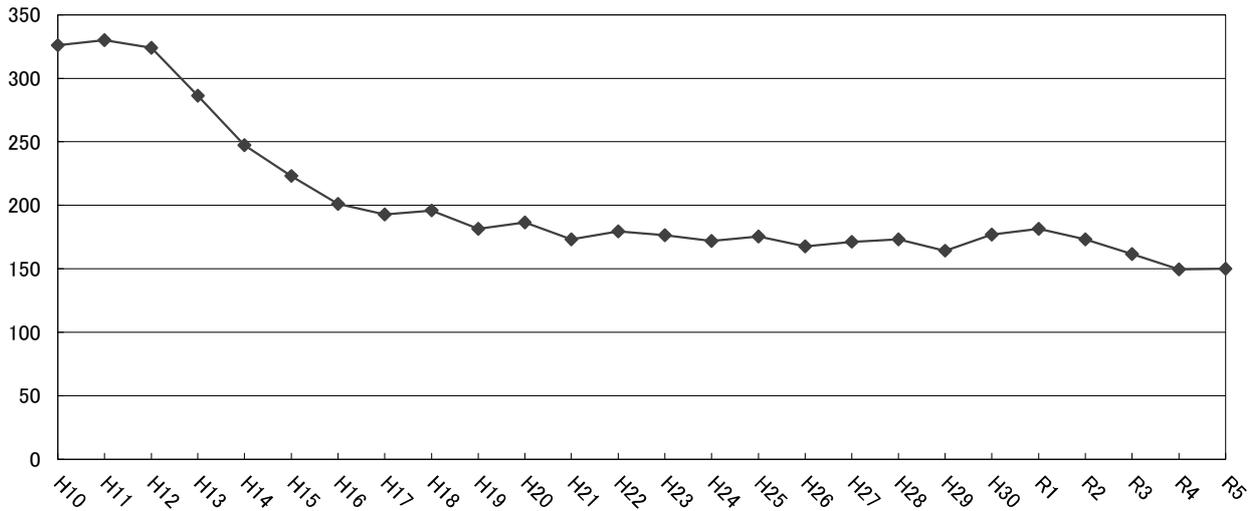
人

### 延べ入院患者数の年度別推移



人

### 一日平均入院患者数の推移

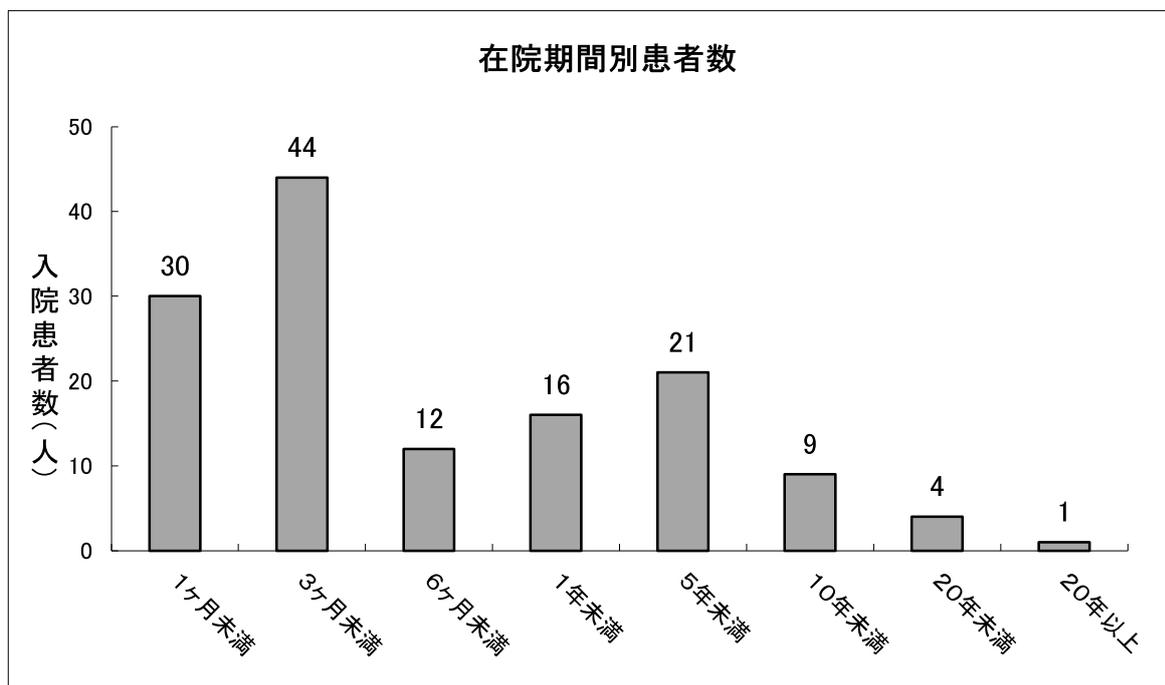


#### (4) 入院患者の入院期間別内訳

入院患者の期間別内訳では、1ヶ月以上3ヶ月未満の患者が最も多く、1か月未満に退院となった患者と合わせると74名となり、これは入院患者全体の54.0%を占めています。

R5. 6. 30現在

期間	入院患者数 (人)	比率 (%)
1ヶ月未満	30	21.9%
3ヶ月未満	44	32.1%
6ヶ月未満	12	8.8%
1年未満	16	11.7%
5年未満	21	15.3%
10年未満	9	6.6%
20年未満	4	2.9%
20年以上	1	0.7%
計	137	100.0%



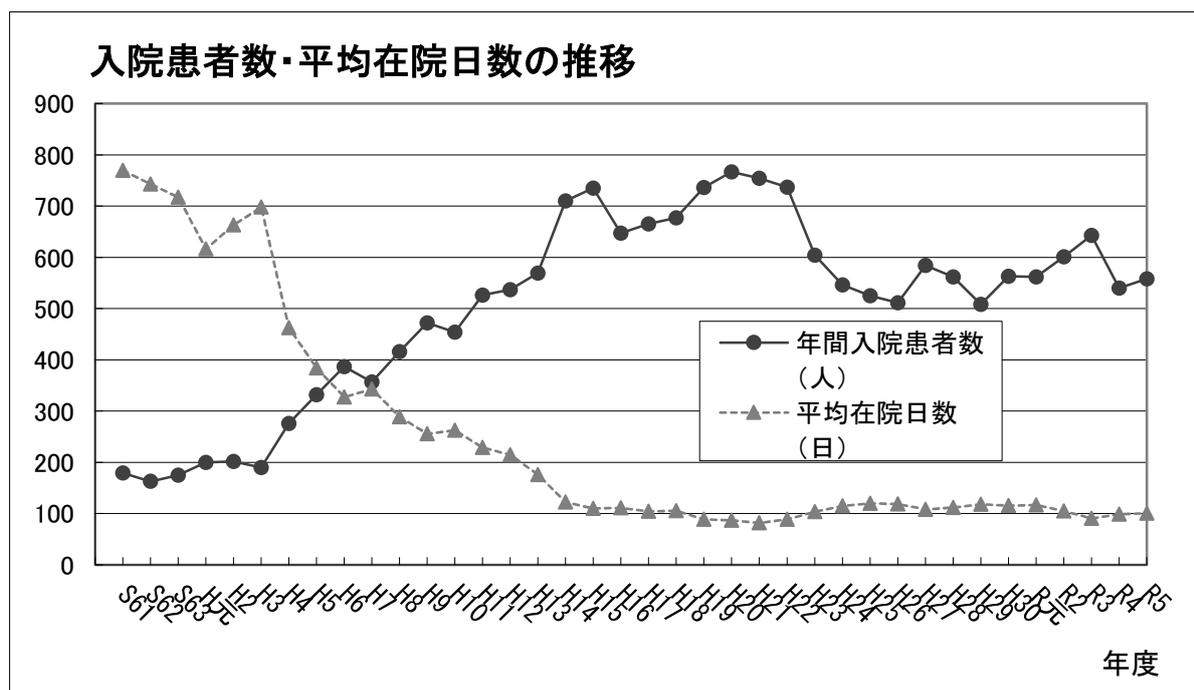
## (5) 年度別入院患者数及び平均在院日数

年間の入院患者数は、昨年度より18人増え、558人となりました。

入院患者の平均在院日数は昭和60年の808日から年々減少を続け、ここ数年は100日前後で推移しており、令和5年度は101日でした。

また、昨年度(令和4年度)入院した患者の退院までの日数は、患者540名のうち、90日以内が76.7%、1年を超えているのは2.8%となっています。

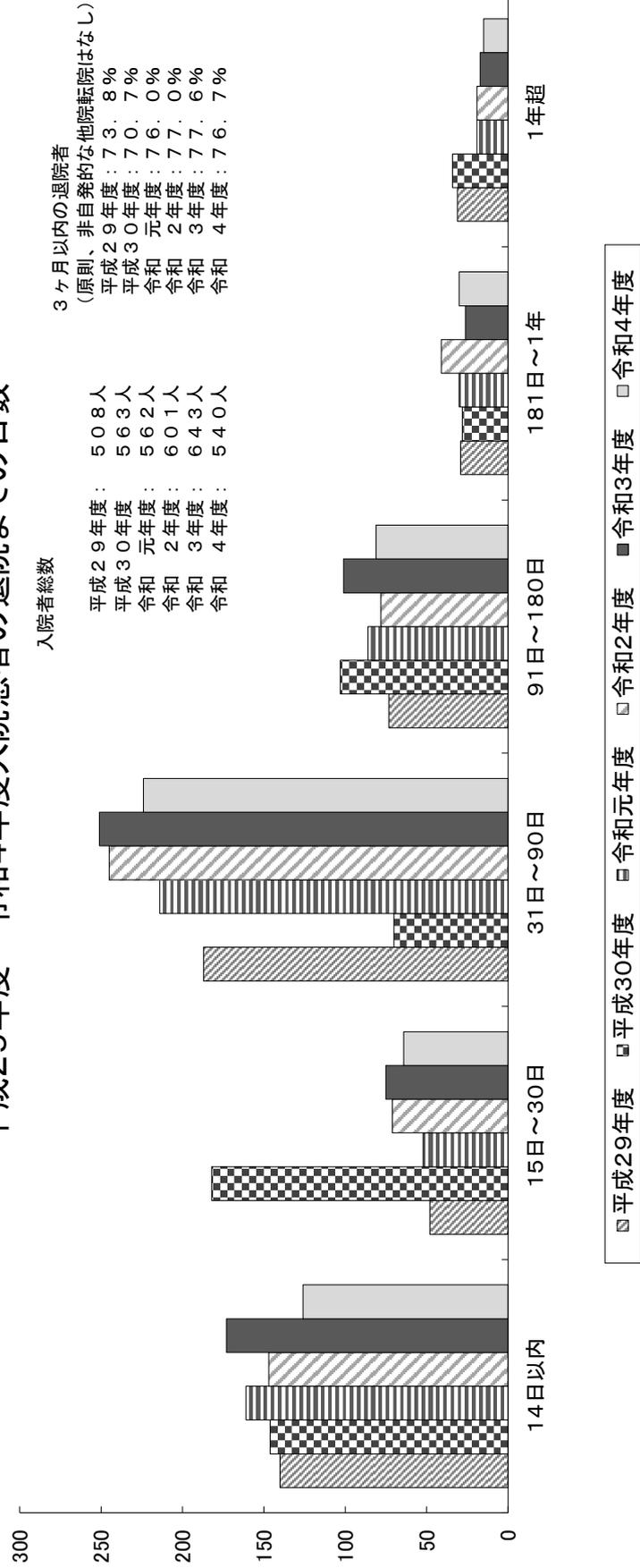
年度	年間入院患者数(人)	平均在院日数(日)	年度	年間入院患者数(人)	平均在院日数(日)
S61	179	770	H17	665	105
S62	163	743	H18	677	106
S63	175	718	H19	736	89
H元	200	617	H20	767	87
H2	202	664	H21	754	82
H3	190	698	H22	737	89
H4	276	462	H23	604	104
H5	332	384	H24	546	115
H6	387	328	H25	525	120
H7	357	343	H26	511	119
H8	416	289	H27	584	108
H9	472	256	H28	562	112
H10	454	263	H29	508	118
H11	526	229	H30	563	116
H12	537	215	R元	562	117
H13	569	176	R2	601	105
H14	710	123	R3	643	91
H15	735	110	R4	540	99
H16	647	111	R5	558	101



# 入院患者の退院までの日数

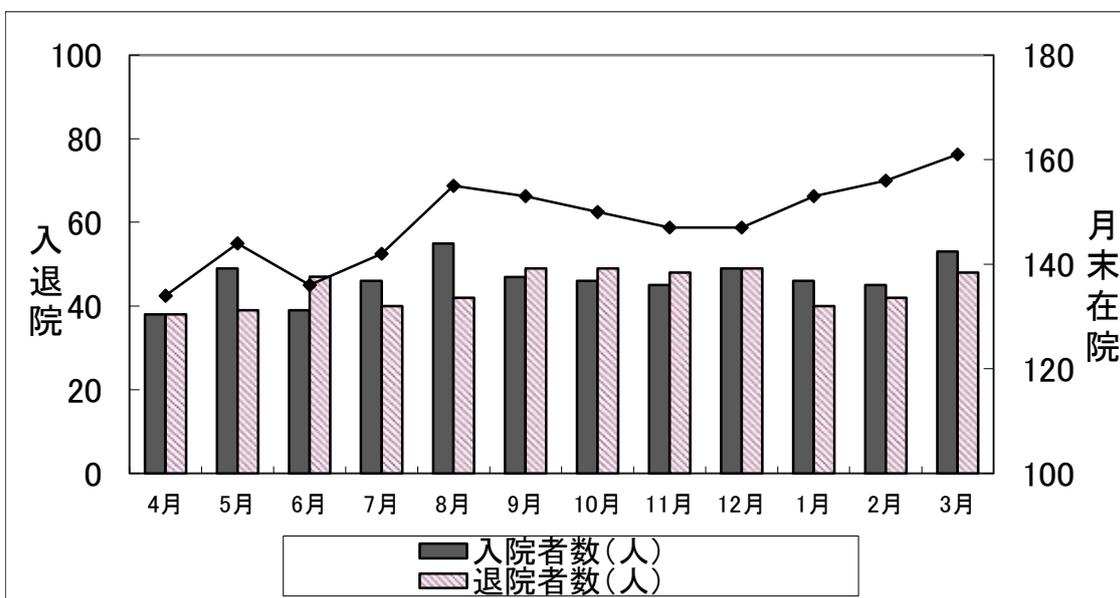
入院年度	14日以内	15日～30日	31日～90日	91日～180日	181日～1年	1年超	計(人)
平成29年度	140	48	187	73	29	31	508
平成30年度	146	182	70	103	28	34	563
令和元年度	161	52	214	86	30	19	562
令和2年度	147	71	245	78	41	19	601
令和3年度	173	75	251	101	26	17	643
令和4年度	126	64	224	81	30	15	540

## 平成29年度～令和4年度入院患者の退院までの日数

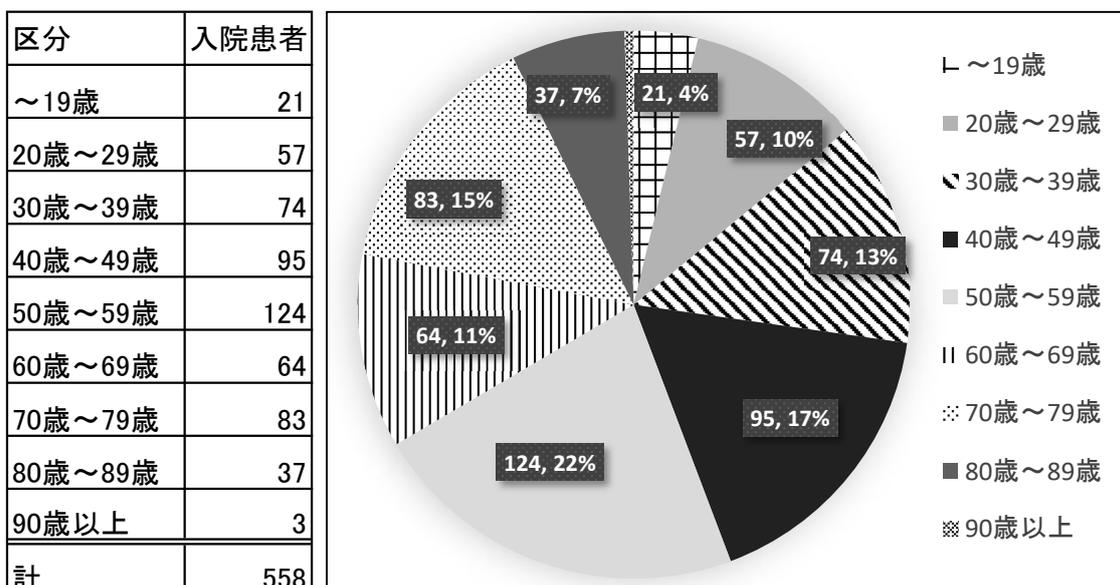


(6) 月別入院・退院・在院患者数

区分	入院者数(人)	退院者数(人)	月末在院者数(人)
令和5年 4月	38	38	134
令和5年 5月	49	39	144
令和5年 6月	39	47	136
令和5年 7月	46	40	142
令和5年 8月	55	42	155
令和5年 9月	47	49	153
令和5年 10月	46	49	150
令和5年 11月	45	48	147
令和5年 12月	49	49	147
令和6年 1月	46	40	153
令和6年 2月	45	42	156
令和6年 3月	53	48	161
計	558	531	



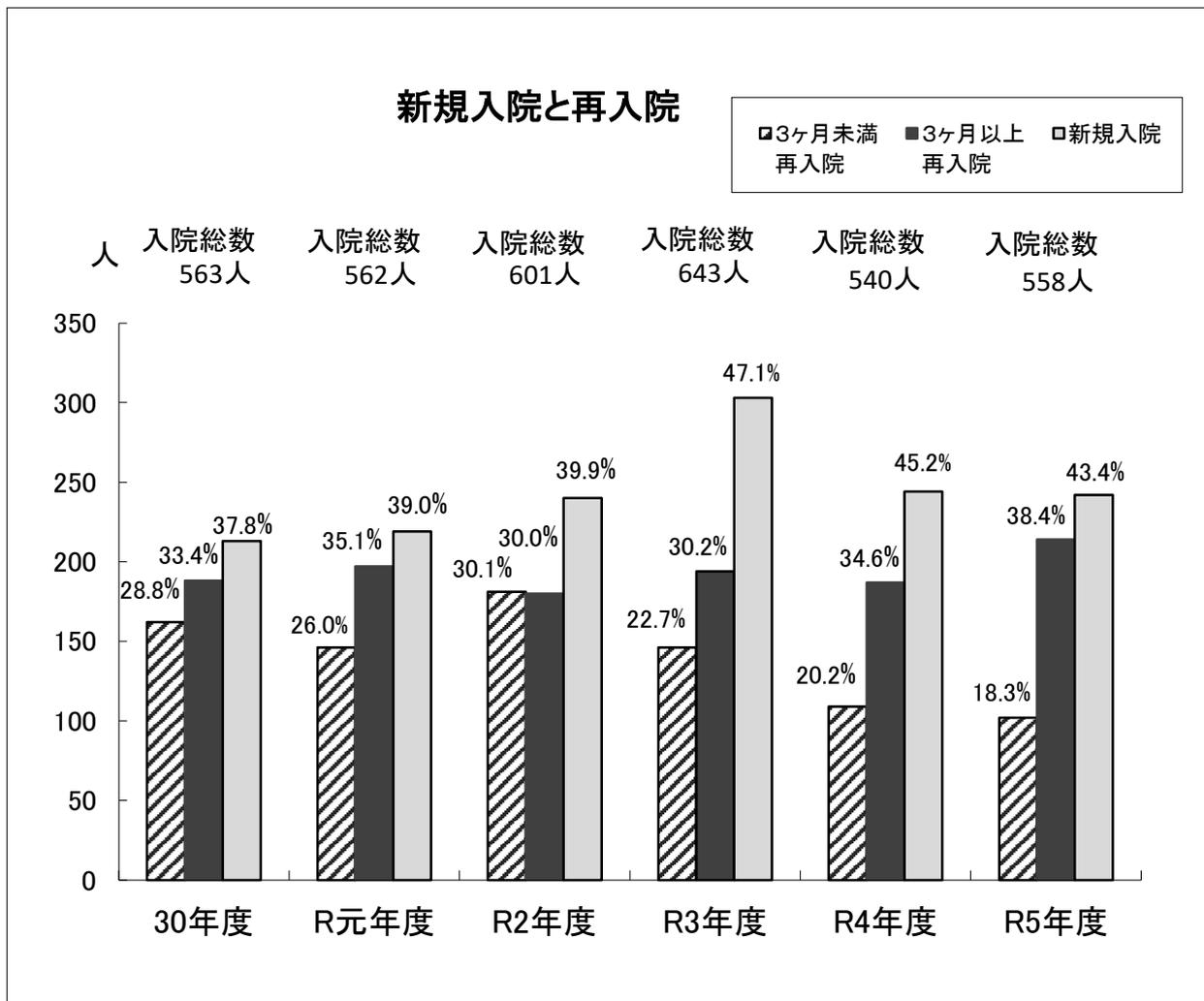
(7) 入院患者の年齢別内訳



(8) 入院患者の新規入院と再入院との内訳

(単位:人)

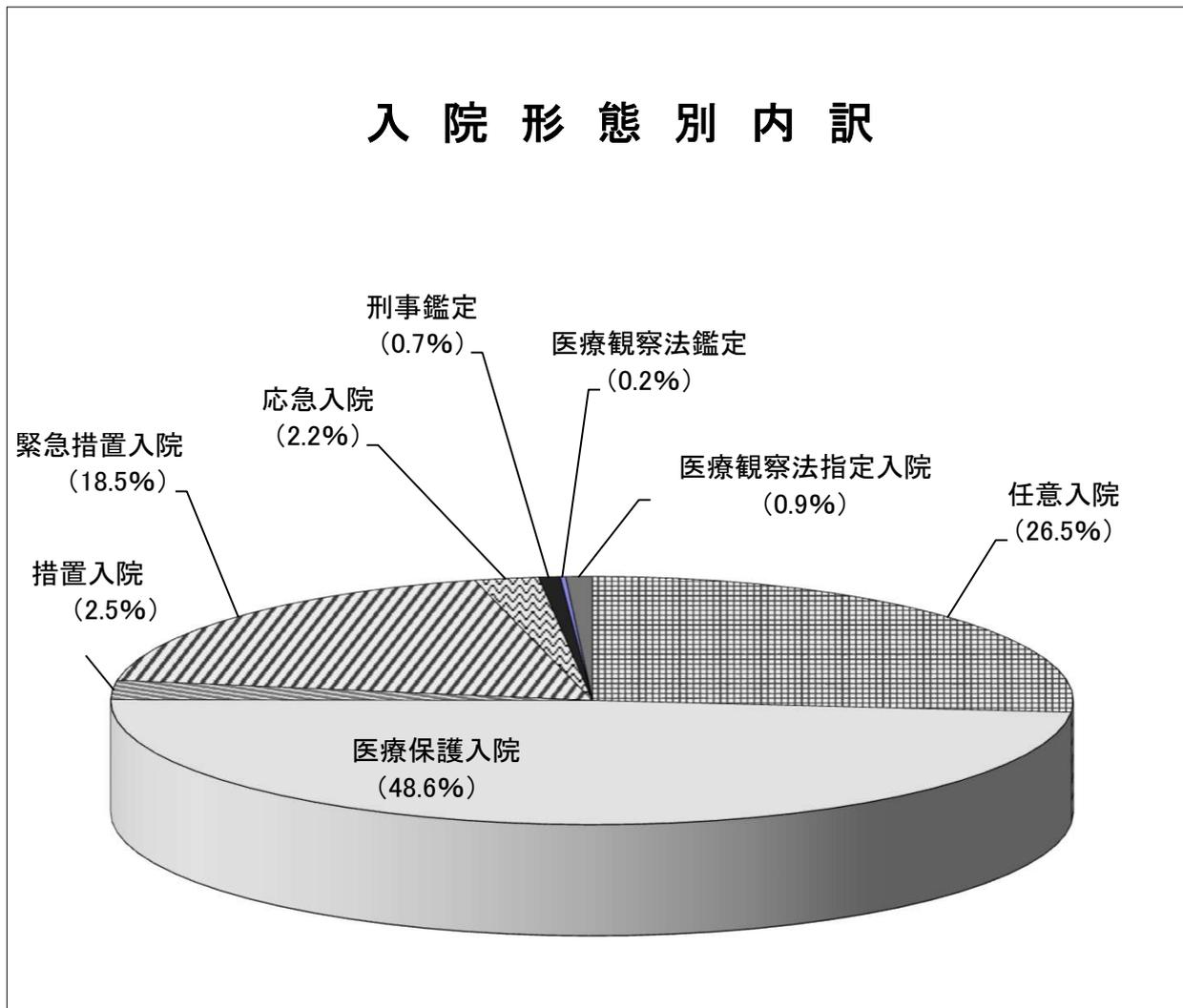
	3ヶ月未満 再入院	3ヶ月以上 再入院	新規入院	計
30年度	162	188	213	563
R元年度	146	197	219	562
R2年度	181	180	240	601
R3年度	146	194	303	643
R4年度	109	187	244	540
R5年度	102	214	242	558



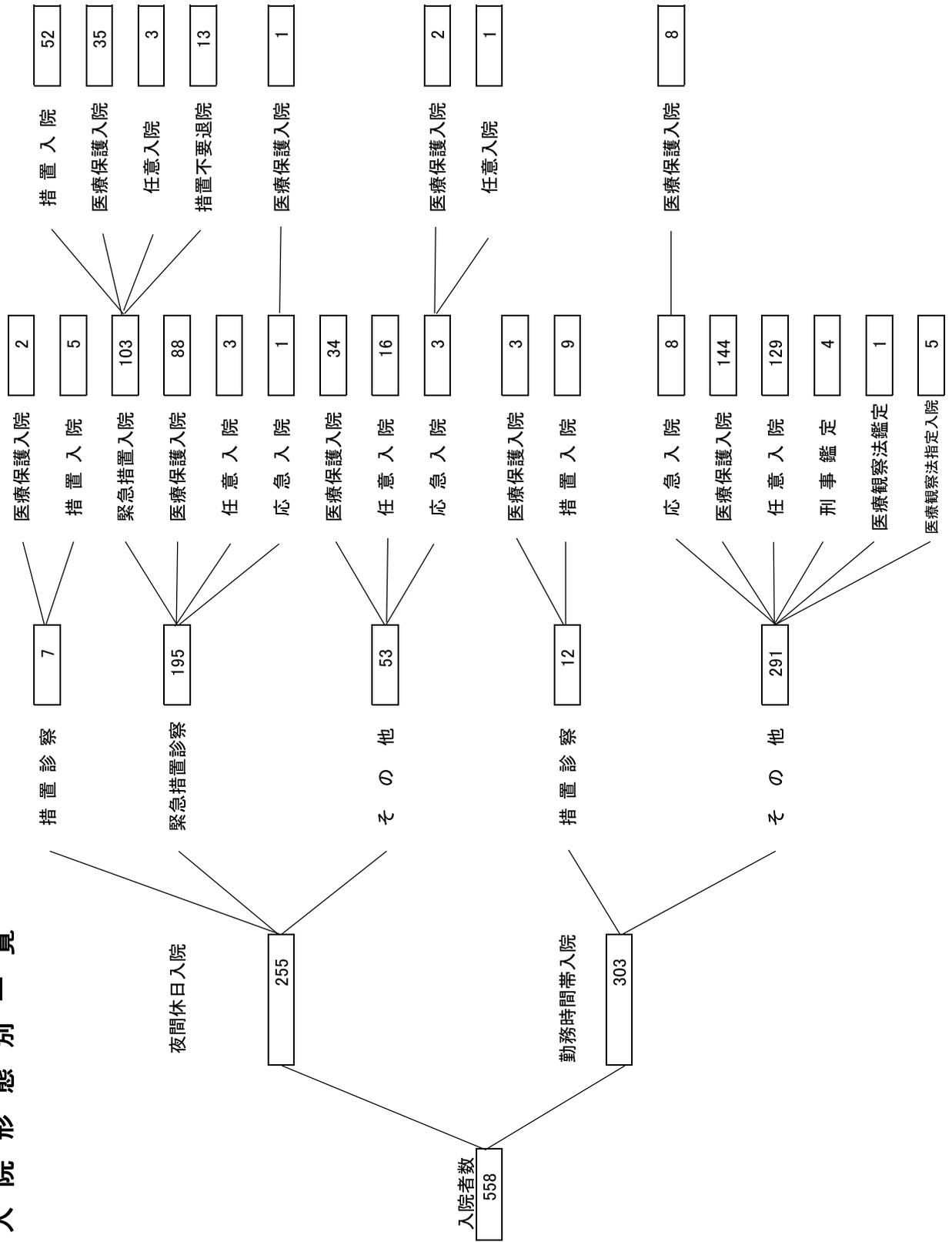
### (9) 形態別入院患者数

令和5年度の入院者数は558人で、そのうち任意入院は148名で全体の26.5%となっています。  
また、医療保護入院は271人で、全体の48.6%を占めています。

任意入院	医療保護入院	措置入院	緊急措置入院	応急入院	刑事鑑定	医療観察法鑑定	医療観察法指定入院	計(人)
148	271	14	103	12	4	1	5	558



# 入院形態別一覽



(10) 在院患者の入院形態別内訳

R5. 6. 30現在

入院形態	男	女	計(人)	比率
措置入院	2	2	4	2.9%
医療保護入院	52	48	100	73.0%
任意入院	12	6	18	13.1%
その他	8	7	15	10.9%
計	74	63	137	100.0%

(11) 在院患者の疾病別分類

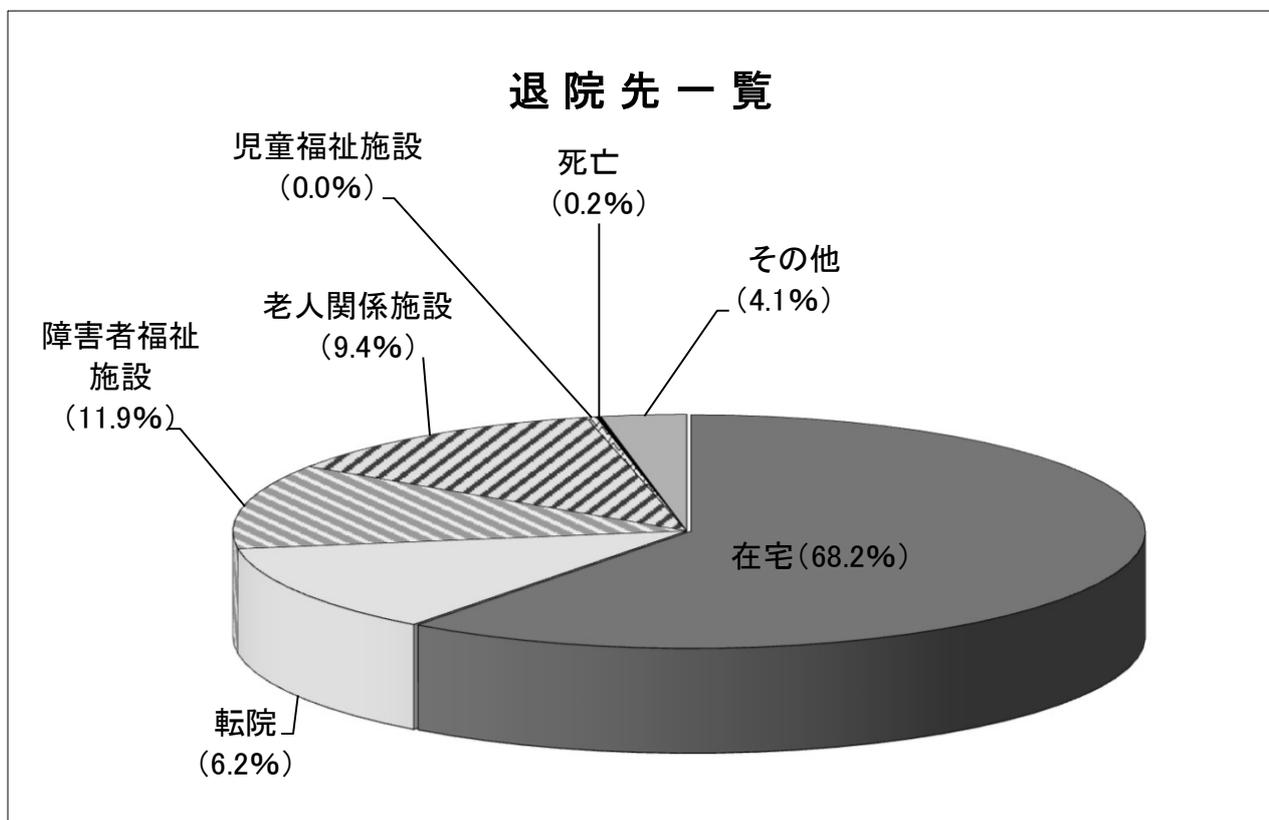
R5. 6. 30現在

病類別		男	女	計(人)	比率
F0	症状性を含む器質性精神障害	10	5	15	10.9%
F1	精神作用物質使用による精神および行動の障害	5	0	5	3.6%
F2	統合失調症、分裂病型障害および妄想性障害	52	46	98	71.5%
F3	気分(感情)障害	4	10	14	10.2%
F4	神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	0	1	1	0.7%
F5	生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	0	0	0	0.0%
F6	成人の人格および行動の障害	0	0	0	0.0%
F7	精神遅滞	0	0	0	0.0%
F8	心理的発達の障害	2	1	3	2.2%
その他	その他	1	0	1	0.7%
計		74	63	137	100.0%

## (12) 退院者の内訳

令和5年度の退院者数は、531人で、そのうち在宅となったものは362人で全体の68.2%となっています。

在宅	転院	障害者福祉施設	老人関係施設	児童福祉施設	死亡	その他	計
362	33	63	50	0	1	22	531



### 3 精神科救急医療の状況

#### (1) 夜間・休日精神科救急医療の状況

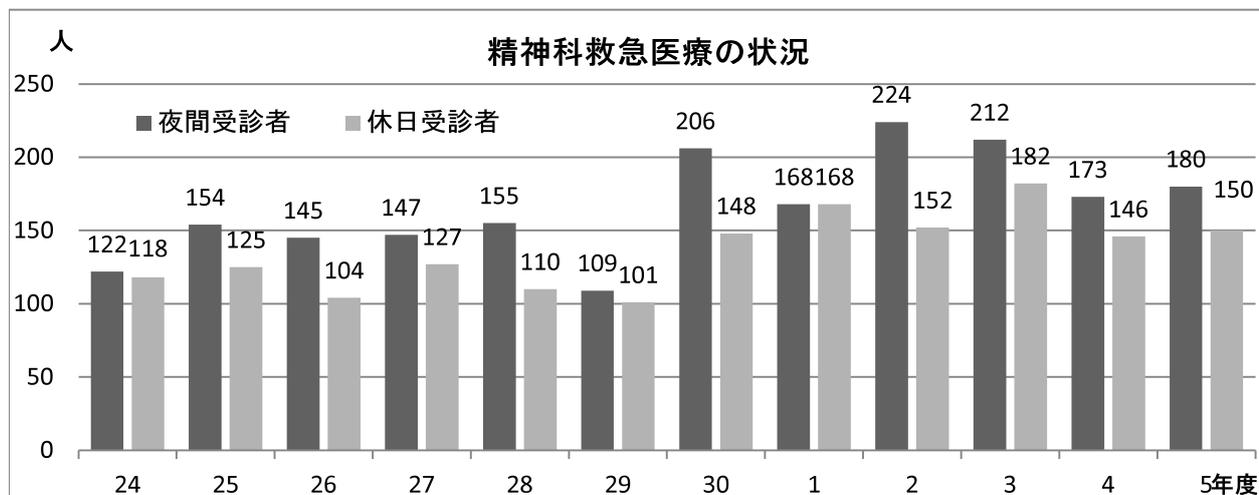
令和5年度の夜間休日の受診者数は330名でした。その内入院者数は255名で、令和5年度の全入院者数558名の45.6%となっています。

##### ① 夜間・休日受診者数(精神科救急医療体制整備事業に基づき夜間を17:00~で算出したもの)

区分	来院者数 (人)	診察結果		入院形態					
		外来・処方	入院	任意入院	医療保護	緊急措置	措置	応急	その他
令和 5年 4月	20	3	17	0	8	7	2	0	0
令和 5年 5月	34	12	22	6	8	8	0	0	0
令和 5年 6月	22	7	15	1	9	5	0	0	0
令和 5年 7月	29	10	19	1	10	8	0	0	0
令和 5年 8月	30	7	23	1	12	7	2	1	0
令和 5年 9月	26	7	19	2	10	7	0	0	0
令和 5年10月	25	4	21	2	7	10	1	1	0
令和 5年11月	29	5	24	2	13	8	0	1	0
令和 5年12月	27	5	22	1	12	9	0	0	0
令和 6年 1月	35	8	27	1	16	10	0	0	0
令和 6年 2月	24	4	20	2	8	9	0	1	0
令和 6年 3月	29	3	26	0	11	15	0	0	0
計	330	75	255	19	124	103	5	4	0

##### ② 夜間・休日受診者数の年度別推移(夜間17:15~で算出したもの)

項目		年度												
		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	
平日	0:00~ 8:30	122	154	145	147	155	109	206	168	224	212	173	180	
	17:15~24:00													
休 祭 日		118	125	104	127	110	101	148	168	152	182	146	150	
合 計		240	279	249	274	265	210	354	336	376	394	319	330	



① 全県ワンブロック制で、精神保健福祉法23条通報等の警察官関与ケースを中心に毎日受け入れ、民間病院は輪番制で本人及び家族からの依頼ケースを当番病院が受け入れています。なお、民間病院が受入困難な場合等のバックアップも行っています。

② 23条等の通報、届出は、「精神科救急情報センター」(こころの健康センター内に設置)に入り、29条の2の2(措置入院の移送)による移送制度を実施しています。

## 4 司法精神医療の状況

心神喪失又は心神耗弱の状態での重大な他害行為を行った者の社会復帰を継続的に支援・促進することを目的とし、平成15年に医療観察法（正式名称：心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律）が成立し、平成17年7月に施行されました。当センターは、この法律に基づく指定入院医療機関及び指定通院医療機関の役割を担い、手厚い専門的な医療と支援を行っています。また、この法律による医療が必要かどうか判断するために行われる鑑定入院も行っています。

### （1）指定入院の状況

平成21年6月より既存病棟に併設した小規模病棟（6床）を開設し、入院対象者の受け入れを開始しました。平成24年3月には敷地内に医療観察法新病棟（17床（うち保護室1））を整備、さらに令和4年4月11日より18床（うち保護室1・生活訓練室1）へ届出を変更し、運営を行っています。

#### ○入院患者数

（単位：人）

年度	期首在院患者数	入院患者数	退院患者数	期末在院患者数
H21	0	8	2	6
H22	6	2	2	6
H23	6	6	2	10
H24	10	9	4	15
H25	15	4	4	15
H26	15	2	3	14
H27	14	7	6	15
H28	15	2	5	12
H29	12	7	6	13
H30	13	6	5	14
R1	14	6	5	15
R2	15	7	7	15
R3	15	4	4	15
R4	15	5	5	15
R5	15	4	5	14

#### ○退院患者数

（単位：人）

年度	退院患者数	処遇継続		処遇終了		
		転院	通院医療	精神保健 福祉法入院	地域移行	その他
H21	2	0	2	0	0	0
H22	2	0	3	0	0	0
H23	2	0	2	0	0	0
H24	4	0	3	1	0	0
H25	4	1	2	1	0	0
H26	3	0	3	0	0	0
H27	6	1	5	0	0	0
H28	5	0	4	1	0	0
H29	6	0	3	3	0	0

H30	5	1	3	1	0	0
R1	5	2	2	1	0	0
R2	7	1	4	1	1	0
R3	4	1	3	0	0	0
R4	5	3	2	0	0	0
R5	5	2	3	0	0	0

○入院患者の属性（注：入院時の年齢による）

（単位：人）

年度	～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60歳～		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
H21	0	0	3	1	1	1	0	1	1	0	5	3	8
H22	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0	2
H23	0	0	1	0	2	0	1	2	0	0	4	2	6
H24	1	1	3	0	1	0	0	1	2	0	7	2	9
H25	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	2	2	4
H26	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2	0	2
H27	1	0	1	0	4	0	0	0	1	0	7	0	7
H28	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	3	0	3
H29	0	0	3	0	2	0	0	0	0	2	5	2	7
H30	0	0	0	0	2	1	1	1	1	0	4	2	6
R1	0	0	1	0	2	1	1	0	1	0	5	1	6
R2	0	0	0	0	2	2	2	0	1	0	5	2	7
R3	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	2	2	4
R4	1	0	1	1	1	0	0	1	0	0	3	2	5
R5	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	4

○入院患者の病名（注：入院時の病名による）

（単位：人）

年度	F0 器質性・症 状性精神障 害	F1 精神作用 物質関連 障害	F2 統合失調 症圏	F3 気分障害 圏	F4 神経症、 パニック 障害	F6 人格及び 行動の障害	F8 心理的発達 の障害	合計
H21	0	1	5	1	0	1	0	8
H22	0	0	2	0	0	0	0	2
H23	1	0	5	0	0	0	0	6
H24	1	0	8	0	0	0	0	9
H25	0	0	4	0	0	0	0	4
H26	0	1	1	0	0	0	0	2
H27	2	0	4	0	0	1	0	7

H28	1	0	2	0	0	0	0	3
H29	0	1	4	1	0	0	1	7
H30	0	0	6	0	0	0	0	6
R1	1	1	3	1	0	0	0	6
R2	1	0	4	1	1	0	0	7
R3	0	0	4	0	0	0	0	4
R4	0	0	5	0	0	0	0	0
R5	0	1	3	0	0	0	0	0

## (2) 指定通院の状況

平成17年7月から指定通院医療機関の指定を受け、通院の受入れを開始しています。通院処遇の期間は原則3年、最大で5年までとなっています。

### ○通院患者数

(単位：人)

年度	期首通院患者数	新規 通院患者数	転医	処遇終了 患者数	期末通院患者数
H21	4	4	0	2	6
H22	6	2	0	1	7
H23	7	2	0	3	6
H24	6	3	0	3	6
H25	6	3	1	2	6
H26	6	3	1	1	7
H27	7	2	0	2	7
H28	7	6	0	2	11
H29	11	2	0	5	8
H30	8	2	0	2	8
R1	8	1	0	4	5
R2	5	2	0	3	4
R3	4	1	0	2	3
R4	3	0	0	0	3
R5	3	1	0	3	1

### ○通院処遇終了者数

(単位：人)

年度	処遇終了者数	転帰			
		通院継続	医療終了	(再)入院	その他
H21	2	2	0	0	0
H22	1	0	0	0	1

H23	3	3	0	0	0
H24	3	3	0	0	0
H25	2	2	0	0	0
H26	1	1	0	0	0
H27	2	2	0	0	0
H28	2	2	0	0	0
H29	5	4	1	0	0
H30	2	2	0	0	0
R1	4	4	0	0	0
R2	3	3	0	0	0
R3	2	2	0	0	0
R4	0	0	0	0	0
R5	3	3	0	0	0

### (3) 鑑定入院の状況

平成17年7月から裁判所の命令による鑑定入院を受け入れています。鑑定入院の期間は原則2カ月、最大で3カ月までとなっています。

○鑑定入院者数（※処遇決定日で算出）

（単位：人）

年度	入院者数	決定内容			
		入院処遇	通院処遇	不処遇	その他
H21	5	4	1	0	0
H22	6	5	0	1	0
H23	5	4	0	1	0
H24	6	5	0	1	0
H25	4	2	0	2	0
H26	8	4	0	4	0
H27	6	5	0	1	0
H28	4	1	2	1	0
H29	3	2	0	1	0
H30	1	0	0	1	0
R1	2	1	0	1	0
R2	2	2	0	0	0
R3	0	0	0	0	0
R4	3	3	0	0	0
R5	1	1	0	0	0

## 5 クロザピン治療と電気療法

### (1) クロザピン治療

#### ①クロザピン委員会

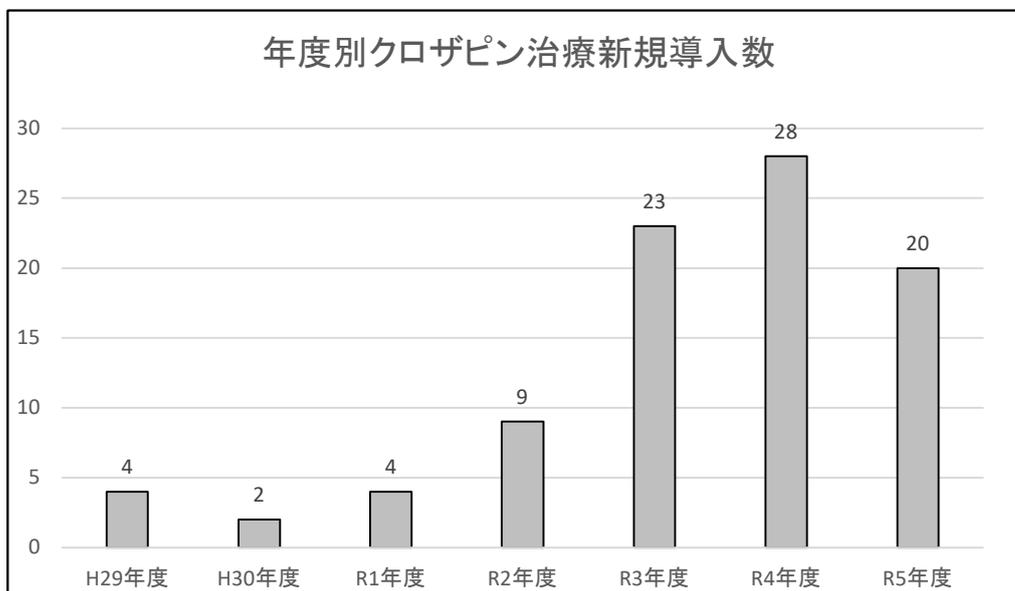
群馬県立精神医療センターにおけるクロザピンの使用等について、関係する部署の意見を  
確認し運用方法を決定するとともに、症例検討をおこない患者への治療開始を承認す  
ることを目的とする。  
(クロザピン委員会設置要領 第2条)

#### ②令和5年度 月別新規導入数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度計
新規導入数	0	2	1	4	1	3	3	0	1	1	0	4	20	28

※再導入についても新規としてカウントする (CPMSでは新規患者として付番されるため)

#### ③年度別新規導入数



#### ④令和5年度末時点における新規導入患者の累計数

124

⇒尚、令和5年度における新規導入患者数の内訳は以下の通りです。

・当院新規導入患者数	18
・他院引き継ぎ導入患者数	1
・再登録導入患者数	1

#### ⑤中止数

令和5年4月～令和6年3月までに中止となった症例は以下の通りです。

イレウス発症のため	0
発熱	0
好中球減少	1
好酸球増多	0
効果不十分	0
その他	1
合計	2

※ その他、2名の患者が転院のため当院での継続は中止した。

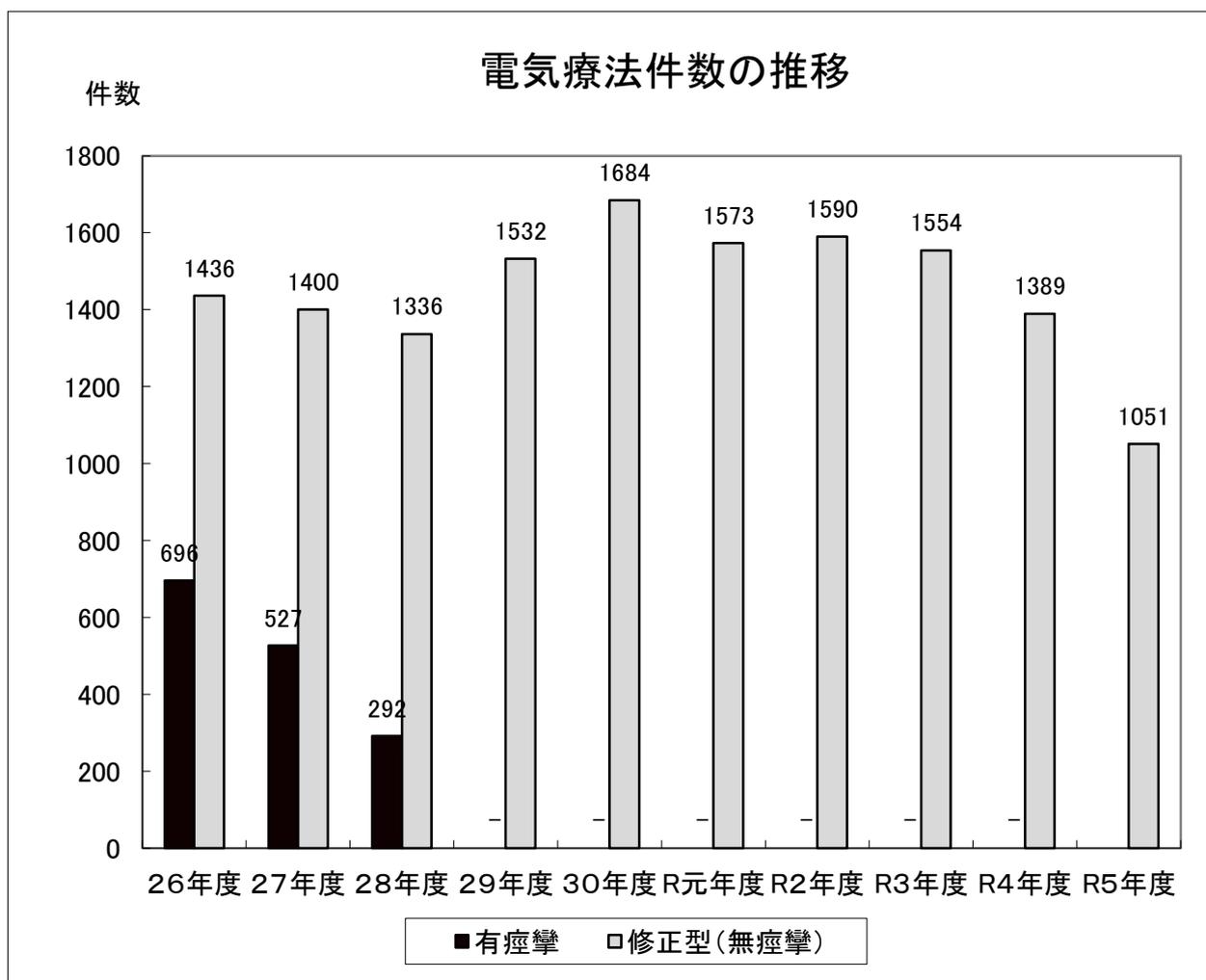
## (2) 精神科電気痙攣療法

### ①職員体制

麻酔科医を群馬大学医学部附属病院から招へい

### ②月別件数及び実人員

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度計
修正型（無痙攣）電気療法	70	71	110	81	119	99	91	61	77	109	74	89	1,051	1,389
	実人員												108	125



※有痙攣電気療法については、機器の老朽化のため、29年1月から実施していない。

## Ⅲ 各種業務の状況

## (1) 医療福祉課

- ① 職員体制 精神保健福祉士10人(正規8人・会計年度任用3人<うち1人はデイケア業務>)  
臨時事務職員1人

### ② 活動内容

医療福祉課は、①地域連携室として受診・入院相談の窓口 ②入院・外来の精神保健福祉士としての業務 ③患者相談窓口としての業務を行っている。どの業務にしても、受診・入院から退院、地域定着と切れ目ない支援構築をめざして、当事者のニーズを大切に生活支援・院内多職種間のパイプ役・当院と関係機関とのパイプ役を意識して業務を行っている。

令和4年4月から、群馬弁護士会の協力のもと『院内法律相談会』(1回/月)をはじめた。

また、移送制度では精神科救急情報センターとの連絡調整や支援会議設定の窓口も行っている。院内の情報を外に発信し、外の風を院内に入れることを課として心がけている。

#### ○個別援助内容

単位：件

業 務 内 容	援助延べ件数
①受診・入院援助	1,131
②退院援助	1,604
③情緒的問題援助	137
④家族問題調整	159
⑤経済問題援助	701
⑥住宅問題援助	224
⑦療養上の問題調整	4,706
⑧その他(就労支援他)	2,436
合 計	11,098

#### ○その他

単位：件

業 務 内 容	援助延べ件数
⑨家族会援助	17
⑩関係機関との連絡調整	3,468
⑪支援会議等	183
⑫実習生支援等	84
合 計	3,752

### ③ 業務実績

全体的には大きく変化はなかった。退院支援のための外出や外泊、家族や支援者との面会等の制限が緩和され、当事者に不利益のない形で退院支援や地域との連携をとれるように意識して業務を行った。なるべく、病院の外に出るような機会や外部の人との交流の機会を設けるようにした。

(※患者相談窓口の業務に関してはⅢ-(12))

#### ○援助手段別

単位：件

項 目	援助延べ件数	
面 接	患者	3,717
	家族	1,278
	その他	1,059
電 話	患者・家族	2,561
	その他	3,762
文 書	患者・家族	163
	その他	489
合 計	8,919	

群馬県では、措置入院者の退院後支援についての仕組みは『群馬モデル』として実施してきた。その一環として当院では、夜間休日の警察官通報等の受け入れを行っている。そういったケースに関しては、退院時の支援の一環として支援会議を行っている。今後『精神障害にも対応した地域包括ケアシステム』の定着へむけて県内精神科病院や精神科診療所・地域機関との連携をより一層充実させていく必要性や、新しい長期入院者が生じないよう、多職種チームの中で精神保健福祉士として退院支援技術の向上、地域の関係機関との有機的連携の構築・継続がこれまで以上に課題である。当院の新たな取り組みとして、令和4年度よりアウトリーチを試験的に開始。多職種と協働して少しずつ実績を積み上げている最中であり、システム化へむけて準備をすすめている。

医療観察法病棟における精神保健福祉士業務では、県外入院者の退院調整がすすみ、県内の対象者が増えてきた。医療観察法対象者の受け入れについては、保護観察所と協働して情報の共有や研修・会議の中で開拓をこれまで同様に行っている。

今後は、『精神障害にも対応した地域包括ケアシステム』の広がりにあわせて、これまで以上に外来患者への支援体制を院内外で構築できるように動いていきたい。

## (2) リハビリテーション課

### ① 職員体制

#### ◎ 作業療法部門

作業療法士 6 人(正規 6 人)、急性期病棟群・リハビリ病棟群、及び外来と医療観察法病棟(専任 1 人、兼務 1 人)を担当している。

#### ◎ デイケア部門

看護師(正規 2 人、会計年度職員 1 人)、精神保健福祉士(会計年度職員 1 人)、公認心理師(会計年度職員 1 人)のうち 4 人が専従、医師(正規)1 人が兼務で担当している。

### ② 活動概要と主な取組

- 精神保健福祉法及び医療観察法対象者への精神科作業療法(入院、外来)及び精神科デイケア(大規模デイケア、ショートケア:50 人)の実施している。

- 臨床実習生及び研修生の受入

#### ◎ 作業療法部門

作業療法学生 4 人

(前橋医療福祉専門学校、群馬パース大学、群馬医療福祉大学)

#### ◎ デイケア部門

研修医 39 人

医学生 5 人

PSW 学生 5 人

CP 学生 2 人

精神科看護認定看護師 1 人

看護学生 11 人

- 多職種チーム治療プログラムの実施

#### ◎ 作業療法部門

・疾病教育プログラム「生活のコツ」(統合失調症・双極性障害:計 39 回)

・疾病教育プログラム「薬の話」(計 26 回)

・社会生活力プログラム「しっとく会」(E 棟 4 クール、G 棟 4 クール)\* 1 クール 10 回

・知って得するコーナー(A 棟 9 回・B 棟 3 回)

・転倒予防体操:1,084 回実施した。

#### ◎ デイケア部門

健康教室 12 回、SST26 回実施した。

- 各種会議・委員会への出席

#### ◎ 作業療法部門

支援会議

MDT・CPA 会議

#### ◎ デイケア部門

群馬県デイケア連絡会議

○ 作業療法週間プログラム（令和5年度11月～）

		月	火	水	木	金
午前	外来 一般病棟 (病棟外 OT)		パラレル OT	農耕	疾病教育 (薬の話)	スポーツ 疾病教育 (生活のコツ)
	一般病棟 (病棟内 OT)	全体ミーティング (A) 創作・体操 (B2)	創作・体操 (E1・E2)	かたり場 (A)	創作・体操 (A/B1・B2)	創作・体操 (A)
	医観法 病棟	グループ OT	園芸	パラレル OT	※	※
午後	一般病棟 (病棟内 OT)	創作・体操 (E1・E2/G1・ G2)	創作・体操 (G1・G2) 全体ミーティ ング(B)	創作・体操 (B1・B2/G1)	しっとく会 (G1・G2) 創作・体操 (E1・E2)	しっとく会 (E1・E2) 創作・体操 (B1/G1・ G2)
	医観法 病棟	ホテワーク	※	※	※	※

※面接、個人 OT、散歩付添、外出/外泊付添、各種会議等

棟内外作業療法週間予定は、プログラム内容の充実に向けて内容の評価・分析を行っている。

○ 作業療法延べ参加者数とレセプト請求件数（実施日 234 日）

		R5 (A)	R4 (B)	増減 (A-B)
参加者総数(人)	入院+外来	16,425	19,293	944
	1日平均	67.5	82.4	5.7
レセプト 請求数(人)	入院	12,652	14,929	▲19
	外来 (うち医・通)	180 (0)	182 (0)	147 (0)
	合計	12,832	15,111	128
	1日平均	52.8	64.5	1.9

○ 医療観察法病棟作業療法プログラム実施回数

	R5 (A)	R43 (B)	増減 (A-B)
面接／個人 PG	361	386	▲25
集団 PG	382	330	52

◎ デイケア部門

- ・ 新規利用者は 11 人。再加入者は 22 人だった。
- ・ 復学・就労移行者は、6 人だった。

○ デイケア実施件数

	R5 済 (A)	R4 済 (B)	増減 (A-B)
実施日数	242	243	▲1
デイケア参加者数(一般)	2,385	2,221	164
ショートケア参加者数(一般)	807	936	▲129
デイケア参加者数(医療観察法)	0	0	0
ショートケア参加者数(医療観察法)	0	0	0
病棟(体験)参加者数	5	5	0
延べ参加者数	3,348	3,203	145
レセプト請求数	3,296	3,161	135

※医療安全対策としてデイケア利用者は院内防災訓練に参加した。

### (3)心理判定課

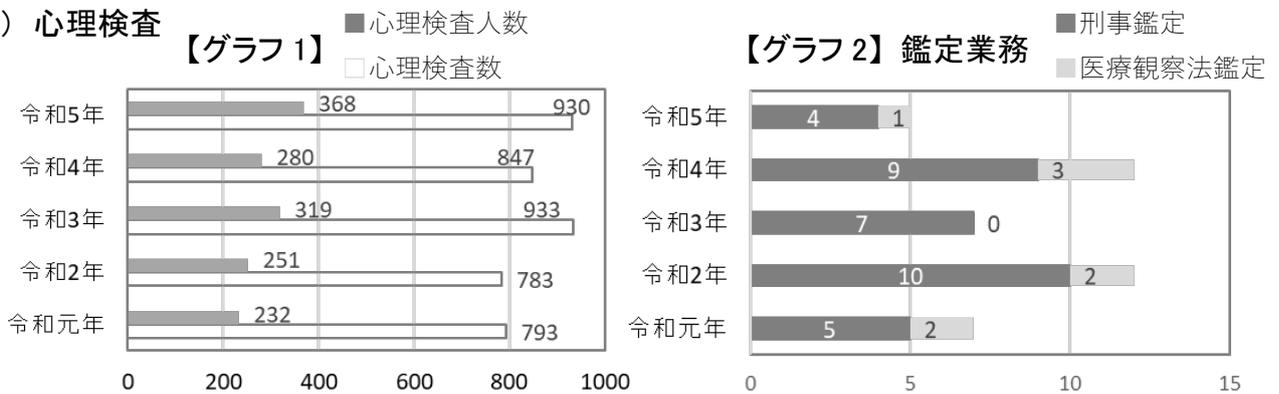
#### ① 職員体制

正規職員 4 名と実務研修生 1 名の計 5 名体制である。医療観察法病棟には 1.5 名(専任の正規職員 1 名と一般病棟との兼任正規職員 1 名)、急性期病棟・リハビリ病棟・外来(医療観察法通院処遇を含む)は職員 2.5 名と実務研修生 1 名で担当した。

#### ② 活動内容

心理判定課の業務は、1)心理検査と 2)心理療法に大別され、心理療法は構造的なものとは非構造的なものに分けられる。また、心理療法には多職種と協働して行われる多職種プログラムも含まれている。心理士と患者で行われる非構造的な心理療法には、看護と協働して実施している心理看護合同面接も含まれる。その他、チーム医療の一員として、多職種チーム会議への参加や、医療観察病棟対象者の外出・外泊付き添いなどの業務もある。

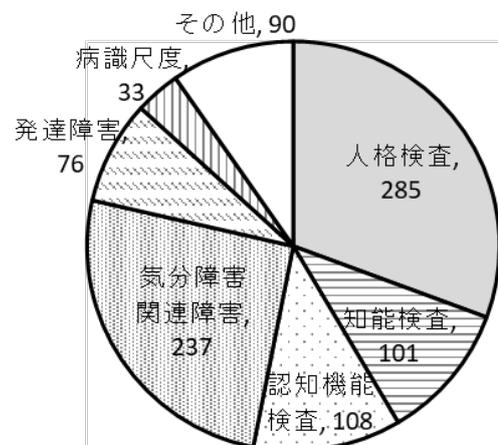
#### 1) 心理検査



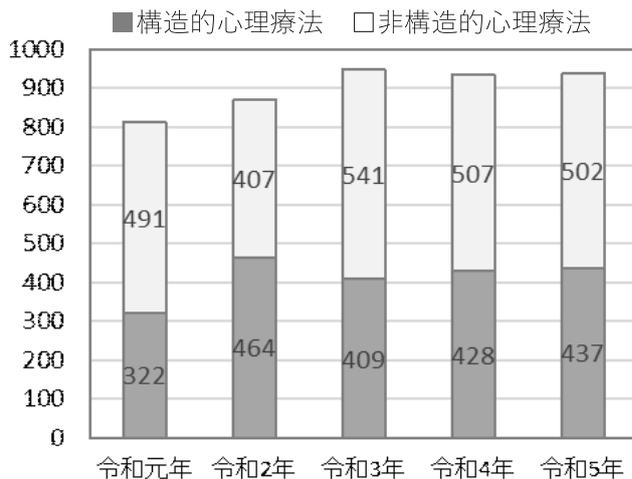
心理検査を実施した対象者数は 368 名で、検査総件数は 930 件であった【グラフ 1】。前年度と比較して、対象者数は 134%、心理検査数は 110%と増加した。検査対象者には、鑑定業務(刑事鑑定・医療観察法鑑定)の 5 名も含まれ、鑑定業務に関しては前年度と比較して 42%と減少している【グラフ 2】。検査依頼の主な目的は診断補助で、複数のテストバッテリーを組んだものが多い。また、医師からの依頼や本人希望により、本人用の心理検査レポートを作成し、心理検査フィードバック面接を R5 年度は 47 名に行った。

なお、心理検査数には、新規外来スクリーニングや疾病教育プログラムの事前事後アセスメントも含まれている。疾病教育プログラムのアセスメントの主な目的は、多職種チームで実施しているプログラムにおいて、対象者の状態像や課題の共通認識にある。実施した心理検査種別については【グラフ 3】の通りである。

【グラフ 3】 心理検査種別



## 2) 心理療法



構造的な心理療法には、各種疾病教育プログラム、内省プログラム、WRAP(元気回復プログラム)、回数や内容が予め決められた認知行動療法が含まれる。非構造的な心理療法は、主に個人を対象とした心理カウンセリングで、医療観察病棟で行われている集団による茶話会も含まれる。

主体的な対処法の獲得を目的とした疾病教育プログラムでは、統合失調症・気分障害をはじめ、発達障害・

物質使用障害、ゲーム・ネット依存に関する心理教育を行っている。また、怒りのコントロールプログラムやバランス思考講座、やわらかあたまプログラムなど、認知や行動変容を促すプログラムも実施している。

個人を対象とした心理カウンセリングは、医療観察法処遇対象者や一般医療における治療困難者に対して、多職種チームで課題を絞り、個別の問題解決に向けて実施している。令和5年度の心理療法総数は計939回とほぼ前年度と同等であったが、構造的、非構造的な心理療法の比率に関しては、前年度と比較して構造的な心理療法が増加している。

## 3) 多職種チーム会議

多職種による医療観察法関連業務で、心理士は多職種チームが協働するための重要な役割を担っている。医療観察法の多職種チーム(MDT)会議や地域支援会議(CPA・ケア会議)、一般病棟での鑑定会議に参加して、情報を共有し役割を分担、協働している。鑑定MDT会議は医療観察法鑑定ケースで開催される。令和5年度の医療観察法鑑定は1件であった。また、計上はしていないが、各病棟の治療カンファレンスへ参加し、他職種と必要に応じて心理的な視点からの情報提供や役割の分担、協働を行っている。なお、一般医療業務と医療観察法業務の内訳は以下の通りである。

精神保健福祉法	MDT 会議 (支援会議含む)	17	合計 234 回 (前年度比 80%)
	鑑定 MDT	5	
医療観察法	MDT	182	
	CPA 会議	30	

## 4) その他

医療観察法病棟心理職の業務には散歩・外出や外泊の付き添いも加わる。対象者のステージ(急性期・回復期・社会復帰期)によって変動があり、令和5年度は散歩・外出43回で、外泊の付き添いは0回であった。

(4) 検査課 (臨床検査関係)

① 職員体制

臨床検査技師 2 人 (正規職員 2 人)

② 概要

○業務目的

内部および外部精度管理を実施し、日々機器の状態を把握することで、正確な検査結果を提供する。また、患者サービス向上のため迅速に検体処理を行い、外来診察前に結果報告が出来る様、日々業務に取り組むことを目的とする。

○業務内容

- ① 検体検査：生化学検査・血液検査・血清検査・一般検査・細菌検査
- ② 生理検査：心電図・脳波

【資料1】月別検査件数 (項目数)

(単位：件)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度計	前年対比
生化学検査	6,512	7,577	7,863	7,454	8,255	7,991	7,353	7,952	7,402	7,434	8,224	7,959	91,976	87,113	105.6%
一般検査	1,564	2,181	2,174	1,933	2,081	1,802	2,053	1,876	1,777	1,772	1,621	1,835	22,669	27,451	82.6%
血液検査	2,616	3,079	3,250	2,958	3,392	3,171	2,967	3,315	3,086	3,063	3,387	3,245	37,529	35,318	106.3%
血清検査	462	701	560	635	672	628	564	610	545	594	587	615	7,173	6,495	110.4%
細菌検査	12	18	16	16	23	21	31	16	14	12	29	14	222	281	79.0%
病理検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
生理検査	96	115	109	102	130	98	99	109	106	101	101	111	1,277	1,199	106.5%
計	11,262	13,671	13,972	13,098	14,553	13,711	13,067	13,878	12,930	12,976	13,949	13,779	160,846	157,857	101.9%

\*新型コロナウイルス遺伝子検査件数は、血清検査を含む

【資料2】年度別検査件数

(単位：件)

		生化学	一般	血液	血清	細菌	病理	生理	合計	総数	
令和元年度	検体数	院内	5,317	2,305	5,184	1,234	135	0	1,170	15,345	17,206
		外注	715	13	59	1,013	61	0	0	1,861	
	項目数	院内	77,676	25,575	30,295	1,342	137	0	1,170	136,195	142,741
		外注	1,436	13	112	4,800	185	0	0	6,546	
令和2年度	検体数	院内	5,205	2,335	5,046	1,053	138	0	1,277	15,054	16,723
		外注	612	8	58	933	58	0	0	1,669	
	項目数	院内	73,998	35,045	29,391	1,365	139	0	1,277	141,215	146,643
		外注	976	8	67	4,171	206	0	0	5,428	
令和3年度	検体数	院内	6,083	2,324	5,842	1,914	119	0	1,409	17,683	19,580
		外注	676	14	117	1,067	23	0	0	1,897	
	項目数	院内	86,602	34,659	34,371	2,147	119	0	1,409	159,307	165,531
		外注	1,030	14	136	4,965	79	0	0	6,224	
令和4年度	検体数	院内	6,272	1,844	5,983	1,906	124	0	1,199	17,328	20,526
		外注	975	8	70	1,050	51	0	0	2,154	
	項目数	院内	86,203	27,443	35,224	2,012	124	0	1,199	152,205	157,857
		外注	910	8	94	4,483	157	0	0	5,652	
令和5年度	検体数	院内	6,659	1,500	6,360	2,190	145	0	1,277	18,131	20,205
		外注	988	14	25	1,021	26	0	0	2,074	
	項目数	院内	90,647	22,655	37,492	2,295	145	0	1,277	154,511	160,846
		外注	1,329	14	37	4,878	77	0	0	6,335	

(検体数=被検査人数)

\*新型コロナウイルス遺伝子検査項目数・検体数は、血清検査を含む

### (5) 検査課（放射線）

#### ①職員体制

正規職員 1名 会計年度職員 1名

#### ②業務

入院時の一般撮影・骨密度測定・頭部CT検査および入院患者様の検査を行っている。

CT画像の読影は、VPNによる遠隔読影により県立がんセンターに依頼している。

#### ③月別検査人数

(単位：人数)

2023年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般撮影	57	74	68	68	84	74	83	97	74	73	62	72	886
CT	37	51	47	50	60	55	48	57	55	52	50	53	615
計	94	125	115	118	144	129	131	154	129	125	112	125	1501

2022年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般撮影	72	81	86	76	69	75	73	77	46	67	54	61	837
CT	45	56	62	53	48	48	53	56	48	58	44	50	621
計	117	137	148	129	117	123	126	133	94	125	98	111	1458

#### ④部位別年度比較

(単位：件)

一般撮影		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
胸部	2023年度	42	64	54	54	68	49	57	71	59	58	48	55	679
	2022年度	50	62	64	53	52	46	45	55	40	53	38	49	607
腹部	2023年度	53	67	52	53	64	56	64	69	64	58	53	57	710
	2022年度	60	67	69	60	53	60	62	67	40	56	43	54	691
その他	2023年度	0	3	7	14	6	12	11	23	7	14	3	1	101
	2022年度	8	5	5	10	1	5	14	12	2	10	11	3	86
歯科	2023年度	3	1	3	4	7	7	10	6	4	2	4	7	58
	2022年度	1	2	6	4	1	4	1	2	2	0	1	2	26
骨密度	2023年度	29	42	32	40	40	38	34	46	36	41	38	38	454
	2022年度	28	28	46	30	27	36	32	37	32	27	22	34	379
合計	2023年度	127	177	148	165	185	162	176	215	170	173	146	158	2002
	2022年度	147	164	190	157	134	151	154	173	116	146	115	142	1789

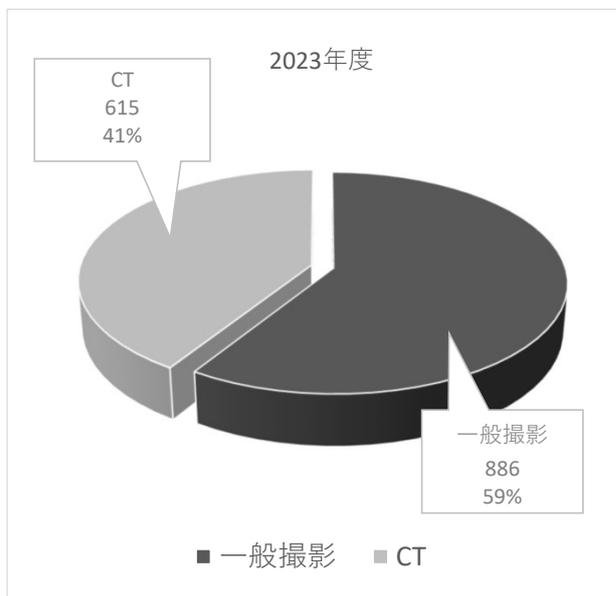
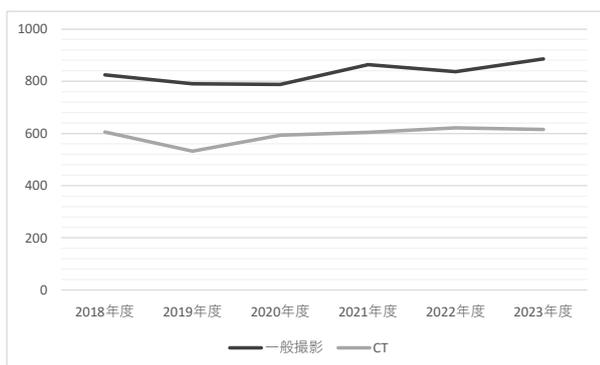
CT		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
頭部	2023年度	35	51	43	47	57	54	47	53	50	47	47	50	581
	2022年度	36	46	57	47	37	45	44	52	44	43	40	47	538
胸部	2023年度	2	1	2	4	4	1	2	0	6	3	3	2	30
	2022年度	8	13	4	6	9	3	11	7	4	11	6	1	83
腹部	2023年度	0	1	2	2	1	0	0	4	6	2	3	2	23
	2022年度	2	2	2	2	5	2	6	3	2	6	2	3	37
その他	2023年度	0	1	0	1	1	0	0	0	3	2	1	0	9
	2022年度	0	0	1	1	2	0	0	1	2	2	2	2	13
合計	2023年度	37	54	47	54	63	55	49	57	65	54	54	54	643
	2022年度	46	61	64	56	53	50	61	63	52	62	50	53	671

(単位：件)

区分	2023年度	2022年度	増減	前年比
一般撮影	2002	1789	213	111.9%
CT	643	671	▲28	95.8%

(単位：人)

年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
一般撮影	825	790	788	864	837	886
CT	606	532	594	604	621	615



## (6) 栄養調理課

### ① 職員体制

管理栄養士 4 人（正規 2 人、会計年度任用 2 人）

調理師 4 人（正規 4 人）

委託会社：(株)LEOC（6 月まで）

コンパスグループ・ジャパン(株)（7 月～）

### ② 主な業務内容

#### ○給食管理

「安心・安全な食事の提供」「楽しく美味しい食事の提供」の 2 点を目標に HACCAP 及び大量調理施設衛生管理マニュアルに基づく衛生管理を実施し食事提供を実施している。

現在、給食業務については一部業務委託を実施しており、円滑に給食管理業務が実施できるよう委託会社と日々協議し業務を実施している。

献立内容の充実については、催事に合わせた行事食のほかに、季節や食事アンケートにて希望の多い料理等を「四季折々御前」として提供している。加えて誕生日には該当者へメッセージカードをスイーツとともに提供している。

災害時等に給食提供体制が継続できるよう、備蓄食品を備えている他、配食業者及びコンビニエンスストアと代替給食に関する覚書を締結している。備蓄食品については当院にて開発（県立総合病院研究費にて平成 28 年に開発）したレトルト粥を採用し、ローリングストック法で病院給食にも計画的に活用している。

#### ○栄養管理

栄養管理計画書を作成し、入院時及び入院中の栄養状態のモニタリングを行っている。栄養再評価内容に基づき提供食種の見直し等を実施している。

また、ミールラウンドを主に昼食時に実施し、食事摂取状況の確認を行い、食形態の変更等安全な食事の提供を実施している。加えて適宜ベットサイドに訪問しアレルギーの聞き取りや食事形態の確認を実施している。

また、医師の指示に基づき入院中及び外来時に個人栄養指導を実施している。加えて多職種プログラムやデイケアプログラムにて他職種と連携し集団栄養指導を実施している。

#### ○栄養委員会の開催

適切な栄養管理と円滑な給食運営を図るために毎月開催し、多職種で検討をしている。

### ③ 月別給食実施状況

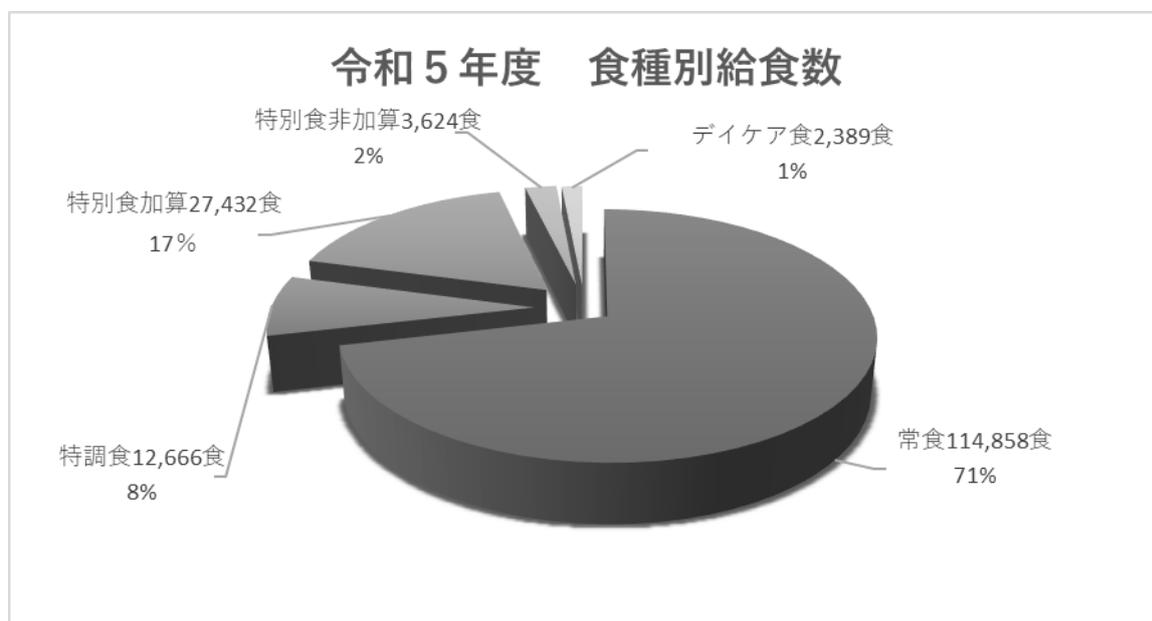
(食)

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
一般食	常食	9,382	9,300	9,286	8,971	9,518	9,773
	特調食	649	786	958	1,455	1,290	987
特別食	加算	1,538	1,789	1,701	2,098	2,522	2,505
	非加算	353	391	328	347	366	323
デイケア食		171	176	198	204	205	189
計		12,093	12,442	12,471	13,075	13,901	13,777

10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度比
10,219	9,264	9,826	10,180	9,282	9,857	114,858	98.6%
770	918	1,053	1,003	1,263	1,534	12,666	73.1%
2,526	2,313	2,560	2,555	2,401	2,924	27,432	127.5%
102	186	346	308	263	311	3,624	125.1%
202	227	227	200	173	217	2,389	107.5%
13,819	12,908	14,012	14,216	13,382	14,843	160,969	99.6%

※特別食の41%は糖尿病食である。続いて貧血食、脂質異常食、腎臓病食、潰瘍食の順に多い。

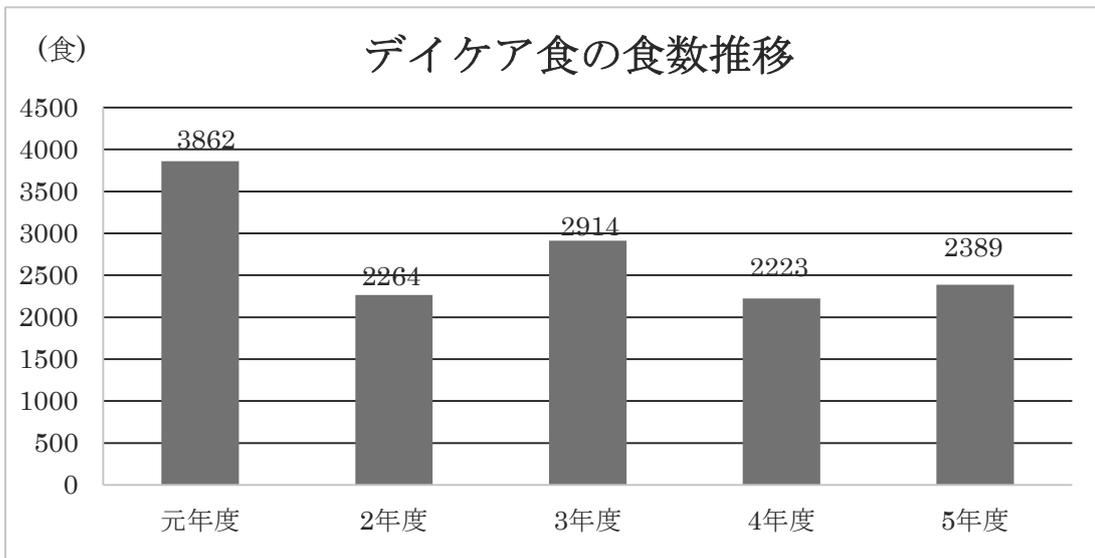
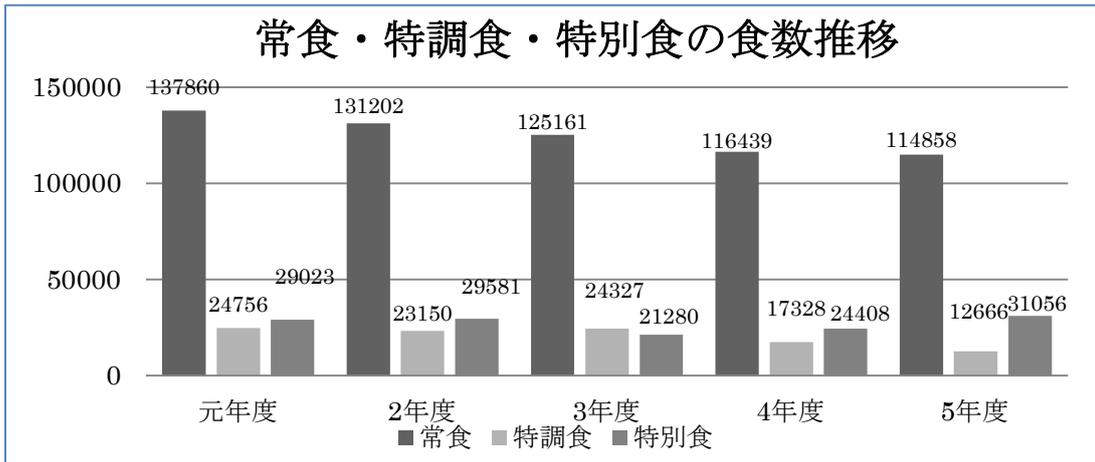
※デイケア食・・・・・・外来デイケア参加者に提供した昼食



#### ④ 年度別給食実施状況

(食)

		令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
一般食	常食	137,860	131,202	125,161	116,439	114,858
	特調食	24,756	23,150	24,327	17,328	12,666
特別食	加算	25,692	24,672	18,287	21,511	27,432
	非加算	3,331	4,909	2,993	2,897	3,624
デイケア食		3,862	2,264	2,914	2,223	2,389
計		195,501	186,197	173,682	160,398	160,969



## (7) 薬剤部

### ① 職員体制

薬剤師7人(正規職員5人、臨時職員2人)、薬剤助手1人

### ② 主な業務

#### ○調剤業務

拒薬や服薬ミスなどを防止するために、入院処方(一部の頓服を除く)は処方ごとに一包化調剤を行った。持参薬も医師の指示に基づき一包化に再分包を行った。外来は原則、院外処方であり、令和5年度の院外処方せん発行率は99.4%であった。

#### ○薬剤管理指導業務

医師の依頼に基づき薬剤管理指導を行い、薬の効果、飲み心地、副作用の確認や服薬自己管理の指導などを行った。令和5年度薬剤管理指導総数は1454件であった。

#### ○医薬品在庫管理業務

各病棟、外来における配置薬の定数を見直して適正在庫に努めるとともに、在庫数や使用期限のチェックを定期的に行った。定数医薬品は極力病院局共通品へ変更し、医薬品の有効活用を推進した。

医薬品管理システムの更新では、業務の効率化を図り、改善を行った。臨時に購入する医薬品は、原則後発品とし、その都度包装形体・単位を選択することにより在庫量を最小限に抑えた。

#### ○ODI業務

医薬品・医療機器等安全性情報、医薬品安全対策情報(DSU)、副作用情報、添付文書の改訂、製造・販売中止等の情報の収集・整理・周知を行った。「院内医薬品集」(令和5年10月1日現在)を発行した。

#### ○チーム医療

多職種チーム治療プログラムにおいて、薬に関するセッションを担当し、集団疾病教育を行った。慢性期病棟では「お薬知っ得コーナー」、医療観察法病棟では「おくすり教室」を行った。また、疾病教育プログラムの一環として、患者だけでなくその家族も対象として指導を行った。

R4年度より、急性期病棟で実施している「社会生活力プログラム」に参入し、指導を開始した。

医療観察法病棟業務では、薬剤管理指導にとどまらず薬剤師もMDTの一員としてMDT・CPA会議等の業務に参画した。

治療抵抗性統合失調症治療薬「クロザピン」での治療は平成23年9月から開始し、令和6年3月31日現在で122症例投与した。そのうち91症例が治療を継続している。当院の薬剤師は全員がクロザピル管理薬剤師及びCPMSコーディネーター業務担当者としてCPMSに登録しており、二次承認はすべて薬剤部で行っている。

その他、各種委員会(医療安全管理委員会、リスクマネジメント委員会、院内感染防止対策委員会、褥瘡対策委員会、クロザピン委員会、臨床検査委員会、ECT管理委員会等)に参加した。

#### ○薬事委員会

6月、9月、11月、3月に開催した。令和5年度は22品目を新規採用し、25品目を削除した。令和6年3月31日現在で採用医薬品数は345品目となり、うち後発医薬品は174品目であった。採用率は品目ベースで60.8%、全購入金額ベースで7.2%、また、後発医薬品指数は98.9%であった。

### ③ 調剤及び注射剤の状況

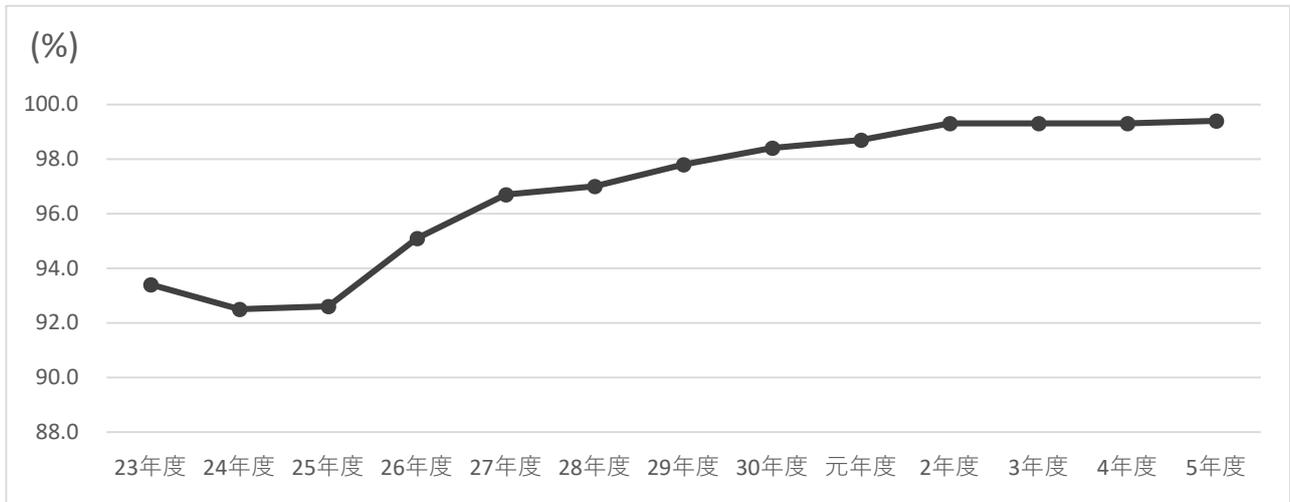
令和5年度		4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分	上期計
入院	処方箋枚数	1447	1595	1747	1689	1863	1747	10088
	うち麻薬	0	0	0	0	0	0	0
	調剤数	2829	3149	3534	3443	3830	3544	20329
	投薬延日数	17924	18541	19588	18151	20483	19091	113778
外来	処方箋枚数	7	13	10	14	12	11	67
	調剤数	24	31	30	32	19	21	157
	投薬延日数	896	382	386	500	302	430	2896
計	処方箋枚数	1454	1608	1757	1703	1875	1758	10155
	調剤数	2853	3180	3564	3475	3849	3565	20486
	投薬延日数	18820	18923	19974	18651	20785	19521	116674
薬剤情報提供(外来)		2	1	4	7	6	5	25
服薬指導総数		141	133	142	177	136	128	857
薬剤管理指導レセプト件数		90	103	103	109	113	104	622
退院時薬剤情報提供		0	0	0	0	0	0	0
注射剤	入院注射箋枚数	126	163	222	123	230	198	1062
	外来注射箋枚数	205	202	205	203	232	206	1253
	合計注射箋枚数	331	365	427	326	462	404	2315
	注射本数	613	799	1041	610	984	817	4864
その他 薬品請求	品目数	43	38	44	34	39	38	236
	本数	171	153	176	117	125	148	890
持参薬	分包依頼数	13	23	16	16	5	14	87
	1包化日数	117	252	245	213	33	105	965
	情報提供件数	9	15	13	6	9	11	63
	チェック件数	30	34	34	18	19	31	166
	相互作用識別剤数	90	138	71	47	33	110	489
院外処方箋発行率(%)		99.7	99.4	99.5	99.3	99.4	99.5	99.5

令和5年度		10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	下期計	R5年度計
入院	処方箋枚数	1728	1667	1779	1640	1715	1823	10352	20440
	うち麻薬	0	0	0	0	0	0	0	0
	調剤数	3526	3504	3559	3419	3533	4077	21618	41947
	投薬延日数	19473	18867	21890	17445	18864	19645	116184	229962
外来	処方箋枚数	13	19	16	14	16	15	93	160
	調剤数	26	46	37	29	30	23	191	348
	投薬延日数	311	671	636	590	543	336	3087	5983
計	処方箋枚数	1741	1686	1795	1654	1731	1838	10445	20600
	調剤数	3552	3550	3596	3448	3563	4100	21809	42295
	投薬延日数	19784	19538	22526	18035	19407	19981	119271	235945
薬剤情報提供(外来)		4	6	7	6	6	5	34	59
服薬指導総数		180	145	184	182	151	157	999	1856
薬剤管理指導レセプト件数		116	122	129	138	126	131	762	1384
退院時薬剤情報提供		0	0	0	0	0	0	0	0
注射剤	入院注射箋枚数	235	138	188	225	163	172	1121	2183
	外来注射箋枚数	187	190	195	184	190	188	1134	2387
	合計注射箋枚数	422	328	383	409	353	360	2255	4570
	注射本数	994	662	915	924	775	831	5101	9965
その他 薬品請求	品目数	49	42	47	39	37	38	252	488
	本数	165	160	172	166	117	129	909	1799
持参薬	分包依頼数	10	8	13	13	15	3	62	149
	1包化日数	110	52	111	126	122	21	542	1507
	情報提供件数	7	9	8	4	17	3	48	111
	チェック件数	21	23	25	20	28	9	126	292
	相互作用識別剤数	46	61	98	64	173	39	481	970
院外処方箋発行率(%)		99.4	99.1	99.2	99.3	99.2	99.3	99.3	99.4*

\*年間発行率

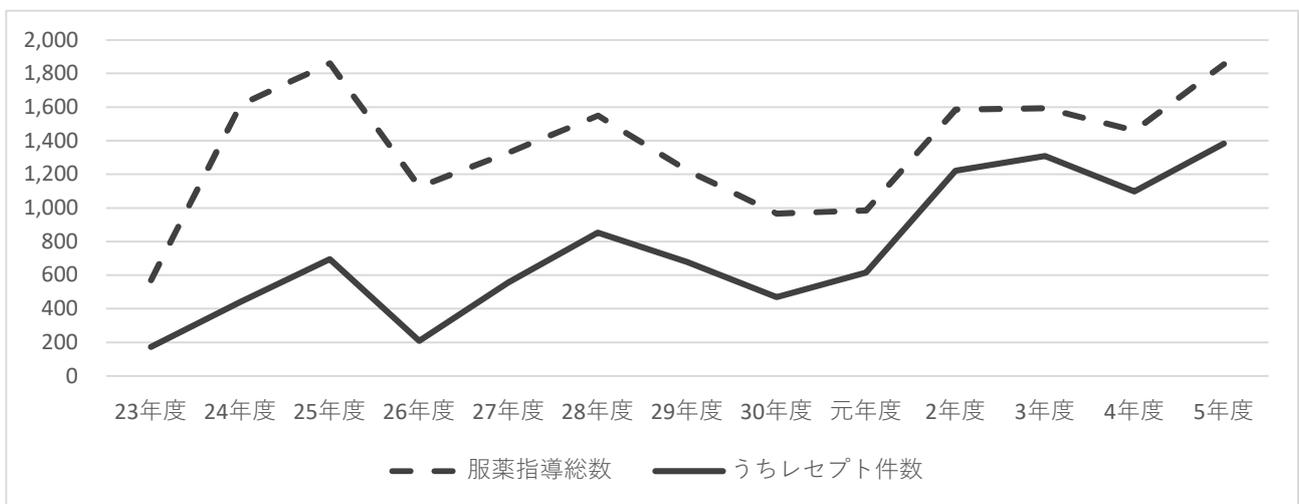
#### ④ 院外処方箋発行率

年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
発行率(%)	93.4	92.5	92.6	95.1	96.7	97.0	97.8	98.4	98.7	99.3	99.3	99.3	99.4



#### ⑤ 年度別服薬指導数

年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
服薬指導総数	571	1,615	1,861	1,127	1,329	1,550	1,223	966	985	1,587	1,593	1,461	1,856
うちレセプト件数	173	441	695	208	557	852	679	469	616	1,221	1,309	1,097	1,384



#### ⑥ 集団指導

対象病棟	プログラム名	内 容	回 数	参加人数
A 病 棟	知っ得コーナー	薬の話	2 回	30 人
B 病 棟	知っ得コーナー	頓服薬について	1 回	14 人
E、G 病棟	社会生活力プログラム	薬について	8 回	134 人
S 病 棟	おくすり教室	「不穏時薬について」等	9 回	78 人
各 病 棟	疾病教育プログラム	薬の話	26 回	145 人

⑦ 医療観察法病棟関連

対象者数	薬剤管理指導のべ回数	MDT・CPA 会議等のべ回数
12 人	42 回	194 回

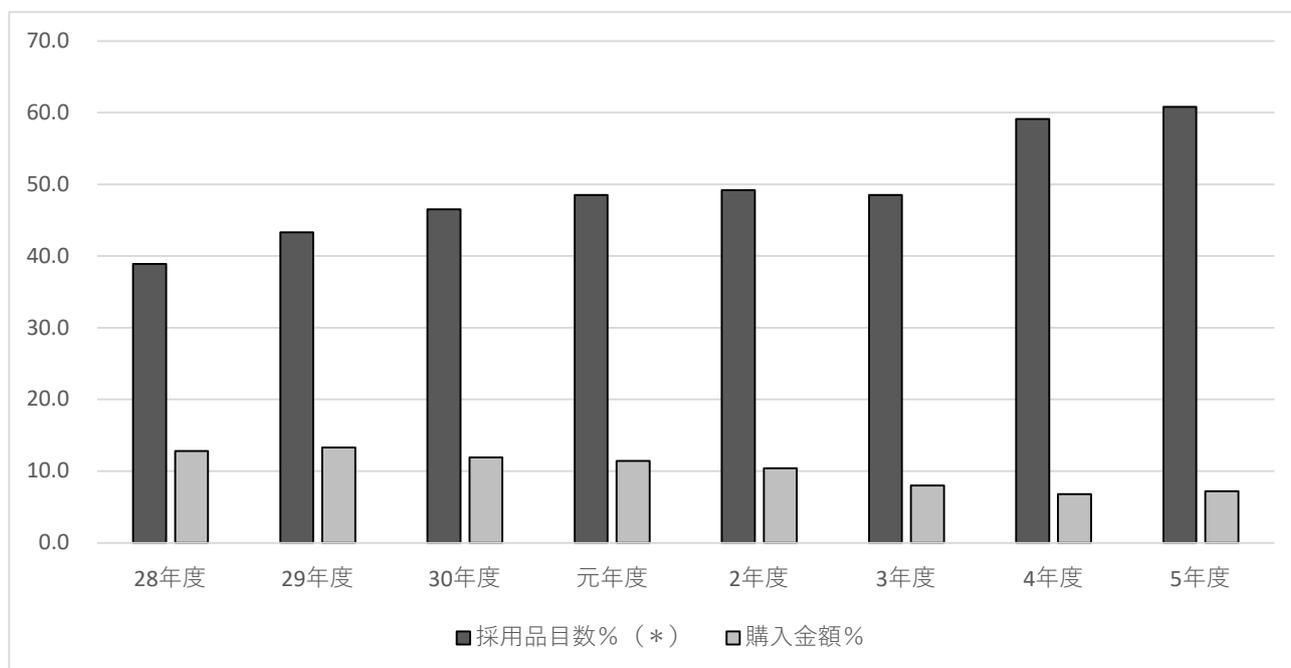
⑧ 「DI NEWS」発行状況

号数	トピックス	号数	トピックス
269号	2022年度 全国向精神薬処方調査結果	275号	名称類似薬に関するヒヤリ・ハット
270号	クロザリルの増量について	276号	ラモトリギンの適正使用のお願い
271号	出荷再開のお知らせ	277号	年末年始は感染症に注意
272号	限定出荷・出荷停止等のお知らせ	278号	経口抗凝固薬による急性腎障害について
273号	統合失調症患者への頓服薬使用の影響	279号	レキササルティOD錠の適応追加のお知らせ
274号	医薬品採用・削除	280号	医薬品採用・削除

⑨ 後発医薬品購入状況

年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
採用品目数% (*)	38.9	43.3	46.5	48.5	49.2	48.5	59.1	60.8
購入金額%	12.8	13.3	11.9	11.4	10.4	8.0	6.8	7.2

(※) 剤形・規格の異なるものは別品目として、バラ錠とヒートシール、分包品と非分包品は同一品目とする。



## (8) 訪問看護

### 1) 職員体制

看護師5人(正規4人・嘱託1人)

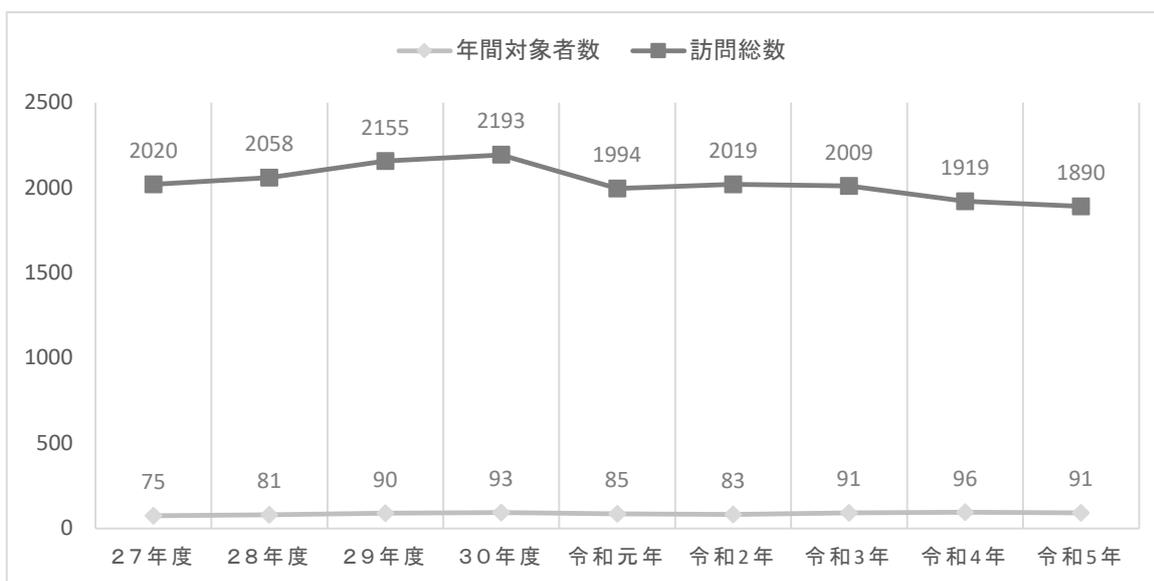
### 2) 活動内容

#### ①活動理念

地域においてその人らしい生活を送れるよう支援する

### 3) 月別の推移、年度別推移

区分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
訪問対象人員	97	97	93	88	90	88	88	94	94
訪問延日数	20	20	22	20	22	20	21	20	20
訪問延回数	167	161	172	150	165	144	160	154	162
区分 \ 月	1月	2月	3月	計	前年計	前年比			
訪問対象人員	90	92	90	1,101	1,169	94%			
訪問延日数	19	19	20	243	243	100%			
訪問延回数	147	151	157	1,890	1,919	98%			



### 4) 訪問看護の年度別推移

区分	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
訪問対象実人員	75	81	90	93	85	83	91	96	91
訪問延日数	244	243	246	244	240	244	240	243	243
訪問延回数	2,020	2,058	2,155	2,193	1,994	2,019	2,009	1,919	1890

## (9) 歯科

### ① 職員体制

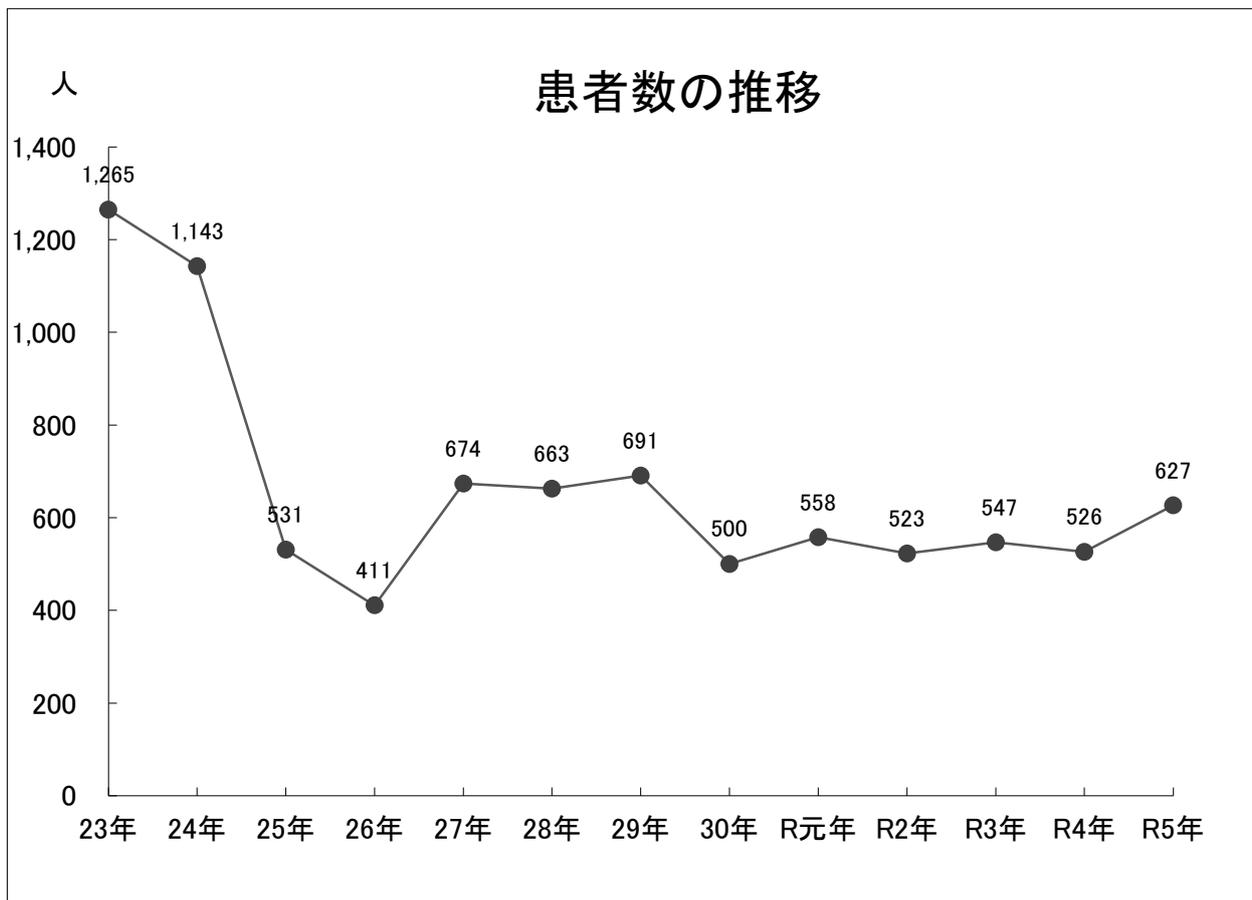
歯科医師 1 人（臨時 1 人）、歯科衛生士 1 人（臨時 1 人）

### ② 月別の推移

区分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
診療日数（日）	6	7	7	7	8	7	8	7	8	7	6	7	85
患者延人数（人）	31	29	36	46	70	63	78	61	51	49	44	69	627
1日平均患者数（人）	5.2	4.1	5.1	6.6	8.8	9.0	9.8	8.7	6.4	7.0	7.3	9.9	7.4

### ③ 年度別の推移

区分 \ 月	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年
診療日数（日）	230	174	81	87	100	94	88	79	97	92	95	90	85
患者延人数（人）	1,265	1,143	531	411	674	663	691	500	558	523	547	526	627
1日平均患者数（人）	5.5	6.6	6.6	4.7	6.7	7.1	7.9	6.3	5.8	5.7	5.8	5.8	7.4



## (10)医療安全管理室

①医療安全管理体制 . . . . . 別表体系図のとおり

②医療事故及びヒヤリ・ハット事例報告件数

レベル	年度	R元	R2	R3	R4	R5
ヒヤリ・ハット事例	0	349	455	400	539	398
	1	243	258	228	303	323
	2	156	145	107	118	119
	3a	16	16	19	28	23
医療事故	3b	2	1	1	2	1
	4a	0	0	0	0	0
	4b	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0
合計		766	875	755	990	864

a.報告件数の多い内容(令和5年度:件数及び構成比、前年度比)

- i. 観察264件(構成比30.6%、前年度比19.8%減少): 自傷行為、暴力や器物損壊、その他には、暴言や暴力未遂など暴力関連(40件)などが含まれる。
- ii. 転倒・転落121件(構成比14.0%、前年度比12.0%増加): 精神科においても高齢化が進み転倒の要因の一つとなっている。また、同一患者が繰り返すケースや精神症状悪化による突発的な行動や内服の影響によるふらつきからの転倒も多い。
- iii. その他108件(構成比13.0%、前年度比28.7%増加): その他の項目は「どの分類にも属さないもの」と定義されており、具体的には、敷地内での喫煙者やタバコの吸い殻発見(22件)、鍵・危険物・ラウンドチェック表のサイン漏れ(15件)などであった。

b.レベル別状況

- ・レベル別では、0レベルが前年度比で141件(26.2%)と減少した。
- ・レベル1は前年度比で18件(5.9%)増加、レベル2は前年度比で3件(2.6%)増加した。
- ・レベル3aは前年度比で5件(17.9%)減少した。

c. 与薬(内服・外用)87件(構成比10.1%、前年度比36.5%減少): 非自発的入院など患者の特性上、内服後の吐き出しや、服用時落としてしまったものの発見、内服自己管理中や外泊時の内服間違い報告などである。

d. レベル0レポートは、令和4年度と比較して141件減少しているが、要因として、KYT(危険予知トレーニング)を展開して対策していることが効果を上げており「ヒヤリ」「ハット」する場面が減少した結果でもある。

③事例報告の院内における活用状況

- a. 院内医療安全管理委員会では、レベル3a以上の全件報告と対策を検討、また、レベルの大きい事案だけでなく、問題と思われる事案を共有している。さらに各部署の長より事象の問題と対策、その後の経過などを報告している。
- b. 事例報告時、各部署リスクマネージャーと事故が発生した背景・要因、改善策について再検証し、必要時には具体的な改善策の提案及び推進をしている。
- c. 早急な対応や共有が必要な事案は、看護部では看護管理室報告(1日1回師長が集合)時、他部署には電子カルテメール等でタイムリーに情報共有している。

④医療安全における課題と対応策について

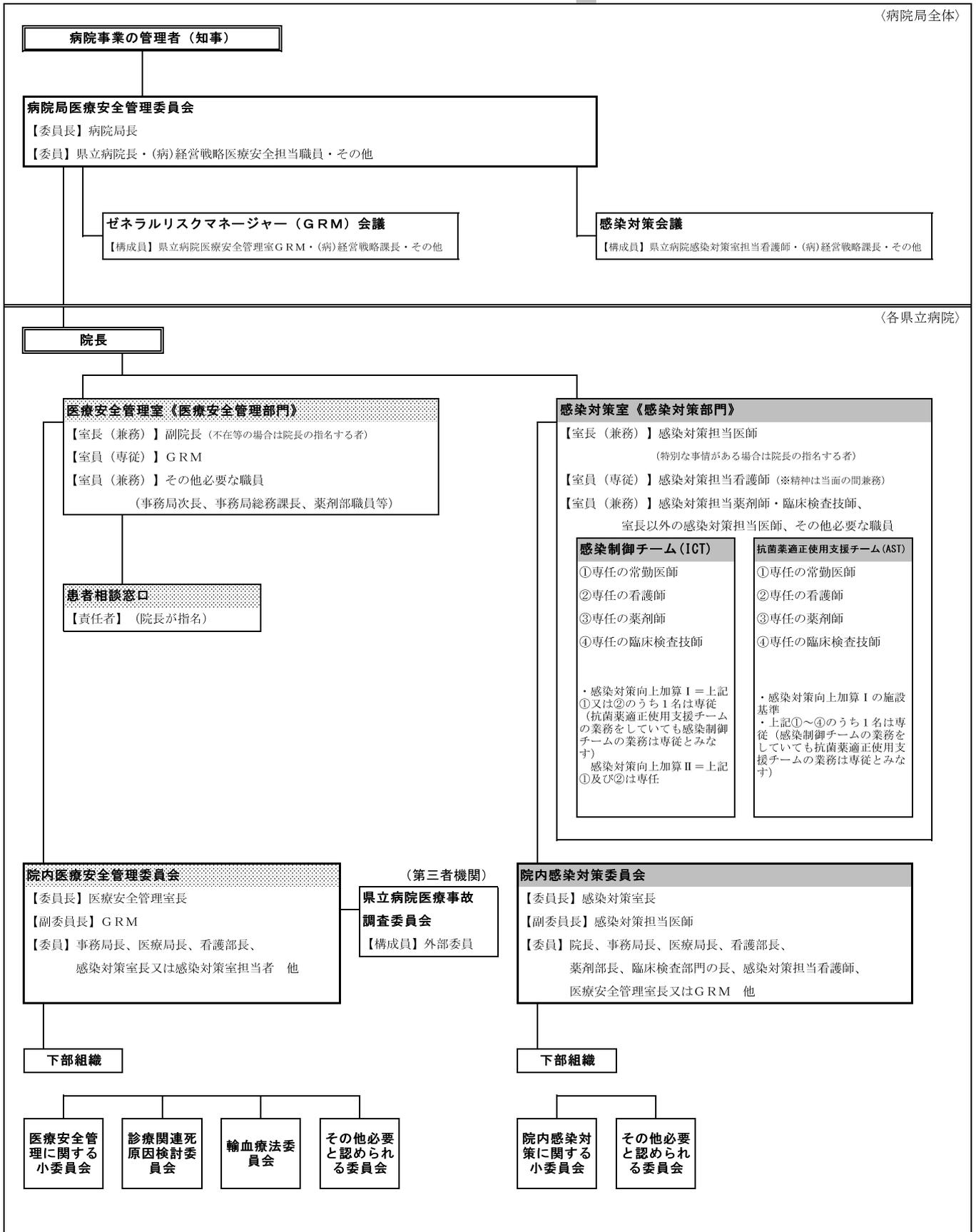
- a.安全文化の醸成【ヒヤリ・ハット(0レベル)報告の活用】  
報告の数を増やすだけでなく、類似事案の繰り返しや事故に繋がらないようさらに活かしていく必要がある。事例分析手法の強化やリスク感性を高めるための研修会を実施している。
- b.暴力防止活動の推進【介入の正当化】  
CVPPP(包括的暴力防止プログラム)での身体介入時の事前打ち合わせと介入後の振り返り、の充実を図り正当性を確保している。女性トレーナー・女性スタッフへの研修を強化している。
- c.未確認防止【患者誤認による服薬間違い】  
指差し呼称を徹底。服薬時のロールプレイを実施している。また、患者誤認防止研修と自己評価シートで自己の行動、傾向を知る。
- d.情報・記録  
入力前、入力時の確認だけでなく、登録前の再確認指差し呼称を徹底している

⑤ 医療安全推進週間(各部署KYTの取り組み発表)



医療安全管理体制体系図

※ …医療安全管理の診療報酬施設基準上設置が必要な組織  
 ※ …感染対策の診療報酬施設基準上設置が必要な組織



## (11) 地域医療連携室

### ① 職員体制

室長 医療局長（兼務）  
室員 医療福祉課長・医事課長・看護師長（3人兼務）

### ② 業務内容

群馬県の精神科基幹病院として他の精神科医療機関や関係機関と連携し、地域医療連携室を通して次のような業務を行っている。

- 1) 本人、家族からの相談の他、地域の医療機関や保健福祉事務所、市町村など関係機関から紹介された受診相談及び入院相談の専用窓口。
- 2) 患者の退院に際して地域での生活が安心して過ごせるように、こころの健康センター・地域の医療機関・保健福祉事務所・市町村保健センターをはじめ、相談支援事業所・福祉サービス事業所・介護保険関係者等と連携し、支援会議を開催している。

### ③ 受診相談件数等

入院相談			外来相談		
相談数	受診者数	入院者数	相談数	受診者数	入院者数
150	74	63	672	280	4

その他			相談合計		
相談数	受診者数	入院者数	相談数	受診者数	入院者数
0	0	0	822	354	67

※受診者数及び入院者数は各相談件数の内数です。

## (12) 患者相談窓口

### ① 業務内容

群馬県病院局医療安全に関する規程に基づき、医療福祉課内に患者相談窓口を設置している。

- 1) 患者相談窓口では、直接相談等を受け付けるほか、病院内各部門で対応が完結しないもの等を引き継ぎ対応している。
- 2) 医療福祉課、医事課、地域医療連携室、医療安全管理室、診療情報管理室、総務課からなる専門セクションと連携し、定期的カンファレンスを行っている。

### ② 職員体制

責任者 副院長  
窓口担当者 精神保健福祉士、総務課長、医事課長

### ③ 相談件数

相談・苦情内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
疾病・治療に関すること	55	30	41	38
入退院・受診・セカンドオピニオン	19	14	8	18
日常生活の困りごと	45	12	10	7
社会資源の活用	3	3	9	7
経済問題	5	5	3	2
就労問題	3	3	0	0
住宅問題	2	0	5	0
家族問題	3	6	2	2
待ち時間	0	0	0	1
処方箋発行	0	0	0	0
服薬・薬剤情報	0	0	0	0
食生活・健康管理	0	0	0	0
他の患者とのトラブル	0	0	0	0
窓口対応・職員対応	0	1	1	4
会計のトラブル	0	0	0	2
医療費の支払い	1	3	2	3
カルテ開示	0	0	1	0
個人情報の扱い	1	0	1	0
施設・設備の不具合	0	0	0	0
苦情・クレーム	20	13	16	26
その他	34	34	49	34
計	191	124	148	122

### (13) 病院施設の貸出し

新型コロナウイルス感染症予防対策として貸出を中止していたが、当感染症が5類に移行したことに伴い、令和5年10月から貸出を再開。

地域の理解と協力を得るため、体育館を本来の目的を妨げない範囲で地域住民等に貸出しているほか、当院敷地の緑地帯は地域住民等へ開放している。



## IV 経営・経理の状況

# 1 決算の状況

## (1) 収益的収入及び支出の状況

病院事業収益は、3,028,815千円で、前年度の3,018,641千円に比較して、10,174千円の増加となっています。

病院事業費用は、2,822,066千円で、前年度の2,923,040千円に比較して、100,974千円の減少となっています。

この結果、当期純利益は206,749千円となり、対前年比で111,148千円の純利益増加となりました。純利益増加の主な理由としては、入院・外来患者数の増による医業収益の増加、新型コロナウイルス感染症関係補助金の受入の増加などがあげられます。

### ● 収益的収支の状況

(単位：千円)

項目	4年度	5年度	増減	増減率
<b>病院事業収益</b>	<b>3,018,641</b>	<b>3,028,815</b>	<b>10,174</b>	<b>100.3%</b>
<b>医業収益</b>	<b>1,966,149</b>	<b>2,018,263</b>	<b>52,114</b>	<b>102.7%</b>
入院収益	1,690,285	1,733,083	42,798	102.5%
外来収益	238,886	251,252	12,366	105.2%
その他医業収益	36,978	33,928	△ 3,050	91.8%
<b>医業外収益</b>	<b>1,052,293</b>	<b>1,010,387</b>	<b>△ 41,906</b>	<b>96.0%</b>
受取利息配当金	16	16	0	100.0%
補助金	50,741	65,903	15,162	129.9%
負担金交付金	843,077	794,495	△ 48,582	94.2%
その他医業外収益	158,459	149,973	△ 8,486	94.6%
<b>特別利益</b>	<b>199</b>	<b>165</b>	<b>△ 34</b>	<b>82.9%</b>
<b>病院事業費用</b>	<b>2,923,040</b>	<b>2,822,066</b>	<b>△ 100,974</b>	<b>96.5%</b>
<b>医業費用</b>	<b>2,880,061</b>	<b>2,783,013</b>	<b>△ 97,048</b>	<b>96.6%</b>
給与費	1,943,325	1,886,336	△ 56,989	97.1%
材料費	178,688	183,460	4,772	102.7%
経費	528,183	481,733	△ 46,450	91.2%
減価償却費	224,679	222,991	△ 1,688	99.2%
その他医業費用	5,186	8,493	3,307	163.8%
<b>医業外費用</b>	<b>42,979</b>	<b>26,440</b>	<b>△ 16,539</b>	<b>61.5%</b>
支払利息及び 企業債取扱諸費	26,829	12,638	△ 14,191	47.1%
雑損失	16,150	13,802	△ 2,348	85.5%
<b>特別損失</b>	<b>0</b>	<b>12,613</b>	<b>12,613</b>	<b>皆増</b>
<b>当期純損益</b>	<b>95,601</b>	<b>206,749</b>	<b>111,148</b>	<b>216.3%</b>

## (2) 資産・負債・資本の状況

資産総額は5,274,664千円で前年度に比べ45,082千円の増加となっています。  
内訳は、固定資産の減額が172,965千円、流動資産の増加が218,047千円です。

### ●比較貸借対照表

(単位：千円)

資産の部	年度		負債・資本の部	年度	
	4年度	5年度		4年度	5年度
固定資産			固定負債		
有形固定資産	3,091,009	2,918,043	企業債	602,970	399,580
土地	16,972	16,972	引当金	966,832	1,032,171
建物	9,160,948	9,169,737	固定負債合計	1,569,802	1,431,750
建物減価償却累計額	△ 6,437,923	△ 6,610,889	流動負債		
構築物	1,190,117	1,190,117	企業債	323,071	250,390
構築物減価償却累計額	△ 1,019,410	△ 1,025,711	未払金	128,737	104,300
機械備品	460,847	487,980	引当金	136,447	149,507
機械備品減価償却累計額	△ 291,958	△ 321,656	その他流動負債	11,389	10,408
車両	10,066	10,224	流動負債合計	599,644	514,606
車両減価償却累計額	△ 6,997	△ 7,078	繰延収益		
建設仮勘定	0	0	長期前受金	4,723,156	4,909,240
その他有形固定資産	8,348	8,348	長期前受金収益化累計額	△ 3,320,571	△ 3,445,233
無形固定資産	395	395	繰延収益合計	1,402,584	1,464,007
電話加入権	395	395	負債合計	3,572,030	3,410,362
固定資産合計	3,091,404	2,918,439	資本金		
流動資産			自己資本金	1,517,108	1,517,108
現金預金	1,799,571	1,976,070	借入資本金		
未収金	328,137	371,842	資本金計	1,517,108	1,517,108
未収金貸倒引当金	△ 4,109	△ 4,409	剰余金		
貯蔵品	7,078	5,222	資本剰余金	5,016	5,016
前払金	0	0	利益剰余金	135,428	342,178
その他流動資産	7,500	7,500	当年度未処理欠損金	135,428	342,178
流動資産合計	2,138,178	2,356,225	繰越利益剰余金年度末残高	39,827	135,428
			当年度純損益	95,601	206,750
			剰余金計	140,444	347,194
			資本合計	1,657,552	1,864,302
資産合計	5,229,582	5,274,664	負債・資本合計	5,229,582	5,274,664

## (3) 資本的収支の状況

資本的収入は241,167千円で、資本的支出は373,892千円となっています。

(単位：千円)

項目	年度		増減	増減率
	4年度	5年度		
資本的収入	330,351	241,167	△ 89,185	-27.0%
企業債収入	18,000	47,000	29,000	161.1%
出資金収入	0	0	0	0.0%
負担金収入	311,889	193,715	△ 118,174	-37.9%
固定資産売却代金	462	452	△ 11	0.0%
資本的支出	524,030	373,892	△ 150,138	-28.7%
病院増改築工事	15,675	8,800	△ 6,875	-43.9%
資産購入等	8,915	42,021	33,106	371.4%
企業債償還金	499,441	323,071	△ 176,369	-35.3%
他会計借入金償還金	0	0	0	0.0%
国庫補助金返還金	0	0	0	0.0%
資本的収支	△ 193,679	△ 132,725	60,954	-31.5%

## 2 年度別経営指標

### (1) 年度別経営分析表

項目		年度	単位	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	類似病院の指標
病床利用率	延在院患者数	%	73.3	78.9	81.0	77.3	72.0	66.7	78.9	62.8	
	運用病床数×診療日数(1年)										
経常収支比率	医業収益+医業外収益	%	103.4	102.5	103.8	102.9	109.0	101.8	107.8	102.7	
	医業費用+医業外費用										
医業収支比率	医業収益	%	73.1	72.9	74.7	72.3	74.0	67.3	72.5	78.4	
	医業費用										
他会計繰入金対総収益比率	他会計繰入金	%	25.0	24.3	23.7	23.8	25.0	27.9	26.2	42.9	
	総収益										
病床1床当たり他会計繰入金	他会計繰入金	千円	3,261	3,319	3,105	3,110	3,440	3,764	4,182	3,448	
	年度末病床数										
1日平均患者数	入院	人	164	177	181	173	161	149	150	162	
	外来	人	108	108	106	93	98	101	105	143	
患者1人1日当たり診療収入	入院	円	27,147	26,743	26,311	27,587	29,850	30,989	31,598	23,046	
	外来	円	8,642	9,113	9,248	9,505	9,789	9,650	9,808	8,706	
職員給与費対医業収益比率	職員給与費	%	95.8	91.1	91.8	96.3	92.4	98.8	93.5	82.0	
	医業収益										
材料費対医業収益比率	材料費	%	7.5	7.9	8.1	8.2	8.3	9.1	9.1	6.0	
	医業収益										
薬品費対医業収益比率	薬品費	%	4.4	4.7	4.9	4.9	5.4	5.9	5.8	4.9	
	医業収益										
病床100床当たり職員数	医師	人	7.6	7.6	6.7	5.8	7.6	7.1	8.4	5.1	
	看護部門	人	56.7	61.6	62.1	62.9	65.2	58.5	68.4	48.2	
	薬剤部門	人	2.7	2.7	2.7	3.1	3.1	3.1	3.7	—	
	事務部門	人	11.2	11.6	12.1	11.6	11.6	11.6	14.2	6.5	
	全部門	人	96.5	97.3	97.3	98.1	98.0	94.2	109.2	70.5	

注 類似病院の指標は、令和4年度地方公営企業年鑑のうち精神科病院の数値をもとに算出しています。  
 ただし、同年鑑の集計項目に変更があったため、看護部門は看護師及び准看護師の合計値を用いています。  
 また、薬剤部門は当該項目自体が削られています。

(2) 年度別損益状況

(単位：千円)

項目	年度													
	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
病院事業収益	2,579,924	2,693,105	2,768,551	2,718,691	2,974,111	2,950,646	2,952,860	2,920,798	3,063,601	2,940,423	2,924,524	3,086,349	3,018,641	3,028,815
病院事業費用	2,711,288	2,741,970	2,757,354	2,668,383	3,391,939	2,616,988	2,791,885	2,683,219	2,736,563	2,776,554	2,841,476	2,831,285	2,923,040	2,822,065
当年度純損益	△131,364	△48,865	11,197	50,308	△417,828	333,658	160,975	237,579	327,038	163,869	83,048	255,064	95,601	206,750
医業収益	1,757,055	1,729,435	1,873,380	1,926,099	1,930,885	1,959,995	1,940,202	1,881,606	1,994,446	2,011,022	1,982,505	2,051,859	1,966,149	2,018,263
入院収益	1,531,970	1,498,159	1,631,205	1,668,542	1,679,010	1,707,058	1,681,411	1,626,734	1,726,160	1,746,791	1,742,527	1,758,318	1,690,285	1,733,083
外来収益	191,920	200,908	209,760	224,661	221,111	218,262	228,085	225,865	239,770	234,973	211,790	233,126	238,886	251,252
その他医業収益	33,165	30,368	32,415	32,896	30,764	34,675	30,706	29,007	28,516	29,258	28,189	60,415	36,978	33,928
医業外収益	822,869	963,670	895,171	792,592	933,123	898,074	879,175	892,200	909,695	870,290	912,446	1,034,056	1,052,293	1,010,387
受取利息配当金	269	118	185	148	154	199	46	21	21	21	27	15	16	16
負担金交付金	798,880	870,115	880,657	780,062	787,977	730,118	720,258	730,441	743,370	695,598	696,689	770,595	843,077	794,495
その他医業外収益	23,720	93,437	14,329	12,382	144,992	167,757	158,871	161,738	166,304	174,671	215,730	263,446	209,200	215,876
特別利益	0	0	0	0	110,103	92,577	133,483	146,992	159,460	59,111	29,573	434	199	165
年度														
医業費用	2,509,756	2,559,995	2,529,577	2,510,781	2,462,260	2,476,707	2,665,073	2,574,153	2,639,169	2,691,070	2,743,428	2,772,072	2,880,061	2,783,013
給与費	1,835,135	1,911,696	1,861,053	1,835,596	1,743,568	1,718,684	1,929,159	1,802,089	1,817,265	1,846,851	1,909,247	1,895,818	1,943,325	1,886,336
材料費	150,665	162,925	168,894	169,590	151,142	139,939	147,880	141,259	156,775	162,927	162,435	171,201	178,688	183,460
経費	305,606	318,298	334,212	350,789	353,969	359,101	335,008	371,364	400,256	410,448	446,679	475,727	528,183	481,733
減価償却費	207,474	156,919	155,595	146,414	201,952	244,414	245,526	252,697	256,700	260,092	198,206	224,913	224,679	222,991
資産減耗費	2,095	1,241	580	1,222	5,976	7,582	2,374	163	163	1,086	24,106	992	325	876
研究研修費	8,781	8,916	9,243	7,170	5,653	6,987	5,126	6,581	8,010	9,667	2,755	3,421	4,861	7,617
医業外費用	201,532	181,117	225,970	155,933	150,075	140,281	126,812	109,066	97,394	85,484	69,048	59,150	42,979	26,439
支払利息及び 企業価値取扱い費	179,195	169,718	158,903	148,248	137,074	126,322	119,370	100,755	87,281	73,111	58,231	42,902	26,829	12,638
雑損失	22,337	11,399	67,067	7,685	13,001	13,959	7,442	8,311	10,113	12,373	10,816	16,248	16,150	13,801
特別損失	0	858	1,807	1,669	779,604	0	0	0	0	0	29,001	63	0	12,613



# V 研究業績等

## 令和5年度における主な研究業績等

### ＜学会発表等＞

標題・名称	学会等の名称	発表者等	開催場所	発表年月日
「あらためて問い直す精神科看護職のあり方」	日本精神科看護専門学会	看護部 須田 直樹	札幌コンベンションセンター	2023.6.3
「地域移行・地域生活支援における自治体精神科病院の役割」	全国自治体病院協議会精神科特別部会 第60回総会・研修会	看護部 須藤 秀 (シンポジスト)	ホテルグランヒルズ静岡	2023.7.27
「治療抵抗性統合失調症患者に対するクロザピン治療における気分安定薬の併用に関する調査」	第33回日本精神科救急学会学術総会	医局 松岡 彩	KDDI維新ホール	2023.10.6
「精神科救急・急性期病棟の運用の工夫」	第33回日本精神科救急学会学術総会	医局 赤田卓志朗 (指定発言)	KDDI維新ホール	2023.10.7
「精神科救急事案における対面調査と非対面調査の比較検討」	第33回日本精神科救急学会学術総会	医局 澤 潔	KDDI維新ホール	2023.10.7
「群馬精神医療センターにおけるアウトリーチ活動の模索」	第33回日本精神科救急学会学術総会	医局 田村 尚道	KDDI維新ホール	2023.10.7
「救急急性期病棟に入院する高齢者の状況」	第33回日本精神科救急学会学術総会	医局 小山 麻実	KDDI維新ホール	2023.10.7
「専攻医研修の振り返り」	第47回群馬精神医学会「地域臨床活動生涯教育研修会」	医局 武知 恵	群馬大学	2023.10.21
「クロザピン開始後早期に無顆粒球症を呈した1例」	第47回群馬精神医学会「地域臨床活動生涯教育研修会」	医局 長谷川 佳歩	群馬大学	2023.10.21
「リフレクティングを活用した面接による看護師の心情変化」	日本精神科看護専門学会	看護部 廣瀬 大地	埼玉県大宮ソニックシティ	2023.11.23
「暴力被害後のスタッフに対する支援の課題～スタッフへの振り返り実施の経験から～」	日本こころの安全とケア学会 第6回学術集会	看護部 生方 正樹	WEB開催	2023.12.16
「「できるを増やす」ためのデイケアづくり」	日本心理教育・家族教室ネットワーク第24回研究集会関東大会	看護部 坂本 忍	一橋講堂	2024.2.23

### ＜講演・研修等＞

標題・名称	講演・研修等の名称	講師・演者	開催場所	発表年月日
「精神科病院的退院支援と地域生活支援」	群馬県精神保健福祉初任者研修	医療福祉課 中嶋 淑子	WEB開催	—
精神看護学実習前講義	桐生大学看護学部3学年	看護部 藤原 瞳	桐生大学	2023.4.7
「精神看護学方法Ⅰ」	一般社団法人伊勢崎佐波医師会立伊勢崎敬愛看護学院2学年	看護部 須藤 秀	伊勢崎敬愛看護学院	2023.4.12 -7.26
「精神医療センターの医師業務」	令和5年度群馬県立精神医療センター 基本研修	医局 芦名 孝一	(院内)	2023.4.13
東群馬看護専門学校 講師	東群馬看護専門学校 講師	医局 須藤 友博	東群馬看護専門学校	計4回
「認知症の手引き」	日本精神科看護協会 群馬県支部	看護部 村松 正樹	前橋プラザ元氣21	2023.6.1
群馬SST広流会 こころの元氣サポーター講座	群馬医療福祉大学社会福祉学部2年生	看護部 柳澤 学	群馬医療福祉大学	2023.6.22
「医療観察法における地域処遇について」	医療観察法における地域処遇に関する研修	医療福祉課 山田 竜一	援護寮はばたき	2023.6.15
「精神科病院における感染管理の実践について」	日本精神科看護協会 群馬県支部	看護部 打木 洋行	前橋プラザ元氣21	2023.7.6
「看護現場で感じた貼付剤のメリット・デメリット」	住友ファーマ株式会社	看護部 村松 正樹	WEB開催	2023.7.14
令和5年度 DPAT統括者・事務担当者研修	日本精神科病院協会	看護部 青柳 晴久	東京都立産業貿易センター浜松町館	2023.7.22-23

標題・名称	講演・研修等の名称	講師・演者	開催場所	発表年月日
「医療観察法における地域処遇について」	医療観察法における地域処遇に関する研修	医療福祉課 郡司 聡	GHドルフィン前橋	2023.8.18
選択型検察実務修習	司法修習生施設見学(選択型検察実務修習) 講師	医局 澤 潔	(院内)	2023.8.22
「精神障がい者の看護」	令和5年度訪問看護師養成研修【ステップ1】	看護部 角田 英治	群馬県看護協会	2023.8.31
第2回プレホスピタル救急医療・災害医療セミナー	一般財団法人 農村保健研修センター	医局 澤 潔	農村保健研修センター	2023.9.5-6
「教育・研修能力」	伊勢崎佐波病院協会 会員施設のリーダー看護師	看護部 高橋 真由美	伊勢崎市民病院	2023.9.9
令和5年度群馬県PEECコース研修	令和5年度群馬県PEECコース プレファンリレーター	医局 須藤 友博	前橋赤十字病院	2023.9.10
「精神障害者の理解について」	令和5年度日常生活自立支援事業専門員等研修会	医局 須藤 友博	群馬県市町村会館	2023.9.13
第70回精神保健指定医研修会	全国自治体病院協議会	医局 赤田 卓志朗(司会)	AP日本橋	2023.9.15
「精神障害にも対応した地域包括システムにおける看護師の役割」	日本精神科看護協会 群馬県支部	看護部 須田 直樹	前橋第四コミュニティセンター	2023.9.27
「精神障がい者の看護」	公益社団法人群馬県看護協会 令和6年度訪問看護師養成研修	看護部 須藤 秀	群馬県看護協会	
「高齢者施設等への感染対策専門家派遣事業の実施について」	群馬県医師会 群馬県地域医療介護連携感染症予防・対策事業	看護部 打木 洋行	介護老人保健施設けやき苑	2023.10.3
「対人援助のコツ ～人格障害という切り口から～」	令和5年度群馬県福祉職会企画児童福祉分野関係職員研修講師	医局 芦名 孝一	群馬県中央児童相談所	2023.11.1
「インターネット・ゲーム障害の基礎知識と支援について」	令和5年度ゲーム依存症支援者向け研修会	医局 今井 航平	群馬県立産業技術センター	2023.11.15
「措置診察から措置入院後の退院支援まで」	前橋地方検察庁 講師	医局 芦名 孝一	前橋地方検察庁	2023.11.16
「精神障害者家族のための勉強会「土曜学校」」	日本精神障害者リハビリテーション学会	看護部 柳澤 学	岡山県倉敷市	2023.12.3
令和5年度日常生活自立支援事業生活支援員研修	榛東村・吉岡町社会福祉協議会合同	医局 須藤 友博	吉岡町社会福祉協議会	2023.12.4
司法精神科作業療法	治療学演習 I	リハビリテーション課 梶間 由里子	群馬医療福祉大学	2023.12.21
「視点と構造を意識した、精神科医療の変遷と戦略」	日本精神科看護協会群馬県支部看護研修会	医局 須藤 友博	前橋プラザ元気21	2024.1.30
「精神障害にも適応した地域包括ケアシステムについて」	公益社団法人前橋積善会 厩橋病院	看護部 須田 直樹	厩橋病院	2024.1.31
保健・医療・福祉関係者の「協議の場」ファーストステップ研修会	障害政策課 精神障害にも適応した地域包括ケアシステムの構築支援事業	看護部 須田 直樹	こころの健康センター	2024.2.2
「医療観察法における地域処遇について」	医療観察法における地域処遇に関する研修	医療福祉課 橋本 友美	クロスホーム平和町	2024.2.5
「摂食・嚥下障害」	日本精神科看護協会 群馬県支部	看護部 井野 充彦	前橋第四コミュニティセンター	2024.2.5
成年後見人等更新研修	成年後見人等更新研修 講師	医局 須藤 友博	前橋社会福祉協議会	2024.2.8
第28回精神保健指定医研修会	全国自治体病院協議会	医局 赤田 卓志朗(司会)	砂防会館別館	2024.2.21
「早期家族支援導入プロジェクトの試み デイケア体験会 「できるを増やす」ためのデイケア作り」	日本心理教育・家族教室ネットワーク第24回研究集会関東大会	医局 須藤 友博 田川 みなみ	一橋講堂	2024.2.23-24
「感染予防対策について(標準予防策、院内感染予防の実践)」	群馬県歯科衛生士会	看護部 打木 洋行	群馬県歯科医師会館	2024.2.25

群馬県立精神医療センター

年 報

令和7年2月

(編集・発行)

群馬県立精神医療センター

住 所 群馬県伊勢崎市国定町二丁目2374

電 話 (0270) 62-3311 (代)

F A X (0270) 62-0088

U R L <https://www.pref.gunma.jp/site/seishin/>